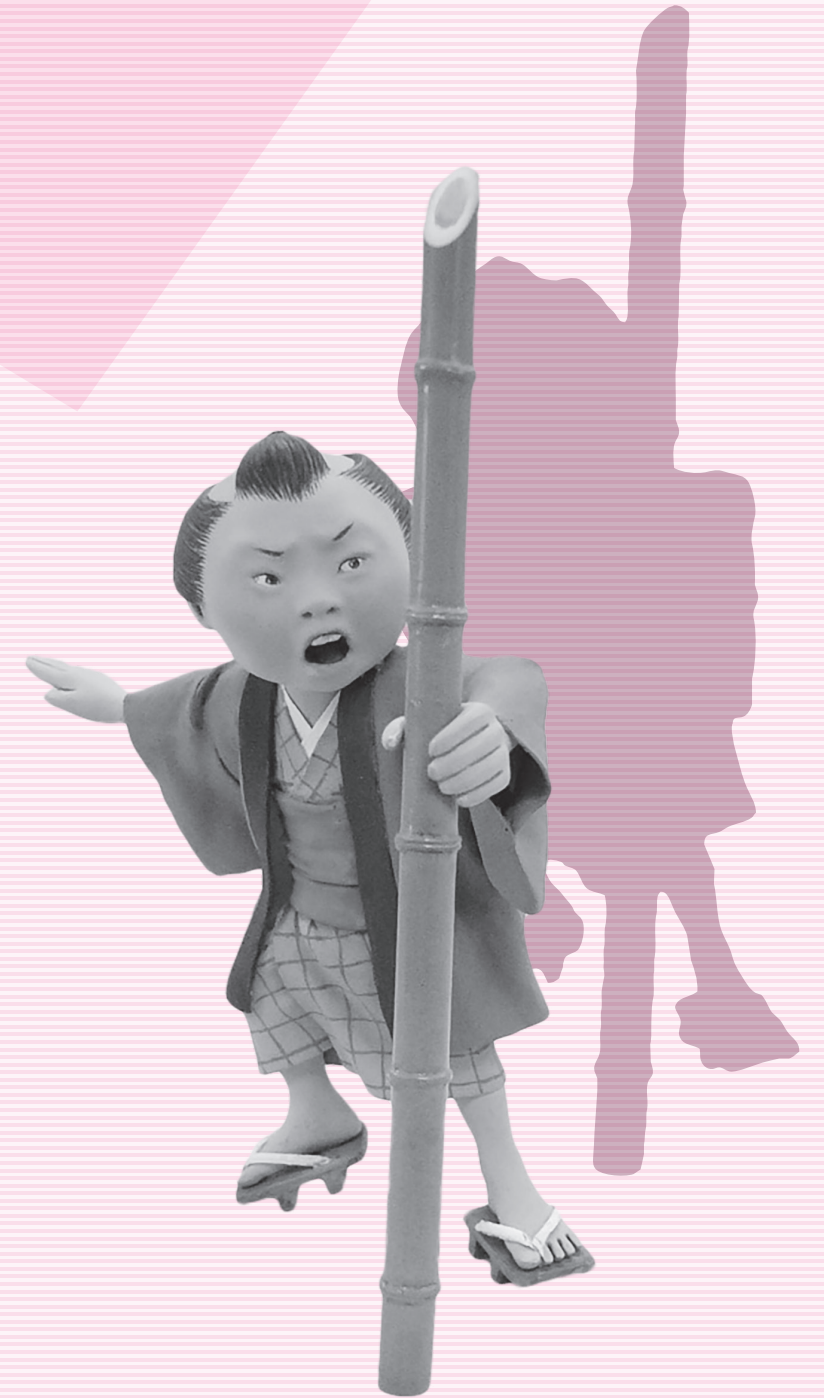


平成27年度
山梨県立博物館年報
Annual report of the Yamanashi Prefectural Museum

平成27年度 山梨県立博物館年報

Annual report of the Yamanashi Prefectural Museum



 **山梨県立博物館**
Yamanashi Prefectural Museum

はじめに

平成27年度は、平成17年10月15日のオープンから数えて、開館10周年を迎えた大きな節目の年となりました。

本年度は「山梨県立博物館開館10周年記念特別展」として、春季の特別展「微笑みに込められた祈り 円空・木喰展」を皮切りに、夏に「大化石展 ～山梨に恐竜はいたか！？～」、秋に「富士山 ー信仰と芸術ー」、翌年度にかけては「武田二十四将 ー信玄を支えた家臣たちの姿ー」を開催し、皆様にお楽しみいただきました。夏季の「大化石展」は、6万人を超える利用者をお迎えすることができ、秋季の「富士山」展は、世界文化遺産・富士山の文化的意義を理解していただくために、静岡県立美術館と当館が企画・準備段階から連携した巡回展として行いました。シンボル展は3回開催し、初夏に開催した「鵜飼ー甲斐の川漁と鵜飼をめぐる伝説ー」は、地元笛吹市や鵜飼保存会と連携して実施し、また展示した甲府市外中代遺跡出土の暗文絵画土器が、日本で初めて鵜が描かれた土器として話題を集めました。

調査研究活動では、日本学術振興会科学研究費による課題が新たに1件採択されたほか、県費による総合・共同研究を継続して推進しております。県民参画型の研究事業として平成25年度から進めてきました「みんなの研究」は、3件の個人・団体による成果を展示いたしました。博物館の担う使命を果たしていくため、地域の皆様と博物館の活動を通じたコミュニケーションを図りつつ、今後も充実した調査研究を推進してまいります。

開館から10年を迎えた山梨県立博物館は、地域の博物館としての責務を果たすよう、館員一同、一層努めてまいりたいと思います。今後とも、皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

山梨県立博物館

館長 平川 南

目次

はじめに

第I編 山梨県立博物館の目指すところ

第1章 県立博物館の評価制度 …… 1

- (1) 県立博物館の使命 …… 1
- (2) 県立博物館の評価制度 …… 1

第2章 通信簿ツアーの実施 …… 5

- (1) 通信簿ツアーの内容 …… 5
- (2) 通信簿ツアーの結果 …… 7

第II編 事業・諸活動

第1章 運営・ミュージアムサービス ……24

- (1) 運営・ミュージアムサービスの方針 ……24
- (2) 平成27年度利用者状況一覧 ……24

第2章 調査・研究 ……28

- (1) 外部資金による調査・研究 ……28
- (2) 県費による調査・研究 ……30
- (3) 個別調査・研究 ……31
- (4) 調査・研究成果の公表 ……33
- (5) 富士山世界文化遺産学術調査・研究 ……35

第3章 資料の収集・保管・活用 ……36

- (1) 資料収集の方針 ……36
- (2) 資料の収集 ……36
- (3) 資料の整理・目録(データ)化 ……37
- (4) 資料の修復・管理 ……38
- (5) 資料の活用 ……39

第4章 展示 ……40

- (1) 常設展示 ……40
- (2) 企画展・シンボル展 ……48
- (3) 展覧会関係刊行物 ……70
- (4) 開館10周年記念事業 ……71

第5章 企画交流事業 ……72

- (1) 生涯学習サービス事業 ……72
- (2) 博学連携 ……74
- (3) 博物館同士のネットワーク ……79
- (4) 広報 ……80

第6章 施設の整備・管理 ……81

- (1) 安全快適な施設づくり ……81
- (2) 施設開放 ……81

第7章 情報の発信と公開 ……82

- (1) 資料閲覧室の利用状況 ……82
- (2) 博物館総合情報システム ……83
- (3) 博物館ホームページ ……84

第8章 県民参画 ……85

- (1) NPOとの連携 ……85
- (2) 博物館協会(ボランティア)との連携 ……86
- (3) かいじあむ みんなの研究 ……87

第9章 組織・人員 ……88

- (1) 職員の資質向上 ……88
- (2) 第三者委員会 ……88

第10章 外部支援と連携 ……90

- (1) 外部支援 ……90
- (2) 外部との連携 ……90
- (3) 山梨近代人物館・世界遺産センターの開館準備・展示協力 ……90

第III編 各種資料

1 組織・職員等名簿 ……91

2 平成27年度予算額 ……93

3 年間日誌 ……93

凡例

- ・各事業の経緯・方針・関連法規等については『平成17年度山梨県立博物館年報』を参照されたい。
- ・各種委員等の名簿における勤務先・役職等については、全て平成27年度におけるものである。
- ・原則として、各種名簿の順序は順不同である。
- ・敬称は略している。
- ・「県立博物館」と表記されているものは、全て山梨県立博物館のことを指す。

(表紙) 常設展示「城下町の賑わい」のジオラマの人形

第 I 編 山梨県立博物館の目指すところ

第 1 章 県立博物館の評価制度

(1) 県立博物館の使命

使命 1

■山梨県立博物館は「山梨の自然と人との関わりの歴史」を学ぶ場を目指します。

山梨県の歴史の特色は豊かで多様な自然に育まれた人々の個性あふれる暮らしの歴史である、とまとめられます。だからこそ「山梨の自然と人との関わりの歴史」を学ぶことは、現在はもとより未来へ開く扉の鍵を探ることにつながるのです。

山梨県立博物館ではその一例として、本県の特色ある生業や富士山への向き合い方、武田氏の動向等々について総合的に資料の収集・調査・研究を行います。そして、その最新の成果を「山梨県の精神の拠り所」として絶えず利用者の皆様に問いかけ、共に考え続けます。

使命 2

■山梨県立博物館は「交流」のセンターを目指します。

山梨県は、周囲の高い山々によって閉じられた地域という印象を持たれています。ですが、四方を高い山々に囲まれた地域だからこそ、山梨の先人達は昔から活発な「交流」を求めてきました。

こうした歴史にふさわしく、山梨県立博物館は、県内各地の様々な文化施設、史跡・自然をはじめ、県内外の多くの皆様と活発に交流を行います。「交流」のセンターとして、当館を起点に県内各地へと多くの人々の誘導を図り、本県の活性化に絶えず努めます。

使命 3

■山梨県立博物館は「成長する博物館」を目指します。

山梨県立博物館は、最新の調査・研究成果を展示やイベント内容等に反映させ、絶えず新しい情報の発信に努めます。

また、社会情勢の変化や、利用者の知的関心、学習意欲の高まりに対応して、歴史・文化の視点に立った新たな価値観や未来像を、展示等をとおして考えてもらう場となることを目指します。

特に、山梨県の県立博物館として、農林業・伝統産業・観光や水資源・過疎化等、現在の山梨が抱える様々な課題を乗り越えていくために、県民の皆様とともに未来の山梨のあり方を考え、連携を進めます。

これらをとおして、山梨県立博物館は、その事業・活動等が広く県民の皆様とともに成長して、全国の目標となるような博物館を目指します。

(2) 県立博物館の評価制度の策定

県立博物館の活動が独善に陥ることなく、社会に開かれた活動を行っていくためには、県立博物館の活動を適切に評価し、その結果を運営改善に結びつけていく体制づくりが必要である。

そこで、県立博物館が開館した平成 17 年度から平成 19 年度にかけて、県民の代表から構成される第三者委員会「みんなで作る博物館協議会」（以下「みんなつく」、第 II 編第 9 章参照）において、県立博物館の評価制度の検討を行い、運営委員会にも諮った上で、平成 19 年 10 月 10 日（水）に開館 5 周年日までの評価制度（以下「第 1 期評価制度」という）を策定、さらに平成 24 年 12 月 25 日（火）に開館 6 周年日度目から 10 周年日度目までの新たな評価制度（以下「第 2 期評価制度」という）を策定した。

第 2 期評価制度では、県立博物館の事業・活動等が現状で停滞することなく、将来に向け、利用者ニーズや調査・研究の進展に応じて成長していくことをめざし、第 1 期評価制度で掲げた使命 1・使命 2 という県立博物館の使命に使命 3 を新たに加えた。

また、それぞれの使命に対応して別表「平成 23 年度から平成 27 年度までの評価項目」に掲げた評価項目を設けるとともに、別表「平成 23 年度から平成 27 年度までの各活動分野における数値評価の目標値」に掲げた数値目標を定めた。

今後、第 2 期評価制度にもとづいて、平成 23 年度から平成 27 年度までの運営実績の検証を行い、平成 28 年度に総合評価を行う予定である。

■平成 23 年度から平成 27 年度までの評価項目

※評価方法 A は数値評価、評価方法 B は自己診断、評価方法 C は通信簿ツアーをそれぞれ指す。
 ※評価 A、B、C をふまえて、平成 28 年度に運営委員会において総合評価を実施し、総合評価報告書を刊行する。

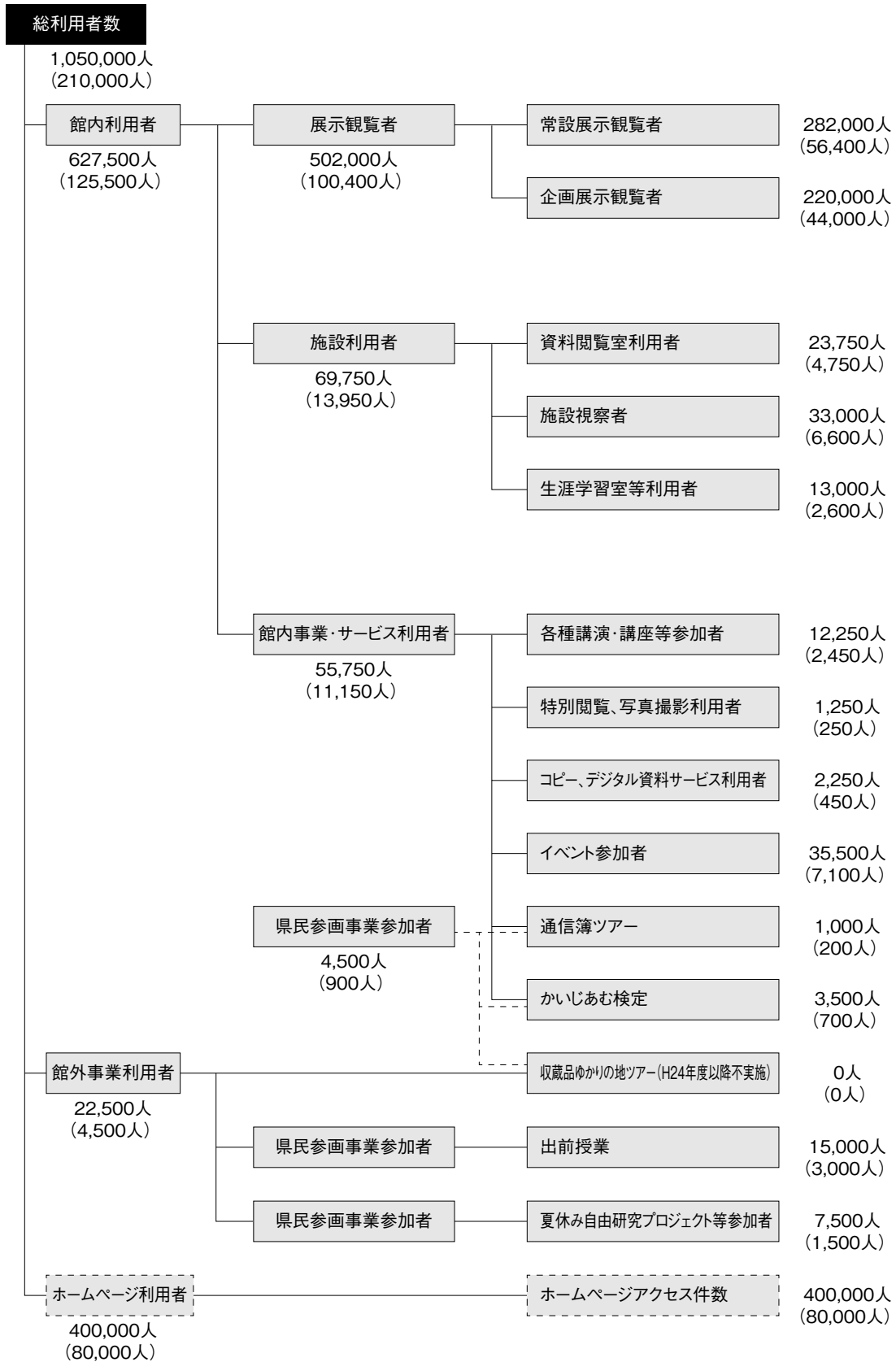
使命1	使命2	使命3
使命1に対応した活動目標	使命2に対応した活動目標	使命3に対応した活動目標
活動目標に対応した評価項目	活動目標に対応した評価項目	活動目標に対応した評価項目

山梨県立博物館の使命	使命1: 山梨県立博物館は「山梨の自然と人の関わり」の歴史を学ぶこと」を目指します。	使命2: 山梨県立博物館は「交流」のセンターを目指します。	使命3: 山梨県立博物館は「成長する博物館」を目指します。
(1) 運営(ミュージアムマネジメント)及びミュージアムサービスについて	<ul style="list-style-type: none"> 山梨県立博物館が整備されて良かったと思われ、思われる博物館づくりを目指して、当館が提供するあらゆるサービスの利用者数の増加に努めます。具体的には開館6周年目から開館10周年目までに1,050,000人の総利用者数を目指します。 山梨県立博物館がどのような使命を持って整備されたのかを分かりやすく明示し、職員・利用者ともに共通の理解を得られるように努めます。 博物館の使命がどの程度達成できたのかを館内外に明らかにするために、利用者の視点に立った活動目標を設定し、その実現に向けて最善の努力をします。 博物館が提供するあらゆるサービスについて多くの利用者に御満足いただけるよう、絶えず改善し続ける博物館づくりに館に携わる全ての人々が一丸となって努めます。そのために、常に博物館全体の活動について自己点検を行い、また利用者の関からの評価の声を受け入れ、その結果を公開します。 NPOとの協働などとおして、広く県民が参画できる事業活動を推進し、県立博物館及び山梨県への親しみや関心が深められるように努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 総利用者数(評価方法A) 館員及び利用者を対象として、博物館使命がどの程度認知されているかの調査(評価方法C) 利用者の視点に立った目標を設定しているか?(評価方法B) 目標の達成状況については、自己及び他者評価を行い、その結果を公開しているか?(評価方法B-C) 県民参画事業の参加者数(評価方法A) 	
(2) 調査・研究について	<ul style="list-style-type: none"> 「山梨の自然と人の関わり」の歴史」をテーマとした調査・研究を精力的に実施し続けます。 	<ul style="list-style-type: none"> 調査・研究の最新成果を展示や諸講座等の機会をおして積極的に公開し、利用者の知的好奇心を満足できるように努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 学術研究機関としての博物館の魅力を高めるために、外部資金の導入などによって積極的に調査・研究を行い、その成果を論文や研究発表などをおして、広く社会に還元します。また、その実現に向けて県内外の人々との共同調査・研究を積極的に推進します。
(3) 資料の収集、保存及び活用について	<ul style="list-style-type: none"> 資料保存機関としての博物館という魅力を高めるために、「山梨の自然と人の関わり」の歴史」を明らかにする上で必要な資料の収集・保存に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 調査及び保管・調査資料の利用体制の充実化をはかります。これら資料の目録化(データベース化)を進め、館内外の人々にとって共に積極的に活用が可能となるように努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 博物館職員による論文執筆や講演・報告などの研究実績が定期的に蓄積されているか?(評価方法A) 科学研究費ほか外部資金の導入などをおして、共同調査・研究が行われているか?(評価方法B) 県民参画による調査・研究が行われているか?(評価方法B)
(4) 展示について	<ul style="list-style-type: none"> 展示をおして魅力あふれる「山梨の自然と人の関わり」の歴史」像を積極的に多くの人々に向けて発信し続けます。具体的目標としては、開館6周年目から開館10周年目までに502,000人の利用者数を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育の現場との連携を深め、子ども達が楽しみながら山梨の歴史や文化を学ぶことのできる展示を作り続けます。具体的には開館6周年目から開館10周年目までに41,000人の学校利用者数を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> 収集した資料の活用を図り、展示やホームページなどをおして、新たな資料情報を積極的に公開します。
(5) 企画交流活動について	<ul style="list-style-type: none"> 常設展示の利用者数(評価方法A) 企画展利用者数(評価方法A) 	<ul style="list-style-type: none"> 全収集点数の内、目録化(データベース化)がなされた資料点数の割合(評価方法A) 資料の総利用件数(一次資料やマイクロフィルムなど二次資料も含んだ閲覧件数、館外資料貸出件数など)(評価方法A) 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな展示やホームページに公開した資料点数(評価方法A)
(5) 企画交流活動について	<ul style="list-style-type: none"> 県内外に対し、「山梨の自然と人の関わり」の歴史」像の浸透に資する効果的な企画交流活動の立案・実行に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育の現場と密接に交流し、博学連携の強化に努めます。 県内各地の文化施設・史跡・自然と密接に連携し、多くの利用者を県内各地へと誘導する企画交流活動の立案・実行に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者のニーズや調査・研究の進展に対応して、企画展の開催や、年間をおした常設展示の展示替えを行います。 常設展示の印象に関わるアンケート調査(評価方法CまたはB) 企画内容や展示手法の満足度に関するアンケート調査(評価方法CまたはB) 常設展示における年間の展示資料点数(どれだけ展示替えを行っているのか?)(評価方法A) 常設展示の来館者数増加に向けた取り組み(評価方法B)

山梨県立博物館の使命	使命1: 山梨県立博物館は「山梨の自然と人との関わりの歴史を学ぶこと」を目指します。	使命2: 山梨県立博物館は「交流」のセンターを目指します。	使命3: 山梨県立博物館は「成長する博物館」を目指します。
	<ul style="list-style-type: none"> 年間における企画交流活動数及びその参加者数(評価方法A) 	<ul style="list-style-type: none"> ・博学連携に関わる取り組み(評価方法B) ・出前授業等の件数及び参加者数(評価方法A) ・貸出用キットの利用件数(評価方法A) 	<ul style="list-style-type: none"> ・企画交流活動に関わる取り組み(評価方法B) ・各種連携事業を実施するにあたりどのような工夫を行っているか?(例えば、大学・図書館との連携やミュージアム甲斐ネットワークなど)(評価方法B) ・地域インデックスの活用策を企画・実行したか?(評価方法B)
(6) 施設の整備・管理について	<ul style="list-style-type: none"> ・山梨の歴史や文化について、人々が快適に学ぶ環境を整えるために、人にとっても安全かつ快適な施設・整備の管理に努めます。 ・魅力あふれる「山梨の自然と人との関わりの歴史」を知ることが出来る貴重な資料を永く後世に伝えていくために、資料にとって安全かつ快適な施設・設備の管理に努めます。 ・地震・火災等の緊急事態に対して、職員の研修をはじめとした対応を行っているか?(評価方法B) ・緊急の傷病者への対応に関して、職員の研修をはじめとした対応を行っているか?(評価方法B) ・バリアフリー対策を行っているか?(評価方法B) ・資料保存について措置を講じているか?(評価方法B) 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者への施設開放(例えば生涯学習室の貸し出しなど)を積極的に行うことで、県民に親しまれる博物館づくりを推進し、開館6周年目から開館10周年目までに69,750人の利用者数を目指します。 ・利用者に対する施設開放件数及び利用者数(例えば、生涯学習室の貸し出しなど)(評価方法A) 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズに応じ、未来に向けた新たな博物館のあり方について検討します。 ・国宝・重要文化財を展示する公開承認施設に指定されているか?(評価方法B) ・展示施設の新規整備やその活用が図られているか?(例えば、体験型展示の充実など)(評価方法B)
(7) 情報の発信と公開について	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が「山梨の自然と人との関わりの歴史を学ぶ」ことについて支援することに努め、レファレンスをおし開館6周年目から開館10周年目までに3,000人が知的好奇心を満足できるように努めます。 ・レファレンス対応件数(評価方法A) 	<ul style="list-style-type: none"> ・山梨県立博物館の活動全般について、県内外の人々に対して積極的にPR活動をするように努め、例えばHPをととした場合は開館6周年目から開館10周年目までに400,000件のアクセス数を目指します。 ・HPアクセス数(評価方法A) ・HPの更新や利用者ニーズに応じた内容の検討を行っているか?(評価方法B) 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを使用した博物館通信の送信や館外におけるPRなど、新たな広報活動の取り組みに努めます。 ・どのような情報をどのような媒体で情報発信しているのか一覧表化がなされているか?(評価方法B)
(8) 市民参画について	<ul style="list-style-type: none"> ・NPOやボランティアなどとの協力を得た事業活動を実施し、共同事業では開館6周年目から開館10周年目までに4,500人と交流できるように努めます。 ・NPOや協力会(ボランティア)との協働事業開催件数及び参加者数(評価方法A) ・協力会(ボランティア)の登録者数(評価方法A) ・協力会(ボランティア)ではどのような活動を実施したのか一覧表化がなされているか?(評価方法B) 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の視点から博物館の評価を行い、その成果を博物館の成長や運営改善に向けて反映するよう努めます。 ・利用者による博物館評価を実施し、その結果を館の運営に反映できるよう工夫がなされたか?(評価方法BまたはC) 	
(9) 組織・人員について	<ul style="list-style-type: none"> ・職員各自の資質向上ができる環境整備に努めます。 ・職員各自の資質向上に関わる研修を実施したか?(評価方法B) 	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者機関の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映するよう努めます。 ・第三者機関(運営委員会、みんなで作る博物館協議会、資料情報委員会など)の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映できるよう工夫がなされたか?(評価方法B) 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員各自の資質向上ができる環境整備に努めます。 ・第三者機関の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映するよう努めます。 ・職員各自の資質向上に関わる研修を実施したか?(評価方法B) ・第三者機関(運営委員会、みんなで作る博物館協議会、資料情報委員会など)の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映できるよう工夫がなされたか?(評価方法B)
(10) 外部支援と連携について	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的に質の高い博物館活動に資するよう、外部支援体制の導入に努めるとともに、地域連携を図ります。 ・館の運営のために外部支援体制の導入に努めたか?(評価方法B) ・山梨県内外における歴史・民俗系博物館等との連携を図っているか?(評価方法B) ・文化財レスキューなど、県立博物館が地域社会を支援する体制の整備に努めたか?(評価方法B) 		

■平成 23 年度から平成 27 年度までの各活動分野における数値評価の目標値

○「総利用者数」とは、当館の施設、提供するサービスを利用した者および当館の事業活動に参加した全ての利用者の統計である。



※ 1 数字…平成 23 年度（開館 6 周年度）から平成 27 年度（開館 10 周年度）までの目標値

※ 2 太字の数字…平成 23 年度から平成 27 年度までの 5 年間に於ける単年度の新規目標値

第 2 章 通信簿ツアーの実施

(1) 通信簿ツアーの内容

■平成 27 年度における通信簿ツアーの特徴

平成 27 年 8 月 16 日（日）、11 月 20 日（金）に、県民参画事業（第 II 編第 8 章参照）の一環として「通信簿ツアー」を実施した。これは利用者とともに県立博物館を評価する（県立博物館の「通信簿」を付ける）という利用者参加型の評価方法である（本事業の概要は平成 18 年度県立博物館年報第 I 編第 2 章参照）。

平成 27 年度の特徴は次のとおりである。

- ・昨年度に引き続き、夏期の実施に加えて、異なる時期により多くの参加者から意見をうかがうため、「県民の日」である平成 27 年 11 月 20 日（金）にも実施した。
- ・質問内容が多すぎるといふ参加者からの声を踏まえ、平成 24 年度に引き続き、はい・いいえ方式の設問を導入して記載の簡素化を図った。
- ・休止中の館内レストランや運用開始した SNS に関する設問を追加した。
- ・あわせて、はい・いいえ方式による回答の理由などを把握するために記述式の設問も残し、多様な利用者からの声をいただく仕組みとした。
- ・2 日間合計の参加者数は 396 名で、この内、回答を寄せていただいたのは 219 名であった。

■通信簿ツアー評価項目

A 山梨県立博物館（かいじあむ）に到着するまでの、道のりは順調でしたか？

1. 博物館までの道のり、迷わずに来られましたか？
2. 最寄り駅の JR 石和温泉駅からいらした方、バスの便はよかったですか？

B いよいよ館内に入ります。

1. チケット売り場はすぐにわかりましたか？
2. 受付（総合案内）や案内スタッフの対応はいかがでしたか？
3. かいじあむ通信「交い」や常設展・企画展のパンフレットは使いやすいですか？
4. 入場料が必要などところ、そうでないところの区別はすぐにわかりましたか？
5. 途中で館外に出ても、当日なら再入場できますが、そのことはすぐにわかりましたか？
6. 館内マップやサイン（案内表示）はわかりやすいですか？
7. エントランス（入り口）にいろいろな掲示がありますが、気づきましたか？気づいたものに○をつけていただけますか？（複数回答可）ご意見もあればお聞かせください。
 - ・次回企画展とイベントの案内
 - ・県立博物館紹介の新聞スクラップ
 - ・エントランス中庭（石舞台）の説明案内
 - ・常設展のおすすめ資料
 - ・気がつかなかった
 - ・館内の禁止事項の案内
8. 広いエントランス・ホールは無料ゾーンです。これまでもいろいろな形で利用していますが、「こんな利用方法がよかった」というご意見や、「こう利用したら？」という提案があったらお書きください。

C 館内は快適ですか？

1. 資料保存のために館内の温湿度を一定にしていますが、館内の温度は快適ですか？
2. 暑さ対策、寒さ対策に案はありますか？
3. 小さなお子さんが楽しめそうなところやサービスはありましたか？ ○をつけていただけますか？（複数回答可）ご意見もあればお聞かせください。
 - ・触れる化石、恐竜お絵かきスクリーン
 - ・積み木広場
 - ・キッズライブラリー
 - ・映像コーナー
 - ・ない
 - ・その他
4. 障害者の方に対応したサービスは充実していると思いますか？
5. 外国人の方に対応したサービスは充分だと思いますか？
6. 館内に休憩できるスペースや椅子は充分ありますか？

D さて、展示室です。（常設展示／鑑賞・学習型展示について）

1. まず目に入るのは、巨大な山梨の衛星写真（「山梨の舞台」）。自分のまちが見つかりましたか？
2. 常設展示室内では、2 か月ごとに資料の展示替えを行っています。一昨年度の通信簿ツアーの結果をふまえて、常設展のおすすめ資料を紹介したパネルがエントランスおよび展示室の入口に表示されていますが、パネルに気づきましたか？
3. 常設展はどのテーマから見ても良いように、展示室内には厳密な順路は設けられていません。それでも、やはり順路があったほうが見やすいという方のために、展示室内の地図がパネルやパンフレットに表示されています。展示室内をめぐる際、迷われてお困りになることはありませんか？
4. 展示品のタイトルや解説類の文字は、見やすさとともに、展示品の大きさなどに合わせて調整しています。文字の大きさはちょうどよかったですか？
5. 室内にはジオラマの下の引き出し式展示やタッチパネルの映像をはじめ、ユニークな仕掛けがいろいろありますが、お楽しみいただけましたか？ご意見もあればお聞かせください。

D 展示は楽しめましたか？（常設展示／体験型展示について）

6. 衛星写真「山梨の舞台」の奥にあるにぎやかな展示場は、実際の資料に触ったり、いろいろなことをゲーム感覚で楽しめる体験コーナー「歴史の体験工房」です。12か所の「現場」がありますが、お楽しみいただけましたか？ご意見もあればお聞かせください。
7. 体験型展示にある「かいじあむ寺子屋」では、体験イベント「遊ぼう！学ぼう！寺子屋ひろば」などを開催しています。これまでに利用された方、楽しい体験ができましたか？また、「かいじあむ寺子屋」でこんなことができたなら…というご意見がありましたら、お寄せください。
8. 体験型展示のコーナーだけは「写真撮影可」ですが、そのことに気づきましたか？
9. 展示理解の手助けとなる解説グッズ類は、充実していると思いますか？

D 展示は楽しめましたか？何かを学ぶことができましたか？（企画展示について）

開館 10 周年記念特別展「大化石展」を開催中です。（8月 16 日）／開館 10 周年記念特別展「富士山—信仰と芸術」展を開催中です。（11 月 20 日）

10. 今回の企画展は面白かったですか？よろしければ、どんなところが面白かったのか、感想も聞かせてください。
11. お子さんでも展示を楽しめるように企画展のワークシートを作成していますが、今回のワークシートはわかりやすかったですか？
12. 今後、どのような内容の企画展の開催を希望しますか？

E 調べ物には「資料閲覧室」や「地域インデックス」をご利用ください。（もっと知識を深めたい方は、「資料閲覧室」へ）

1. 資料閲覧室は誰でも自由に入室しますが、入ってみましたか？感想がありましたら、お聞かせください。
2. 古文書の即日閲覧（申請すれば、その日のうちに博物館収蔵の古文書を見ることができるサービス）など、博物館の図書や資料の閲覧手続きはわかりやすいですか？
3. 本年度は 9 回、館内での「古文書相談日」が開かれています。知っていましたか？
4. もしお宅に古文書があれば、相談してみたいですか？古文書以外にも相談してみたい内容がありましたら、お聞かせください。
5. 「甲州文庫」等のデジタル画像を見ることができる検索端末（パソコン）を知っていましたか？よろしければ、使い勝手の感想も聞かせてください。
6. 博物館周辺のおすすめスポットや、県内各所の観光案内など、情報は充実していますか？
7. 常設展や企画展の展示を見て、どこかの地域に実際に行ってみたいと思ったとき、このコーナーは役に立つと思いますか？

F ショップやレストラン、お庭散策も楽しめましたか？

1. ショップは目玉商品をわかりやすく見せるなど、商品陳列の工夫をしています。いかがでしたか？
2. レジの対応はいかがでしょう？
3. 買ったもの、買いたいものはありましたか。品揃えはいかがでしょう？
4. 現在、県立博物館オリジナルグッズとして、博物館の絵葉書と、富嶽三十六景のコースター、マグネット、ボールペンなどがあります。他にどのようなオリジナルグッズや商品があると良いと思いますか？
5. 軽食・喫茶コーナー「うらら」が、平成 27 年 3 月 22 日（日）をもって営業終了しております。レストランのご利用は（自販機を含む）これまでよくできていましたか？7. オープンテラス（博物館レストランの外）で食事をとることができるのをご存じですか？ また、試してみた方はご感想を。
6. 新たな飲食施設の再開は未定ですが、どのような飲食施設があったら利用されますか。また、どのような飲食施設が良いと思いますか？
7. オープンテラス（博物館レストランの外）で食事をとることができるのをご存知ですか？ また、試してみた方はご感想を。
8. 建物のまわりの広いお庭と植栽は、博物館の自慢です。毎月「ボランティアによるお庭の見所ガイド」を開催しているのですが、ご存じでしたか？

G 博物館で行われているイベントや普及プログラムに興味がありますか？

1. 館長トーク・古文書講座・子ども工房などのイベントプログラムに参加されたことがある方にお聞きします。内容はいかがでしたか？ご意見もあればお聞かせください。
2. こんなプログラムがあれば参加したい、というものがありますか？
3. 博物館と県内市町村をつなぐための「歴史ウォーキング」に興味がありますか？（県博と NPO で制作した、まちミュージアムガイドブックをショップで販売中です）

H 博物館で働く人たちと交流できましたか？

1. 館内スタッフの案内や誘導は上手ですか？
2. 展示交流員（女性はグレーのチェックの制服を着ています）の説明はわかりやすかったですか？面白い話を聞けましたか？
3. 館内には、「協力員」と呼ばれる「ボランティア・スタッフ」がいて、赤色のスタジャンを着てイベントなどを職員と一緒に実施しています。あなたもなってみたいですか？

I 博物館に行く前に、情報は入手できましたか？

1. 県立博物館のホームページを見た方にお聞きします。知りたい情報が得られるなど、役に立ちましたか？また、ホームページではどのような情報を知りたいと思いますか？
2. 博物館に来る際に、どのような広報をご覧になりましたか？○をつけていただけますか？（複数回答可）
・ホームページ ・かいじあむ通信「交い」・ちらし ・新聞 ・テレビ ・その他 ・なし
3. 博物館では昨年公式フェイスブック（kaiseum.ypm）・ツイッター（kaiseum_ypm）をはじめました。ご存じでしたか？ご存じの方は、その感想もお聞かせください。
4. 山梨県内の博物館が連携した「ミュージアム甲斐ネットワーク」のホームページが公開されていますが（<http://www.museum-kai.net/>）、利用したことはありますか？また、知りたい情報が得られたなど、役に立ちましたか？

J 最後に、これもぜひお聞きしたいところです。

1. 館の愛称は、「かいじあむ」。名前の感想は？
2. 入館料（常設展、企画展）は適当ですか？（昨年より、高校生以下は無料となりました）
3. 1年間、何回でも博物館を利用することのできる定期観覧券や、美術館・文学館・考古博物館との4館共通パスポート（ミュージアム甲斐 in 券）があることを知っていましたか？
4. 定期観覧券や4館共通パスポート（ミュージアム甲斐 in 券）を利用したいと思いますか？
5. 以前に来館したことがある方、博物館のサービスが以前よりよくなっていると思いますか？どんな点がよくなったのか、または悪くなったのか、ご意見もあればお聞かせください。
6. 博物館にきたことでもっと山梨県を歩いてみたい、観光してみたいと思いましたか？
7. もう一度、この館に来たいですか？
8. 通信簿ツアーは、博物館がもっと利用しやすくなるよう、皆さんのご意見をうかがうために毎年実施しています。質問項目が多くご迷惑をおかけしますが、通信簿ツアーが他の博物館・美術館にも、もっと広まればよいと思いますか？

(2) 通信簿ツアーの結果

■通信簿ツアー評価結果

	回答者情報	回答数	評価者No.
年代			
10代		6	
20代		14	
30代		49	
40代		51	
50代		23	
60代		29	
70代		13	
80代		1	
90代		0	
性別			
男性		93	
女性		93	
来館回数			
初めて(1回)		73	
2～5回		85	
6～10回		9	
11回～		7	
企画展がある時はなるべく来ています			84
住所			
県内(甲府)		42	
県内(峡東…笛吹・山梨・甲州)		28	
県内(中北…甲斐・南アルプス・韮崎・北杜)		38	
県内(峡南)		4	
東部(大月・上野原・都留)		6	
富士北麓(富士吉田・富士河口湖)		10	
県外(関東)		26	
県外(東北・北海道)		0	
県外(中部)		6	
県外(近畿)		0	
県外(中国・四国・九州)		0	
県外(海外)		0	

交通手段	交通手段		
	電車	4	
	バス	2	
	自家用車	173	
	タクシー	1	
	徒歩	2	
	来館目的		
	企画展	99	
	常設展	0	
	イベント	0	
	観光	6	
	学習、調査	14	
	その他(県民の日、無料だから、スタンプラリー、子どものため、親孝行、十二単の試着 など)	0	
	同伴者		
	1人	11	
	家族	134	
	友人	8	
	団体	0	
	その他	1	
回答番号	質問内容・意見	回答数	評価者No.
A	山梨県立博物館(かいじあむ)に到着するまでの、道のりは順調でしたか?		
AO1	博物館までの道のり、迷わずに来られましたか?		
	はい	196	
	いいえ	3	
	【ご意見】		
	ICから来て20号に入ってから標識が少ない		15
	最初は迷いました		29
	分かりやすい看板があったから		32
	分かりやすかった		41
	看板が分かりやすい		42
	ナビが無かったら無理だった		46
	20号に標識があったので迷わなかった		60
	看板があってわかりやすかった		106
	ちょっと迷ってしまった		110
	車です		151
	平日だった		166
	大きな交差点に道案内をつけてもらいたい。		203
A02	最寄り駅のJR石和温泉駅からいらした方、バスの便はよかったですか?		
	はい	6	
	いいえ	4	
	利用していない	65	
	【ご意見】		
	少し本数が少ない		29
回答番号	質問内容・意見	回答数	評価者No.
B	いよいよ館内に入ります。		
B01	チケット売り場はすぐにわかりましたか?		

	はい	192	
	いいえ	2	
	【ご意見】		
	入ってすぐ右手にあることが伝わったので		32
	良し		43
	行列ができていたから		72
	ウロウロしていたらすぐ案内していただきわかりやすかったです		110
	本日は10周年記念で無料でした。		170
B02	受付(総合案内)や案内スタッフの対応はいかがでしたか?		
	よい	153	
	ふつう	44	
	わるい	0	
	【ご意見】		
	笑顔で話しやすい		30
	わかりやすくスムーズ		42
	案内表示がよくわからない		72
	親切だった		106
	Tレックスの所で写真を撮ろうとしたら立入り禁止欄に当り倒れてしましもしスタッフがいたら当たらず、倒れなかった。		128
	受付の人の対応は丁寧でした・案内スタッフには何も対応して頂けなかったのかわかりません。		131
	会計前に支払金額をお知らせ頂けて良かったです。		138
	昨年も丁寧に接していただきましたが、今年も温かい対応をしていただきました。ありがとうございました。		140
	ていねい、前回も同じ感想。		157
	スタッフ一同親切でした		170
B03	かいじあむ通信「交い」や常設展・企画展のパンフレットは使いやすいですか?		
	はい	137	
	いいえ	6	
	【ご意見】		
	パンフレットもらって(見て)いません		89
	見ていません		101・102
	パンフレットは、案内もないし、手渡しされなかったの、わからない		131
	頂けなかったのわかりません		133
	知識が身につけられて良かったです。		138
	使わなかった		149
	必要以上に多い		155
	できればまとめて		157
B04	入場料が必要なところと、そうでないところの区別はすぐにわかりましたか?		
	はい	150	
	いいえ	29	
	【ご意見】		
	分かりますが入りづらいかも知れません		29
	特別展が分かりやすい入口となっていたので		32
	良し		43
	丁寧に説明あり		45
	インターネットで見えてわかりやすかったです。		61
	説明あった		68
	案内していただいたのでわかりました。		110

	看板が目立たないので、わかりにくい		131
	受付が有り区分は可		155
B05	途中で館外に出ても、当日なら再入場できますが、そのことはすぐにわかりましたか？		
	はい	54	
	いいえ	125	
	【ご意見】		
	すぐではなかった		7
	出口にこういった説明があったので		32
	受付で教えてくれるといい		94
	何も言われないと分からないです。		131
	再入場できると有り難いです		133
	知りませんでした		136
	初めて知りました		138
B06	館内マップやサイン(案内表示)はわかりやすいですか？		
	はい	161	
	いいえ	15	
	【ご意見】		
	ただトイレがわかりずらかった。		22
B07	エントランス(入り口)にいろいろな掲示がありますが、気づきましたか？気づいたものに○をつけていただけますか？ (複数回答可)ご意見もあればお聞かせください。		
	次回企画展とイベントの案内	69	
	館内の禁止事項の案内	36	
	県立博物館紹介の新聞スクラップ	13	
	エントランス中庭(石舞台)の説明案内	21	
	常設展のおすすめ資料	19	
	気がつかなかった。	20	
B08	広いエントランス・ホールは無料ゾーンです。これまでもいろいろな形で利用していますが、 「こんな利用方法がよかった」というご意見や、「こう利用したら？」という提案があったらお書きください。		
	【ご意見】		
	子供が色々なものにふれあえるコーナーがあるといいと思う		26
	可能ならば長い列があれば、別の場所やもう少し受付を増やしてもよいかと思います		29
	休むのによかった		42
	無料ゾーンがあることをもう少し積極的にアピールすべし		49
	小さい演奏会などはどうでしょう。美術館のロビーコンサートの様な感じの		53
	少し仕切りがあると良い		97
	交流の場ができたら良いと思いました		138
	今年はとても暑かったせいもありますが、お茶を飲みながら休める(座って)場所があるといいかも…		140
	無料レンタルスペースってことですか？		149
	ミニコンサート、地元の写真展		155
	着ぐるみ写し会		178
	広々とした場所でよいと思った		181
	ワインの展示		219
回答番号	質問内容・意見	回答数	評価者No.
C	館内は快適ですか？		
C01	資料保存のために館内の温湿度を一定にしていますが、館内の温度は快適ですか？		
	はい	190	

	いいえ	5	×
	【ご意見】		
	あつい		23
	少し寒い		58・61 87・89
	外は暑いので助かります		110
C02	暑さ対策、寒さ対策に案はありますか？		
	【ご意見】		
	緑のものを取り入れる		18
	うちわほしいです		21
	現状維持でよいのではこのままで十分		32・41・43
	外との差をもう少し小さくした方がよい		58
	夏はうす着なので、少し温度が高い方がいいと思います		61
	薄いストールやアーム・レッグウォーマー		75
	水を流す		112
	良いと思います・温度はいいと思います・調度良い		157・169 210
C03	小さなお子さんが楽しめそうなところやサービスはありましたか？○をつけていただけますか？(複数回答可) ご意見もあればお聞かせください。		
	触れる化石、恐竜お絵かきスクリーン		115
	積み木広場		16
	キッズライブラリー		19
	鉄道模型		0
	映像コーナー		30
	ない		1
	その他		2
	【ご意見】		
	映像や動きの再生はだれもが理解しやすく、興味が持ててよいと思います。		133
	おりがみ		156
C04	障害者の方に対応したサービスは充実していると思いますか？		
	はい		76
	いいえ		14
	【ご意見】		
	そこ迄はわからなかった。		1・4・46・97 112・157・163
	恐竜お絵かきのスペースはベビーカーが通りにくそうでした。絵をかくスペース、通るスペース、スクリーンを見るスペースがもう少し区別できているとさらに良いのではないかと思います		53
	通路が狭い		66
	車イスの方が前に進めず大変そうでした		83・100
	80代の祖母と前に来た時に座るいすがなくて、大変そうだったので、椅子を増やしてほしいです。		131
C05	外国人の方に対応したサービスは充分だと思いますか？		
	はい		32
	いいえ		33
	【ご意見】		
	そこ迄気付かなかった		1
	あまり展示解説で他言語を見かけないです		29

	英語主体の人は読めないかもしれない		30
	英語表現も必要なのは		32
	判りません	34-97-155 163-166	
	どのように案内しているのか不明確でした		86
	全部読めない		112
	外国の方も見学していましたが、もっと外国語の表記がある方がいいと思います		208
C06	館内に休憩できるスペースや椅子は充分ありますか？		
	はい	124	
	いいえ	28	
	【ご意見】		
	背もたれ椅子がほしい		19
	かなりゆったりとできると思います。これだけの人数がいても座る場所が多いと思います		29
	客がどうしても多い時(今日)は、足りないのではないかと考える。しかし、椅子も空いていたので問題ないのでは		32
	常設展は少ないと思う		36
	余り必要ない。あると混雑する		45
	所々にあって良いです		53
	椅子がもう少しあったら良い。もっと沢山ほしい。不足。もう少しイスがあっても良いと思います	35-56-68-76 95-115-132	
	企画展内にイスが欲しいです。企画展内カメラOKは良かったです		79
	エントランスにももう少しあったらいいと思います		106
	展示スペースにもイスを置いてほしい		108
	混みあっていました		123
	映像を拝見するともう少し、椅子があるとゆったりと見ることができて、うれしく思われます		133
	混んでいる時は椅子を増やしても良いと思う		149
	クライテイングがいまいち		152
回答番号	質問内容・意見	回答数	評価者No.
D	さて、展示室です。(常設展示 / 鑑賞・学習型展示について)		
D01	まず目に入るのは、巨大な山梨の衛星写真(「山梨の舞台」)。自分のまちが見つかりましたか？		
	はい	69	
	いいえ	43	
	【ご意見】		
	山梨県立博物館の位置が見えづらいです。シールで大きく拡大したりするとお年寄りも見つけやすいかと		29
	川の名前や大きめの駅にシールがあったりすると分かりやすい		31
	なんとなくここだという物はあった		32
	うすくて見づらかった		62
	ファナックが良く見えた		76
	主要部に地名表示がほしい		87
	県外からです	89-203	
	少しわかりにくかった		95
	探してない		97
	初めての時は見つけましたが今はわかりません		111
D02	常設展示室内では、2か月ごとに資料の展示替えを行っています。昨年度の通信簿ツアーの結果をふまえて、常設展のおすすめ資料を紹介したパネルがエントランスおよび展示室の入口に表示されていますが、パネルに気づきましたか？		
	はい	62	
	いいえ	44	

	【ご意見】		
	常設展がとてわかりやすいので、もう1セット受付?常設展の入口にあるといいなと思います		29
	展示に添えてあるマークをパネルにも示してあると分かりやすい		31
	初めてなのでどれも新鮮		110
D03	常設展はどのテーマから見ても良いように、展示室内には厳密な順路は設けられていません。それでも、やはり順路があったほうが見やすいという方のために、展示室内の地図がパネルやパンフレットに表示されています。展示室内をめぐる際、迷われてお困りになることはありましたか?		
	はい	28	
	いいえ	73	
	【ご意見】		
	クイズが順路どおりでない		62
	自由に見られてよいと思います		110
	一部、分かりにくい所があり、迷ってしまう		132
	非現実で良いと思います		138
	分かりづらい		207
D04	展示品のタイトルや解説類の文字は、見やすさとともに、展示品の大きさなどに合わせて調整しています。文字の大きさはちょうどよかったですか?		
	はい	100	
	いいえ	3	
	【ご意見】		
	少し小さい		209
D05	室内にはジオラマの下の引き出し式展示やタッチパネルの映像をはじめ、ユニークな仕掛けがいろいろありますが、お楽しみいただけましたか?ご意見もあればお聞かせください。		
	はい	86	
	いいえ	11	
	【ご意見】		
	ちよいちよい工夫が見られおもしろかったです		16
	引き出しに気付かない可能性があるかもしれない引き出しがもっとアピールされているとよい引き出しが楽しかったです		30-31-76
	わからなかった		97
	床の下に展示があったのが楽しかった		106
	臨場感があり、好きです		138
	字が小さい。化石を見たいのに解説が細かすぎる		152
	とびだす絵本みたいに立体的におもしろいかも		178
	タッチパネルの映像が見にくいものがある		213
D	展示は楽しめましたか?(常設展示/体験型展示について)		
D06	衛星写真「山梨の舞台」の奥にあるにぎやかな展示場は、実際の資料に触ったり、いろいろなことをゲーム感覚で楽しめる体験コーナー「歴史の体験工房」です。12か所の「現場」がありますが、お楽しみいただけましたか?意見もあればお聞かせください。		
	はい	97	
	いいえ	7	
	【ご意見】		
	行ってない		1
	物足りない		68
	子供でも興味の持てる展示でした		106
	前回展示をみた		181
D07	体験型展示にある「かいじあむ寺子屋」では、体験イベント「遊ぼう!学ぼう!寺子屋ひろば」などを開催しています。これまでに利用された方、楽しい体験ができましたか?また、「かいじあむ寺子屋」でこんなことができたら…というご意見がありましたら、お寄せください。		

	はい	49	
	いいえ	0	
	利用していない	46	
	【ご意見】		
	パソコンを使って各時代にタイムスリップを食べるようにする		203
D08	体験型展示のコーナーだけは「写真撮影可」ですが、そのことに気づきましたか?		
	はい	62	
	いいえ	39	
	【ご意見】		
	説明があった		42
	いいと思った		95
	見逃しました。又、カメラを持ち込みませんでした		155
D09	展示理解の手助けとなる解説グッズ類は、充実していると思いますか?		
	はい	80	
	いいえ	6	
	【ご意見】		
	欲しい本がどれも完売のため残念でした		16
	ところどころ光が弱く展示物が見づらい。泥面子は個々が見えるとよい。ただの飾りになっていてかわいそう。展示物でパネルが見えないところあり		22
	音声ガイドは無料もしくは低料金で		34
	たかい		42
	説明不足である		86
	何を見ていいかわからない。テーマの解説がどれを見ればいいのか分かりにくい		119
	もう少し、細かく説明したものがあればと感じた		132
	展示の撮影ができると助かります		206
D	展示は楽しめましたか?何かを学ぶことができましたか?(企画展示について)開館10周年記念特別展「大化石展」を開催中です。(8月16日)／開館10周年記念特別展「富士山—信仰と芸術」展を開催中です。(11月20日)		
D10	今回の企画展は面白かったですか?よろしければ、どんなところが面白かったのか、感想も聞かせてください。		
	はい	145	
	いいえ	8	
	【ご意見】		
	きょうりゅうが動く所がよかった・子供でも楽しみやすかった。映像や動きのあるものなど・動く恐竜、大きな骨本当に動く動物などがいて面白かった・動く恐竜が印象強かった		18-24-54 95-106
	これからも子供の興味があるものを企画してほしい・子供が喜びました		26-96
	さわれるものがあるのは良かった・本物の化石にさわれる展示がよかった・間近に化石を見られる点よかった・恐竜を間近に見ることができたこと・触れたり、恐竜が動いていたので、迫力があって良かったです・動く恐竜があって良かった!		27-30-71 91-134-140
	恐竜の大きさが分かる模型を見れたこと。迫力があって恐竜の大きさがわかって迫力がありました・実物大化石・最後の大きい恐竜!		32-53 114-150
	充分		45
	ラプトルを見たかった。触れるものももっと欲しい		56
	目的が不明確		68
	描いた絵が表示される映像・恐竜の絵をかくとうつされるところが良かった		75-111
	山梨が海だったとは知らなかった		76
	恐竜の模型など充実していた		78
	リアルな恐竜に逃げまわる息子が面白かった(笑)。もう少し規模が大きいと更に良い		82
	子供達が学ぶ事のできるクイズ		86
	化石が好きなのでどれも良かった		110

	物足りない		119
	山梨の関係ある展示がたくさんあって面白かった		131
	時代別のものがもうすこしあれば		132
	複製が分かりやすく展示されていたので、大きさや形がよく想像できて、良かった。映像や動き(目の動きまで)が再現され、迫力があつた		133
	観光に使い県外より呼び込めるし良い。但し魅力は弱い		155
	仏像の大日如来がかわいらしい		177
	信仰について長い歴史をかんじた		181
	富士山の信仰が少し理解できた		201
	現代の富士登山の様子も一緒に載せてあれば面白いかも。		203
	資料をずい分集められたと思います		210
	ジオラマ		218
D11	お子さんでも展示を楽しめるように企画展のワークシートを作成していますが、今回のワークシートはわかりやすかったですか？		
	はい	107	
	いいえ	15	
	【ご意見】		
	子どもが小さかったので		6
	利用していない・見てないです		34・131
	低学年には難しかった・小さな子供には少し難しかったようです・子供が小さいので、説明に時間がかかった・未就学児には無理でした・普通、少し難しいところがあった・小一には難しい・子供だけで特にヒトが少し難しかったです。子供だけでできるとよかったです	42・60・75・82 107・130・141	
	子供がワークシートに気を取られあまり見れなかった		48
	ワークシートをがんばっていました		55
	もらっていない。大人も欲しいワークシートを頂いていないのでわかりません		56・133
	チェックポイントがとてもよかった		67
	とても楽しんでいました・楽しめました		71・106
	ただ見てまわるだけでなく、興味を持って見学できました		89
	わからない		97
	大変楽しかったです。混雑していたからですが、お絵かきスクリーンは場所がもっと広いと良かったです。スクリーンをゆっくり眺めるスペースも欲しかったです		140
	幼児用、小学生用、大人用等難易度を分けても良いと思います		151
D12	今後、どのような内容の企画展の開催を希望しますか？		
	【ご意見】		
	山梨県内の産業文化		2
	なし		10・150
	昔の甲府の町並み、生活に関するもの		30
	宇宙など		42・101
	エジプト展		58・89
	今住んでいる山梨の歴史がわかり、良かったです		65
	今回のように大人も子供も楽しめる企画		75
	武田信玄の歴史など		95
	親しみやすい歴史展示、仏像、食べ物系		97
	未来の乗物や生活用品など		108
	山梨だけでなく今回の様に日本全国、世界の事を知れる展示があると楽しいと思います		114
	今回の用に山梨と関係ある展示は他の博物館では見られないので、どんどん増やしてほしいです		131
	四大文明や他の文明など。今回のような楽しめる企画もお願いします		133
	子供の楽しめる企画		134
	お正月、夏休み、冬休みをつれていきたい企画		137

	山梨県出身のアーティスト特集		138
	世界の神話や伝説にまつわるもの		140
	内容は中ぐらい。まだまだ1000円の内容となっていないと思うか?		152
	山梨の古代史、山岳写真		155
	富士八湖の伝説について		177
	野球(東京ドーム内)にあります借りて開催してほしい。(県内出身の堀内についても)		217
回答番号	質問内容・意見	回答数	評価者No.
E	調べものには「資料閲覧室」や「地域インデックス」をご利用ください。(もっと知識を深めたい方は、「資料閲覧室」へ)		
E01	資料閲覧室は誰でも自由に入れますが、入ってみましたか?感想がありましたら、お聞かせください。		
	はい	27	
	いいえ	66	
	【ご意見】		
	興味を持った本がいくつもあった		32
	資料閲覧室の利用について今まで知りませんでした		53
	時間が無かったので、次回ゆっくり来ます		75
E02	古文書の即日閲覧(申請すれば、その日のうちに博物館収蔵の古文書を見ることができるサービス)など、博物館の図書や資料の閲覧手続きはわかりやすいですか?		
	はい	26	
	いいえ	27	
	【ご意見】		
	書類が何種類かあって少し探しにくい		31
	知りませんでした		91
	未使用		155
E03	本年度は9回、館内での「古文書相談日」が開かれていますが、知っていましたか?		
	はい	17	
	いいえ	51	
	【ご意見】なし		
E04	もしお宅に古文書があれば、相談してみたいですか?古文書以外にも相談してみたい内容がありましたら、お聞かせください。		
	はい	30	
	いいえ	30	
	【ご意見】		
	高橋泥舟の巻物等		155
	古い瓦があります。(住所と名前あり)		181
E05	「甲州文庫」等のデジタル画像を見ることのできる検索端末(パソコン)を知っていましたか?よろしければ、使い勝手の感想も聞かせてください。		
	はい	15	
	いいえ	43	
	【ご意見】		
	不明		155
E	調べものには「資料閲覧室」や「地域インデックス」をご利用ください。(山梨県をもっと幅広く楽しみたい方は、「地域インデックス」へ)		
E06	博物館周辺のおすすめスポットや、県内各所の観光案内など、情報は充実していますか?		
	はい	49	
	いいえ	7	
	【ご意見】		
	不明		155
	すこし		181

E07	常設展や企画展の展示を見て、どこかの地域に実際に行ってみたいと思ったとき、このコーナーは役に立つと思いますか?		
	はい	50	
	いいえ	5	
	【ご意見】		
	売店付近の様々な資料を置いてあるところが役立つと思う		30
	かなり充実していると思う		32
	特に他県の人にとっては良いと思います		53
	歴史を知ってから行くとまた、違った見方ができると思います		138
	現在、NHKで放送中の朝ドラ「朝がきた」に出てくる五代友厚と起業家・雨宮敬次郎さんとの出会い、おもしろかったです		157
回答番号	質問内容・意見	回答数	評価者No.
F	ショップやレストラン、お庭散策も楽しめましたか?		
F01	ショップは目玉商品をわかりやすく見せるなど、商品陳列の工夫をしていますか、いかがでしたか?		
	よい	30	
	ふつう	47	
	わるい	0	
	利用しなかった	29	
	【ご意見】 なし		
F02	レジの対応はいかがでしょう?		
	よい	25	
	ふつう	32	
	わるい	0	
	利用しなかった	35	
	【ご意見】 なし		
F03	買ったもの、買いたいものはありましたか。品揃えはいかがでしょう?		
	よい	35	
	ふつう	34	
	わるい	4	
	【ご意見】		
	がちゃがちゃに欲しい物がありました		29
	化石のガチャガチャを1回した。楽しかった		76
	スカーフを買った		201
	図録の再販を願います。		206
F04	現在、県立博物館オリジナルグッズとして、博物館の絵葉書と、富嶽三十六景のコスター、マグネット、ボールペンなどがあります。他にどのようなオリジナルグッズや商品があると良いと思いますか?		
	【ご意見】		
	マグカップ		30
	人形等		32
	余り必要ない		34
	タオル		95
	ファイル、小物		133
	ラバーストラップ		163
	ジオラマ		213
F05	軽食・喫茶コーナー「うらら」が、平成27年3月22日(日)をもって営業終了しております。レストランのご利用は(自販機含む)これまでよくされてきましたか?		
	はい	17	
	いいえ	53	

	【ご意見】		
	復活して欲しいです・レストランを再開してほしい・再開してほしい		131-133-180
F06	新たな飲食施設の再開は未定ですが、どのような飲食施設があったら利用されますか。 また、どのような飲食施設が良いと思いますか。		
	【ご意見】		
	スタバ、エイトカフェ等		3
	カフェ形式のもの・喫茶系・軽食コーナー(サンドウィッチ・カレー)・カフェがあると嬉しいです・軽食、コーヒーショップくらい・ 軽食くらいあったほうがいい(こういう特別イベントのあるときくらいは)		30-70-119 124-131-180 181-201
	昼軽食用で企画展に合わせて子供の喜ぶようなメニューがあるとよい・子供と利用しやすいお店		31-74
	フードコート系		32-35
	昼食がとれる食事		68
	地元食材を使ったメニュー・山梨県産の農産物を使用したレストラン。無農薬、フルーツジュース(もも・ぶどう)・地元の料理		75-86-87
	とりあえず何かあった方が良いでしょう		102
	ないのは困る。早めの再開を希望します		110
	カフェ(山梨県独自の産物を用いたもの)軽食(同文)心の和む雰囲気		133
	持ち込みを食べられるスペース		138
	不要、休憩所があれば十分		149
	集客に寄ります		155
	価格の安い店なら良いと思う。せめてランチなら800円位で1000円は高いと思う		203
	うどん、ラーメン		213
F07	オープンテラス(博物館レストランの外)で食事をとることができるのをご存じですか? また、試してみた方はご感想を。		
	はい		22
	いいえ		52
	【ご意見】		
	知らなかった		42
	いもにを食べた		201
	天気の良い日は弁当を持って時間をつぶす事がある		203
F08	建物のまわりの広いお庭と植栽は、博物館の自慢です。毎月「ボランティアによるお庭の見所ガイド」を開催しているのですが、ご存じでしたか?		
	はい		18
	いいえ		59
	【ご意見】		
	庭はいつ来ても美しく、癒されます		53
	次回は歩くのを予定します。又、下見を今回します		155
	もっとPRを!!		209
回答番号	質問内容・意見	回答数	評価者No.
G	博物館で行われているイベントや普及プログラムに興味がありますか?		
G01	館長トーク・古文書講座・子ども工房などのイベントプログラムに参加されたことがある方にお聞きします。 内容はいかがでしたか?ご意見もあればお聞かせください。		
	よい		12
	ふつう		13
	わるい		0
	参加していない		46
	【ご意見】なし		
G02	こんなプログラムがあれば参加したい、というのがありますか?		

	【ご意見】		
	地域たんけん		30
	武田信玄に関するプログラム		32
	知らないこと教えて		68
G03	博物館と県内市町村をつなぐための「歴史ウォーキング」に興味がありますか？ (県博とNPOで制作した、まちミュガイドブックをショップで販売中です。)		
	はい	42	
	いいえ	22	
	【ご意見】なし		
回答番号	質問内容・意見	回答数	評価者No.
H	博物館で働く人たちと交流できましたか？		
H01	館内スタッフの案内や誘導はいかがですか？		
	よい	55	
	ふつう	40	
	わるい	2	
	【ご意見】		
	恐竜博士		45
	立っているだけ		60
	ていねいで良かった		110
	案内や誘導がなかったです		131
H02	展示交流員(女性はグレーのチェックの制服を着ています)の説明はわかりやすかったですか？ 面白い話を聞けましたか？		
	よい	33	
	ふつう	39	
	わるい	2	
	【ご意見】		
	子供を楽しませようと工夫している点がかがえる		32
	聞けなかったです		131
H03	館内には、「協力員」と呼ばれる「ボランティア・スタッフ」がいて、赤色のスタジャンを着てイベントなどを職員と一緒に実施しています。あなたもなってみたいですか？		
	はい	24	
	いいえ	44	
	【ご意見】		
	将来的にやってみたい		30
	フラッシュ禁止なのに一部いる。Noと言っても良い		45
	良いと思います		154
回答番号	質問内容・意見	回答数	評価者No.
I	博物館に行く前に、情報は入手できましたか？		
I01	県立博物館のホームページを見た方にお聞きします。知りたい情報が得られたなど、役に立ちましたか？ また、ホームページではどのような情報を知りたいと思いますか？		
	はい	61	
	いいえ	10	
	見ていない	31	
	【ご意見】		
	企画展・イベント情報		30
	アクセス、利用時間、料金、開館日		31
	得たい情報になかなかとりつけなかった。イメージにくい		74

102	博物館に来る際にどのような広報をご覧になりましたか?○をつけていただけますか?(複数回答可)		
	ホームページ	36	
	かいじあむ通信「交い」	6	
	ちらし	25	
	新聞	26	
	テレビ	32	
	その他(知人)	1	36
	なし	13	
103	博物館では昨年から公式フェイスブック(kaiseum.ypm)・ツイッター(kaiseum_ypm)をはじめました。ご存じでしたか?ご存じの方は、その感想もお聞かせください。		
	はい	7	
	いいえ	42	
	見ていない	57	
	【ご意見】		
	ツイッターを利用しているが、もっとツイートした方がいいと思う		163
104	山梨県内の博物館が連携した「ミュージアム甲斐ネットワーク」のホームページが公開されていますが(http://www.museum-kai.net/)、利用したことがありますか?知りたい情報が得られたなど、役に立ちましたか?		
	はい	11	
	いいえ	29	
	見ていない	57	
	【ご意見】なし		
回答番号	質問内容・意見	回答数	評価者No.
J	最後に、これもぜひお聞きしたいところです。		
JO1	館の愛称は、「かいじあむ」。名前の感想は?		
	よい	67	
	ふつう	55	
	わるい	12	
	【ご意見】		
	びみょーだと思う。センスが悪い!けんとうしなおすべきである		24
	かい(甲斐)とミュージアムを足したと思う。いいアイデア		32
	わかりにくい		68
	友達にかいじあむでは通じなかったので		131
	なじみやすい		133
	かいじ=海自を連想して、県外の私には「かいじあむ」を聞いても、博物館とは思わないから		140
	音の響きがよくありません		144
	意味がわからない		158
	名前をつけることがわからない		181
J02	入館料(常設展、企画展)は適当ですか?(昨年より、高校生以下は無料となりました)		
	高い	22	
	ふつう	92	
	安い	11	
	【ご意見】		
	良い思った。神奈川ではないです。勉強に対して県が力を入れているのですか?		7
	子供が無料はいいと思う		8
	大学生にも無料や割引日してほしい		32
	65才以上のため		79

	高校生無料はいい、入りやすい		95
	企画展一般の子供連れに割引を。常設展は、適価		123
	県内の人は他と区別して、多少安くしてほしい(他の県でもそうしているの)		133
	今回は関係しなかった		155
	無料でした		201
J03	1年間、何回でも博物館を利用することのできる定期観覧券や美術館・文学館・考古博物館との4館共通パスポート(ミュージアム甲斐in券)があることを知っていましたか?		
	はい	35	
	いいえ	99	
	【ご意見】		
	巡回展の企画展の場合、コンビニなどで前売り券の販売をしてほしい		163
J04	定期観覧券や4館共通パスポート(ミュージアム甲斐in券)を利用したいと思いますか?		
	はい	44	
	いいえ	71	
	【ご意見】		
	県外のため		26
	中々来ることが出来ないから。遠いので		41
J05	以前に来館したことがある方、博物館のサービスが以前よりよくなっていると思いますか?どんな点がよくなったのか、または悪くなったのか、ご意見もあればお聞かせください。		
	よい	34	
	ふつう	53	
	わるい	2	
	【ご意見】		
	明るい雰囲気で気軽に聞けるようになった		3
	広々している		43
	初めて来たので比較できない初めてです		75・134
	スタッフさんの対応が悪くなった気がします		131
	ほとんど		160
	トイレ(女性)の荷物掛けフック(ドア側)が高くて不便です。改善を。うす暗いので展示の文字を見易く(光や文字の大きさ)工夫してください		209
	学芸員が大変親切だと思います		210
J06	博物館にきたことでもっと山梨県を歩いてみたい、観光してみたいと思いましたか?		
	はい	75	
	いいえ	19	
	【ご意見】		
	当館以外の情報をPRしているから		32
	地元		155
J07	もう一度、この館に来たいですか?		
	はい	104	
	いいえ	6	
	【ご意見】		
	企画展がよいものであれば(今回のように)・おもしろい企画があれば		55・158
	子供がいてゆっくり見れなかった		87
	また化石などやっていただきたいです		94
	企画展は充実しているので、ぜひ次の企画をお願いしたいです(楽しいもの)		133
	去年に引き続き、特別展示に興味を持ち来てしまいました。また、来年も来れたらいいなあと思っています		140

J08	通信簿ツアーは、博物館がもっと利用しやすくなるよう、皆様のご意見をうかがうために毎年実施しています。 質問項目が多くご迷惑をおかけしますが、通信簿ツアーが他の博物館・美術館にも、もっと広まればよいと思いますか？		
	【ご意見】		
	そう思います。夜の営業などもやってほしいです		156
	思います。楽しかったです		180
	より良いものになるために、他の人の評価は大事だと思うので広がってほしい		32
	ここは初めてなのですが色々わかりやすかったです。とにかく昼ごはんに困るのはちょっと大変なので早めの再開を希望します		110
	良いと思います		116
	考えさせられるツアーなので、是非お願いしたいです		133
	来場者の声を発する場があり、良いと思いました		138
	もう少し手軽に答えられるものであれば		141
	その通り		157
	広まった方がいい。アピールが少ない気がする		201
J09	その他、ご意見がございましたらご記入ください。		
	【ご意見】		
	駐車場のラインをもっとわかりやすくかいてもらいたい		42
	博物館でもう少しいベントを増やしてほしい		43
	来る度に何か一つは新しい発見があります。又、来ます		53
	本日、8/16企画展足元、冷えすぎでしょうか？		79
	南アルプスが眺められる場所の樹木を手入れしていただいで、山々が見えたら良いな～		84
	冊子だとやる気がなくなるので、A4・1枚にしていきたい		91
	前のページの付けてない(答えていない)所はわからない、利用していない、等です		102
	アンケートが多い。質問が多い。アンケートが多すぎる		118-166-180
	外の化石発掘の所で、係の人がおもしろいお金を数えていたのが、見ていていいものではなかった		130
	久しぶりに昔の良き時代を思い出しました。大変、有意義な時間を過ごすことができました。また、きたいと思います		132
	今回のような企画展があれば、多くの人が興味を持ち、楽しみに来館できるので、企画展を増やしてほしいと思います。 今日はありがとうございました。(見た後の一息つけるカフェが欲しいです)		133
	おもしろかったです		134
	展示のセンスは好みです。一日では見きれないのでまた来たくります		149
	これを渡され、評価することが疲れる。楽しみにきているのにつまらなくなるので、やめてほしい		152
	外にある山梨県のはたがやぶれていたのが気になった		176
	建物が博物館らしいと思います		181
	庭の木の名前があせてしまって名前がわからなかった		213
	1907年の水害の件、正確に広く多く永久に展示を望む		215
	より良い博物館にしようという気概?がすごく感じられました。ありがとうございました		216
	県内に「武田」の資料が塩山、韭崎、甲府にありますが、全部一同に開催は不可能でしょうか		217
	立派な通信簿ですね		218

※「評価者 No.」は通信簿の提出者それぞれに機械的に付与した番号であり、同一番号は同一人物の回答によるものであることを示す。

No 1～153 は 8 月 16 日参加者、154～219 は 11 月 20 日参加者によるもの。

※「ご意見」欄には、主な意見のみを抜粋して掲載した。

■評価結果の分析

平成 27 年度の通信簿ツアーは、夏期分が 6 万人を超える利用者があった「大化石展」の開催期間中に実施したため、例年よりも多量かつ、さまざまな回答を得ることができた。

通信簿ツアーは、平成 18 年度に実施して以来、平成 27 年度（以下「本年度」）で 10 回目を迎えた。本事業の実施によって寄せられた利用者からの声に対しては、その都度、可能な限り対応をし、より親しみやすい博物館づくりを継続的に実施してきた。

この結果、「受付（総合案内）や案内スタッフの対応はいかがでしたでしょうか？」（B02）という設問に対して、「よい」回答率が 77.7%、「ふつう」回答率が 22.3% を占めた。この指標については昨年度より改善され、依然として高い回答率を得ているが、平成 24 年度に記録した「よい」回答率 83.8%（「ふつう」回答率 16.2%）には及ばず、改善を継続していく必要がある。また、「館内スタッフの案内や誘導は上手ですか？」（H01）という設問でも、「よい」回答率が 56.7%、「ふつう」回答率が 41.2% となり、前年度からは改善しているものの、平成 24 年度の「よい」回答率 70.9%（「ふつう」回答率 29.1%）に及んでいないので、職員研修や意識の改善に努める必要がある。

このように、スタッフによる利用者への接遇は、指標上はいまだ高い評価を維持している一方、記述式意見には「親切」、「よくなった」、「丁寧」という表現が多く占めるなかで、一部に「対応が悪くなった」というものもあるので、真摯に受け止めて改善に努めていく必要がある。

次に、展示については、常設展の設問のうち高い評価となったのが、「室内にはジオラマの下の引き出し式展示やタッチパネルの映像をはじめ、ユニークな仕掛けがいろいろありますが、お楽しみいただけましたか？」（D05）という設問では「はい」回答率が 88.7%（平成 26 年度 88.8%）、体験型展示について楽しめたかについての設問（D06）では「はい」回答率 93.3%（平成 26 年度 91.4%）が挙げられる。また、「展示品のタイトルや解説類の文字は、見やすさとともに、展示品の大きさに合わせて調整しています。文字の大きさはちょうどよかったですか？」（D04）という設問でも、「はい」の回答率が 97.1%（平成 26 年度 91%）を示し、開館初期に利用者の不満が多かったキャプション等の文字の大きさなどの課題についても改善が進んでいることが明らかとなった。同じく不満が多かったテーマ展示と自由導線について迷ったり困ったりしたかの設問（D03）では、「はい」は回答率 27.7%、「いいえ」は 72.3% となり、これらの展示手法が著しく利用者の楽しい観覧を妨げている状況ではなくなってきたことが示された。このほか評価が伸びなかったものとして、2 か月に 1 度の展示替えを紹介するパネルを認識したかの設問（D02）では、「はい」回答率が 58.5%（平成 26 年度は 46.1% で改善はしている）、「かいじあむ寺子屋」の体験イベントを楽しく過ごせたかの設問（D07）では、「いいえ」はゼロであるものの、「はい」と「利用していない」の回答数がほぼ同じであり、利用者に対するの伝達やコミュニケーションの方法を再考する必要が示された。

企画展については、約 6 万人の利用者があった「大化石展」が行われていたために、子ども向け展示の重要性や、多客時のホスピタリティなどについての意見が多く寄せられた。全体的な評価は企画展を楽しめたかの設問（D10）での「はい」回答率は 94.8% と高い評価を得ることができた。「大化石展」が子ども連れの家族に多数利用されたことで、子どもの利用についてのリクエストが多く寄せられ、「触れるもの」、「動くもの」の展示物を求める声が多かった。

バリアフリーやさまざまな人々に「開かれた博物館」を目指す点においては、「障害者の方に対応したサービスは充実していると思いますか？」（C04）の設問で、連日混雑を極めた「大化石展」で通路の狭さや車椅子の利用者の通行が困難だったと指摘があった。企画展の展示レイアウトの設計においては、車椅子の通行を十分考慮しているものの、特に夏期企画展においては多客時の場合への配慮が必要であることが明らかになった。またバリアフリーという点では、外国人対応サービスについての設問（C05）では、十分とする意見が 49.2% に留まり、外国人向けの展示解説の改善が求められる。

資料閲覧室の利用について、「資料閲覧室は誰でも自由に入れますが、入ってみましたか？」（E01）という設問では、「はい」回答率が 29%（平成 26 年度は 30.4%）となり、前年度や平成 24 年度の「はい」回答率 48.6%、「いいえ」回答率 51.4% と比較して、さらに低下している。この数値的な低下傾向は「大化石展」による全体の利用者増によるところが大きいですが、ここ数年低下基調にあり、その他の資料閲覧サービス関係の指標も古文書の即日閲覧や図書などの閲覧手続きの分かりやすさの設問では、「はい」回答率 49%（平成 26 年度は 47.5%）などと評価が低いことから、学習支援の拠点としてより利用してもらえるような取り組みが必要となる。

展示以外の施設については、目立った不満はないものの、平成 26 年度末に営業終了した館内レストランの再開を望む声が寄せられ、そのレストランの業態についても具体的な意見が寄せられた。

広報関係では、見た広報の種類設問（I02）では、ホームページやチラシ、新聞、テレビなどまんべんなくさまざまな媒体が利用されていることが分かった。SNS の利用状況の設問（I03）やミュージアム甲斐・ネットワークホームページの設問（I04）では、その認知度についての設問にそれぞれ 6.6%、11.3% と低い数値を記録しており、インターネットを活用した情報発信の在り方を考慮する必要が示された。

以上、平成 27 年度の通信簿ツアーでは、これまで蓄積されてきた県立博物館の長所や、改善が進められた結果や、県立博物館の認知度の広がりを見ることができた。だがその一方で、継続している課題や、開館後 10 年を経た施設の劣化や陳腐化、スタッフの入れ替わりなどからくると思われる低評価も散見されるようになった。今後も県立博物館の使命と機能を果たしていくためには、利用者とのコミュニケーションの結果得られたこうした課題の改善に取り組みつつ、次の 10 年間にに向けて取り組むべき新たな目標や構想を設定したうえで、事業・運営を進めていく必要がある。

第Ⅱ編 事業・諸活動

第1章 運営・ミュージアムサービス

(1) 運営・ミュージアムサービスの方針

県立博物館は、

- ・「調査研究」(第Ⅱ編 第2章参照 以下、章のみ)
- ・「資料の収集・保管・活用」(第3章)
- ・「展示」(第4章)
- ・「企画・交流事業、県民参画」(第5章・第8章)

を柱とした事業・活動をとおして、県立博物館の使命の実現を目指している。25頁に掲げる「県立博物館事業体系図」のとおり、それぞれの事業・活動は密接に関連し合いながら、館の活動総体を高めていく。

県立博物館が提供するこれら諸サービスは、子どもから高齢者まで、誰もが気軽に学べ、何度来ても楽しめる博物館となることを基本方針とする。

そのためには常に、利用者が満足できる魅力あふれる事業・活動を企画・実行すること、快適に利用できる施設として整備すること(第6章)、あわせて、情報化社会に対応した情報システムの充実・強化を図ること(第7章)が必要である

また、博物館の各種事業は、専門的かつ高度な知識や技術が必要となることから、これらの知識を着実に蓄積することのできる創造性の高い組織作りを行う。同時に、ネットワークを生かし、外部支援も導入しながら開かれた博物館運営を行い、県民や利用者のニーズの変化に応えられるよう努めていく(第9章・第10章)。

(2) 平成27年度利用者状況一覧

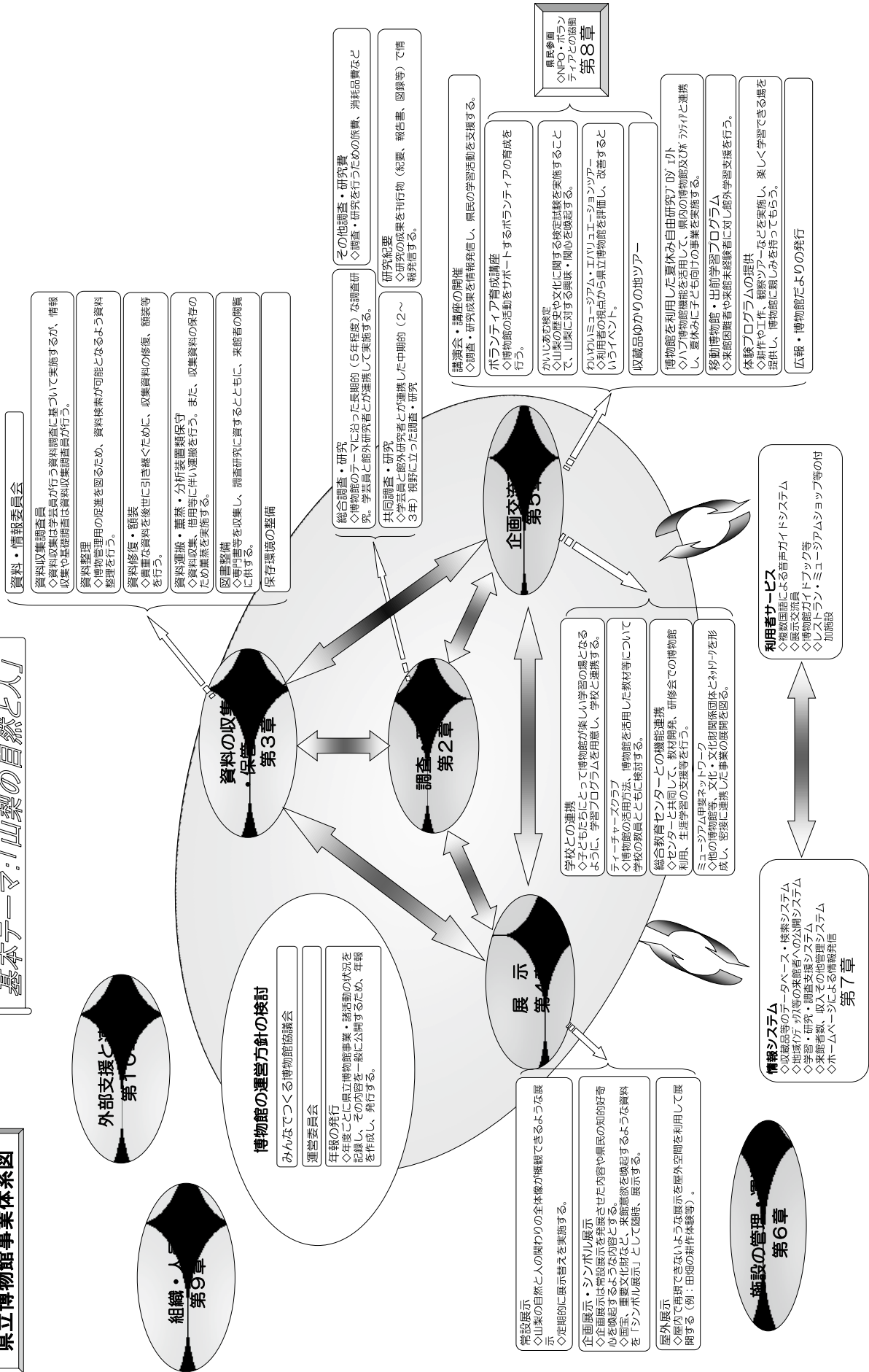
県立博物館の事業・活動は、調査・研究、資料の収集・保管・活用・展示、企画交流事業、施設の整備・管理、情報の発信と公開、県民参画など多岐にわたり、その成果をミュージアムサービスとして県民に還元しているところである。

これらミュージアムサービスについて、数値実績として表現できるものについて一覧化したものが26頁の「平成27年度 県立博物館利用者状況」である。県立博物館では、提供する諸サービスの総計を「総利用者数」として捉え、今後、総利用者数の増加を目指し、多くの人々に満足してもらえるミュージアムサービスを提供していく。

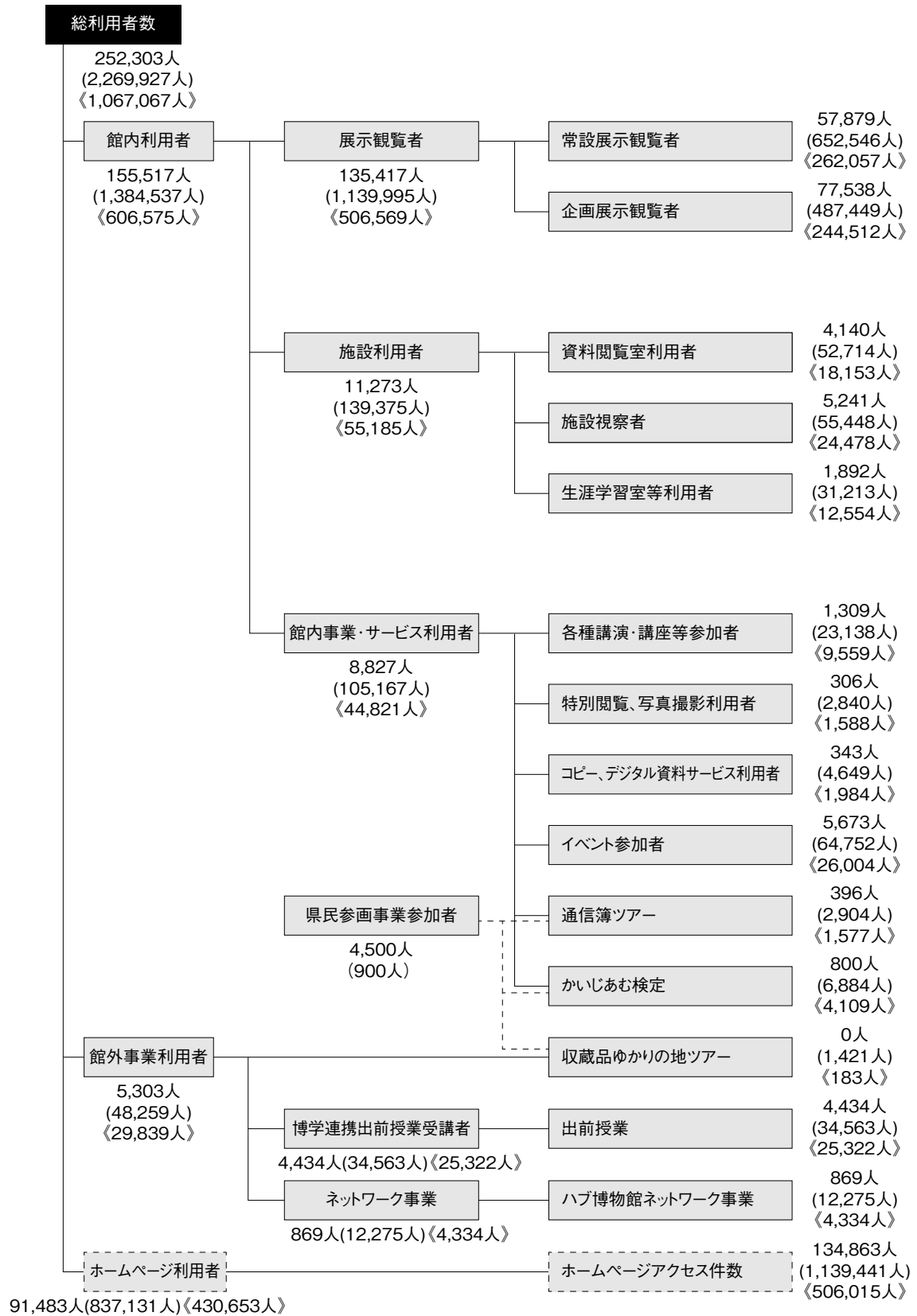
- ※1 博物館の利用者とは、博物館の施設や提供する諸サービスを利用した者および博物館の事業・活動に参加したすべての対象者をさす。なお、一部の項目については、重複して統計に表れる性質がある。
- ※2 一覧に示す利用者数は平成27年度分(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)の実績である。なお()内の数値は平成17年度分から平成27年度分まで、また、《 》の数値は平成23年度分から平成27年度までの実績数値を加えたものである。
- ※3 県民参画事業のうち、「交流拠点形成事業」及び「わいわいミュージアム」は平成18年度で終了した。代わりに平成19年度からは、「かいじあむ検定」、「通信簿ツアー」が新規に実施された(第8章)。このため、平成17～26年度までの実績を示すにあたり、「かいじあむ検定」の場合は平成18年度までの「交流拠点形成事業」の実績を、「通信簿ツアー」の場合は平成18年度までの「わいわいミュージアム」の実績でそれぞれ集計した。また、「収蔵品ゆかりの地ツアー」は、平成23年度で終了した。

県立博物館事業体系図

基本テーママ:「山梨の自然と人」



■平成 27 年度 県立博物館利用者状況



※ () 内の数値は平成 17 年度分から平成 27 年度分までの実績数値の総計である。

※ 《 》 内の数値は平成 23 年度分から平成 27 年度分までの実績数値の総計である。

■開館年度(平成17年度)から平成27年度までの年度別統計

総利用者	館内利用者 (a+b+c)										館外利用者					ホームページ利用者					
	展示利用者 (a)		施設利用者 (b)		館内事業・サービス利用者 (c)						県民参画事業		ハブ博物館 ネットワーク 事業								
	常設展示 (発券数)	企画展示 (発券数)	資料閲覧室 利用者	施設 視察者	生涯学習室 等利用者	講座・講演会 利用者	特別閲覧・写真撮影等 利用者	エレクトラル 資料・ビジュアル 参加者	イベント 参加者	通信簿 ツアー	かいしあむ 検定	取藏品ゆかり の地ツアー	博覧会 出前授業 受講者	ハブ博物館 ネットワーク 事業							
17年度	143,415	114,412	98,578	66,274	32,304	10,889	6,085	1,190	3,614	4,945	1,321	92	209	2,911	180	232	433	282	151	0	28,570
18年度	221,107	149,254	124,182	92,277	31,905	16,043	7,957	3,674	4,412	9,029	2,604	263	479	5,213	345	125	1,451	195	156	1,100	70,402
19年度	203,261	126,055	105,596	66,291	39,305	13,908	7,306	3,486	3,116	6,551	1,515	219	496	3,861	240	220	4,833	166	1,317	3,350	72,373
20年度	169,893	97,551	73,419	49,634	23,785	12,461	4,754	4,262	3,445	11,671	1,649	265	549	8,613	143	452	2,781	180	1,076	1,525	69,561
21年度	233,815	145,172	119,288	59,508	59,780	13,034	4,399	6,640	1,995	12,850	3,553	330	488	7,029	231	1,219	5,194	274	3,871	1,049	83,449
22年度	231,369	145,518	112,363	56,505	55,858	17,855	4,060	11,718	2,077	15,300	2,937	83	444	11,121	188	527	3,728	141	2,670	917	82,123
23年度	200,843	112,026	90,090	49,858	40,232	12,538	3,354	6,800	2,404	9,378	2,473	276	402	4,943	166	1,118	4,658	183	3,721	754	84,159
24年度	200,181	107,246	86,695	49,341	37,354	11,120	2,983	4,769	3,368	9,431	3,003	306	427	4,633	183	879	7,110	0	6,077	1,033	85,825
25年度	213,116	121,898	101,746	57,860	43,886	10,900	4,067	4,295	2,538	9,252	1,635	422	453	5,443	468	831	7,220	0	6,350	870	83,998
26年度	200,624	109,888	92,621	47,119	45,502	9,334	3,609	3,373	2,352	7,933	1,139	278	359	5,312	364	481	5,548	0	4,740	808	85,188
27年度	252,303	155,517	135,417	57,879	77,538	11,273	4,140	5,241	1,892	8,827	1,309	306	343	5,673	396	800	5,303	0	4,434	869	91,483
計	2,269,927	1,384,537	1,139,995	652,546	487,449	139,375	52,714	55,448	31,213	105,167	23,138	2,840	4,649	64,752	2,904	6,884	48,259	1,421	34,563	12,275	837,131

■平成27年度 県立博物館利用者状況(月別集計)

総利用者	館内利用者 (a+b+c)										館外利用者					ホームページ利用者					
	展示利用者 (a)		施設利用者 (b)		館内事業・サービス利用者 (c)						県民参画事業		ハブ博物館 ネットワーク 事業								
	常設展示 (発券数)	企画展示 (発券数)	資料閲覧室 利用者	施設 視察者	生涯学習室 等利用者	講座・講演会 利用者	特別閲覧・写真撮影等 利用者	エレクトラル 資料・ビジュアル 参加者	イベント 参加者	通信簿 ツアー	かいしあむ 検定	取藏品ゆかり の地ツアー	博覧会 出前授業 受講者	ハブ博物館 ネットワーク 事業							
4月	17,439	10,409	8,945	3,773	5,172	1,132	404	722	6	332	235	22	40	35	0	0	98	0	98	0	6,932
5月	19,918	11,958	10,183	4,830	5,353	1,076	434	430	212	699	113	20	33	533	0	0	345	0	345	0	7,615
6月	9,761	3,513	2,348	2,248	0	599	155	173	271	566	118	18	21	409	0	0	519	0	519	0	5,729
7月	35,687	22,678	20,914	7,483	13,431	1,482	569	607	306	282	82	30	40	130	0	0	1,127	0	258	869	11,882
8月	91,729	72,402	66,161	20,939	45,222	3,105	1,287	1,749	69	3,136	36	26	43	2,181	300	550	189	0	189	0	19,138
9月	8,923	3,217	2,497	2,497	0	413	139	125	149	307	46	16	16	229	0	0	230	0	230	0	5,476
10月	13,119	5,789	5,145	4,181	964	453	173	174	106	191	53	21	30	87	0	0	1,072	0	1,072	0	6,258
11月	17,001	10,461	7,722	3,689	4,033	1,491	307	817	367	1,248	211	26	24	891	96	0	202	0	202	0	6,338
12月	3,706	1,012	843	843	0	123	65	28	30	46	0	10	24	12	0	0	15	0	15	0	2,679
1月	9,103	3,478	1,804	1,804	0	301	156	109	36	1,373	75	25	25	998	0	250	687	0	687	0	4,938
2月	9,231	3,003	2,040	2,040	0	517	168	107	242	446	302	31	20	93	0	0	520	0	520	0	5,708
3月	16,686	7,597	6,815	3,452	3,363	581	283	200	98	201	38	61	27	75	0	0	299	0	299	0	8,790
計	252,303	155,517	135,417	57,879	77,538	11,273	4,140	5,241	1,892	8,827	1,309	306	343	5,673	396	800	5,303	0	4,434	869	91,483

第2章 調査・研究

平成27年度における県立博物館の調査・研究では、外部資金による調査研究として、日本学術振興会 科学研究費助成事業（科研費）による調査研究は、1件が最終年度となり（「木食行における作仏の宗教的意義に関する研究—木喰行道・白道の初期作例を通じて[若手研究B]」（平成25～27年度）、2件が継続（「自然災害の記録化と伝承・信仰に関する研究[基盤研究C]」（平成26～29年度）、「戦国大名家臣の関係史料収集と近世的展開に関する基礎的研究[若手研究B]」（平成26～29年度））、1件（「日本的畜産文化成立過程の動物考古学的研究[基盤研究C]」（平成27～29年度）が新たに採択された。

県費による調査・研究としては、総合調査・研究「日韓における博物館資料の調査・記録・展示手法に関する比較研究」（平成27～平成31年度）、共同調査・研究「等々力万福寺と初期浄土真宗の布教について」（平成27～平成30年度）、「富士参詣路の歴史的研究」（平成27年度）のほか、「山梨県富士山総合学術調査」（平成24～27年度）を実施した。このうち富士参詣路に関する研究の成果は、報告書『富士御師の檀那所と御山参詣』（山梨県立博物館 調査・研究報告12）として刊行された。なお、総合調査・研究については日韓における博物館資料の比較研究をテーマに、また、万福寺と浄土真宗については法然上人絵伝（当館所蔵）の調査研究を中心に、前年度までの研究期間の成果を引き継ぎつつ調査をおこなっていく予定である。

各博物館職員がそれぞれの専門分野に応じおこなった個別調査・研究の結果については『山梨県立博物館研究紀要』第10集のほか、関連する学術雑誌などに発表された。

加えて、山梨県が実施している前掲山梨県富士山総合学術調査について、平成24年度から事務局を博物館に移して第2次調査（平成27年度まで継続）を行い、多くの博物館職員が調査員として参加した。

（1）外部資金による調査・研究

①科学研究費補助金 基盤研究（C）「自然災害の記録化と伝承・信仰に関する研究」

（課題番号 26370813）

■調査・研究の目的

大規模な災害が相次ぐ今日の社会において、歴史学等の分野では、過去の歴史的な災害の状況や影響について考察が進み、大きな成果を得ている。この一方、災害に関する史料が作成・記録され、今日までどのようにして受け継がれてきたのか、また災害が地域の伝承や信仰の中にどのような影響を及ぼしたのかという課題については、これまで十分に研究されてこなかった。

そこで、本研究は、富士山の噴火や山麓の土石流災害、また河川・湖沼の水害が相次いで発生した、古代・中世～近世の甲斐国を対象にして、災害に関する史料の内容に留まらず、その作成・記録化の経緯とともに、今日に至るまでの史料の伝来過程について考察する。また、災害の状況を記した文献史料や銘文に限定せず、地域の伝承や信仰をとおして、災害が後世にどのように語り継がれてきたのかを探る。

■研究体制

研究代表者 西川広平

研究協力者 関俊俊明（韮崎市教育委員会）	斎藤秀樹（南アルプス市教育委員会）
田中大輔（南アルプス市教育委員会）	畑 大介（帝京大学文化財研究所）
保阪太一（南アルプス市教育委員会）	堀内 真（山梨県立博物館）
丸尾依子（山梨県立博物館）	村石眞澄（山梨県埋蔵文化財センター）
山下孝司（韮崎市教育委員会）	

■活動記録

- ・平成27年9月8日（火）・9日（水） 資料調査（東京都立中央図書館）
- ・平成28年2月23日（火） 資料調査（東京都立中央図書館）
- ・平成28年3月15日（火） 資料調査（東京都立中央図書館）
- ・平成28年2月～3月 資料整理、データ入力（山梨県立博物館）

■活動内容と成果

本研究は、平成26年度から同29年度にかけて実施する調査・研究である。平成27年度は、東京都・神奈川県・埼玉県下の自治体史に収録されている富士山宝永噴火関係の古文書・古記録の内容を確認し、データ入力す

る作業を実施した。

また、平成26年度、27年度に実施した研究成果を、山梨県立博物館研究紀要に「富士山宝永噴火に関する資料の記録化について—山梨側の地域資料を対象に—」と題して論文にまとめた。

今後、関東地方において宝永噴火の災害状況に関する情報がどのように伝えられたのかを実物資料の調査も踏まえて考察する予定である。

②科学研究費補助金 若手研究B「木食行における作仏の宗教的意義に関する研究—木喰行道・白道の初期作例を通じて」
(課題番号 25770054)

■調査・研究の目的

甲斐出身の江戸時代後期の木食僧、行道とその弟子白道は、木食行を修しながら全国を廻国し、各地に仏像を彫り残したことで知られる、作仏聖である。彼らの活動から、木食行における作仏が有する宗教的意義について考察する。

■研究体制

研究代表者 近藤暁子（学芸員）

■活動記録

- ・平成28年2月10日（水）
資料見学（東京都日本民藝館）
- ・平成28年3月2日（水）～4日（金）
資料見学（宮崎県 宮崎市きよたけ歴史館、木喰五智館、西都市歴史民俗博物館）
- ・平成28年3月11日（金）～14日（月）
資料調査（北海道 正隆寺、北海道博物館）

■活動内容と成果

継続調査最終年度の本年度は、木喰行道の初期の制作とされてきた正隆寺地藏菩薩像について調査を行った。作風から行道の弟子である白道の作である可能性も示唆されてきたが、赤外線撮影による墨書銘の確認、作風・形式の再検討から、行道の作であると判断された。資料では、行道は正隆寺のある現在の小樽市近辺に足を運んだ形跡はないが、本像の来歴をさらに検討することにより、新たな事実が判明する可能性も出来た。

③科学研究費助成基金助成金 若手研究B「戦国大名家臣の関係史料収集と近世的展開に関する基礎的研究」
(課題番号 26770237)

■調査・研究の目的

近年、新史料の存在が相次いで確認されている戦国大名家臣の家伝文書について、甲斐武田氏の家臣を主な素材として、新史料の掘り起こしを図る。また収集した史料の検討をとおして、家臣と大名との関係や、彼らの近世における動向を把握するとともに、旧戦国大名家臣の家伝文書がどのような位置づけであったかを明らかにすることを目的とする。

■研究体制

研究代表者 海老沼真治（学芸員）

■活動記録

- ・平成27年10月30日（金）
資料調査（新潟県立歴史博物館）
- ・平成27年11月5日（木）～7日（土）
資料調査・関係展示の視察（福井市立郷土歴史博物館・福井県立若狭歴史博物館）
- ・平成27年11月11日（水）・12日（木）
資料調査・文献調査（市立米沢図書館・米沢市上杉博物館）
- ・平成28年3月19日（土）～5月23日（月）
開館10周年記念特別展「武田二十四将—信玄を支えた家臣たちの姿—」開催

■活動内容と成果

本研究は、平成20年度から23年度まで行った個別調査・研究「武田氏家臣関係資料に関する基礎的研究」の成果をふまえて、平成26年度より開始した研究である。

今年度は、本研究に係る資料調査と写真撮影を行った。また平成28年3月19日（土）より開催する開館10周年記念特別展「武田二十四将—信玄を支えた家臣たちの姿—」において、本年度までの研究成果の一部を発表した。

④科学研究費助成基金助成金 基盤研究C「日本の畜産文化成立過程の動物考古学的研究」

(課題番号 15K01142)

■調査・研究の目的

日本列島における牛馬利用の文化はそのルーツであるユーラシア草原地帯の騎馬遊牧民の文化とは多くの点で異質であるとされる。しかし、近年の動物考古学的研究からは、牛馬導入初期にあたる古墳時代や古代には後世とは異なる様相があったことが明らかになりつつある。こうした特徴が大陸との直接的関係を示すのか、またはそれ自体も変容の結果なのかは、①日本列島における牛馬利用の細かな時期的変遷の把握と、②東アジア地域の同時代資料の調査によって明らかにできると考えられる。本研究では両地域の牛馬遺体を動物考古学的な視点により見直すことで、日本列島における牛馬利用の受容から日本的な変容までを東アジアとの関係において解明することを目的とする。

■研究体制

研究代表者：植月 学（学芸員）

■活動記録

- ・平成27年4月～（継続中）笛吹市地耕免遺跡出土馬遺体（古代）
- ・平成27年4月～（継続中）都留市谷村城跡出土馬遺体（近世）
- ・平成27年5月～（継続中）神奈川県由比ヶ浜中世集団墓地遺跡出土牛馬遺体（鎌倉時代）
- ・平成27年5月～（継続中）青森県大光寺新城跡出土牛馬遺体（中世）
- ・平成27年6月～（継続中）千葉県北下遺跡出土牛馬遺体（古代）
- ・平成27年6月 宮城県多賀城跡出土馬遺体（古代）
- ・平成27年11月 長野県飯田市内古墳群出土馬遺体（古墳時代）
- ・平成27年11月 甲府市朝気遺跡出土牛馬遺体（平安時代）
- ・平成27年12月 笛吹市竹居古墳群出土馬遺体（古墳時代）

■活動内容と成果

今年度は県内を中心に、東日本の様々な時代の遺跡から出土した牛馬遺体の分析をおこなった。また、共同研究者の覚張隆史氏（金沢大学）の協力を得て、新たに馬歯の炭素同位体分析による食性の検討をおこなった。その結果、県内出土の古墳時代～中世馬では中世以降に雑穀の給餌割合が増加することが確かめられた。今後、年代、産地、体高などの属性と比較することにより、過去の馬の飼育形態についてより具体的に復元可能となることが期待される。

（2）県費による調査・研究

①総合調査・研究「日韓における博物館資料の調査・記録・展示手法に関する比較研究」

■調査・研究の目的

各研究テーマを新たな視点で進展させ、日韓両国の博物館資料の調査記録と展示手法に関する比較を通じて、双方の博物館活動の充実を図ることを目的とする。

■県立博物館担当職員

森原明廣（学芸課長）、植月 学（学芸員）

■活動記録

- ・平成27年6月9日（火）～15日（月） 韓国・国立清州博物館研究員の招聘、共同調査
- ・平成27年11月16日（月）～22日（日） 県立博物館職員 韓国調査（国立清州博物館員との共同調査）

■活動内容と成果

韓国調査においては、国立清州博物館のほか、国立中央博物館や国立扶餘博物館、国立古宮博物館、ソウル歴史博物館などを視察し、韓国内における博物館展示の状況について調査を行った。

②共同調査・研究「法然上人絵伝（当館蔵）を中心とした等々力万福寺関係資料に関する研究」

■県立博物館担当職員

松田美沙子（学芸員）、近藤暁子（学芸員）

■共同調査・研究員

井澤英理子（山梨県立美術館 学芸課長）

■活動記録

・平成27年10月30日（金）

・平成28年3月25日（金）

岡墨光堂において万福寺法然上人絵伝修理状況の視察。

■活動内容と成果

修理の事前調査の様子により、修理方針を決定した。次年度以降、修理の進捗状況に応じて、必要な確認をしていくこととした。

③共同調査・研究「富士参詣路の歴史的研究」

■県立博物館担当職員

堀内 眞（当館職員）

■活動記録

平成27年度中 報告書編集作業

平成28年3月25日（金）『山梨県立博物館 調査・研究報告12 富士御師の檀那所と御山参詣』刊行

■活動内容と成果

共同調査・研究「富士参詣路の歴史的研究」の成果として、『山梨県立博物館 調査・研究報告12 富士御師の檀那所と御山参詣』を刊行し、県立博物館ホームページにて公開した。

（3）個別調査・研究

①職員の調査・研究成果

番号	調査・研究テーマ	概要	担当職員
	浮世絵師・溪斎英泉の研究	溪斎英泉の浮世絵美人画を中心として調査し、英泉の画業について考察を行う。（太田記念美術館 第31回（2014年）「浮世絵研究助成」の交付を受けての研究。同館研究紀要 第6号にて成果を報告。）	松田美沙子

②調査・研究活動

年 月 日	内容	担当職員
平成27年4月5日（日）	天津司舞、山梨岡神社太々神楽調査	丸尾依子
平成27年4月8日（水）	静岡県立美術館・静岡県立中央図書館 所蔵資料の調査	中野賢治
平成27年4月9日（木）	かみつけの里博物館 所蔵資料の調査	植月学・海老沼真治
平成27年4月16日（木）	東京大学史料編纂所 所蔵資料の調査	中野賢治
平成27年4月22日（水）	名古屋市蓬左文庫 所蔵資料の調査	中野賢治
平成27年4月23日（木）	西尾市岩瀬文庫 所蔵資料の調査	中野賢治
平成27年4月25日（土）	笛吹市個人宅 所蔵資料調査	小畑茂雄
平成27年4月27日（月）	富士工業技術センター 環境調査	丸尾依子・西願麻以
平成27年5月3日（日）	一之瀬高橋春駒愛好会活動調査	丸尾依子
平成27年5月11日（月）	狼関連資料調査（埼玉県個人）	植月学
平成27年5月13日（水）	笛吹市福光園寺 香王観音菩薩像調査	近藤暁子・西願麻以

年 月 日	内容	担当職員
平成27年5月14日(木)	富士吉田市個人宅 所蔵資料の調査	中野賢治
平成27年5月15日(金)	身延町貝化石調査	植月 学
平成27年5月21日(木)	市川三郷町個人宅 所蔵資料の調査	中野賢治
平成27年5月27日(水)	遺跡出土牛馬遺体調査(鎌倉市)	植月 学
平成27年6月3日(水)	遺跡出土馬遺体調査(市川市)	植月 学
平成27年6月4日(木)	特別展「富士山」 出品資料調査(広島県立歴史博物館)	近藤暁子
平成27年6月4日(木)	南アルプス市個人宅 所蔵資料調査	小畑茂雄
平成27年6月4日(木)	潮音堂 所蔵資料の調査	中野賢治
平成27年6月5日(金)	特別展「富士山」 出品資料調査(滋賀県個人)	近藤暁子
平成27年6月6日(土)	笛吹市福光園寺 吉祥天及び二天像調査	近藤暁子
平成27年6月10日(水)	特別展「富士山」 出品資料調査(山梨県立博物館)	近藤暁子・松田美沙子
平成27年6月11日(木)~12日(金)	遺跡出土馬遺体調査(多賀城市)	植月 学
平成27年6月12日(金)	戦争関係資料調査(甲府市内)	小畑茂雄
平成27年6月13日(土)	ポール・ラッシュ記念館 環境調査	森原明廣・西願麻以
平成27年6月14日(日)・25日(木)・8月7日(金)・10月7日(水)	甲府市個人宅 所蔵資料の調査	小畑茂雄・丸尾依子・中野賢治・宮澤富美恵
平成27年6月17日(水)	木喰関連資料調査(東京古美術商)	森原明廣・近藤暁子
平成27年7月3日(金)	東京農工大科学博物館 所蔵資料調査	丸尾依子
平成27年7月7日(火)	富士御室浅間神社 所蔵資料の調査	中野賢治
平成27年7月19日(日)	丹波山村ささら獅子舞調査	丸尾依子
平成27年7月13日(月)	早稲田大学中央図書館 所蔵資料の調査	中野賢治
平成27年7月17日(金)	特別展「富士山」 出品資料調査(村山浅間神社)	堀内 眞・近藤暁子・中野賢治
平成27年8月17日(月)	甲府市高室家住宅 科学調査	森原明廣・西願麻以
平成27年10月1日(木)	甲州竿調査(南アルプス市個人)	植月 学
平成27年10月1日(木)	養蚕関係資料調査(甲州市個人宅)	小畑茂雄
平成27年10月5日(月)	甲府市円光院 環境調査	森原明廣・西願麻以
平成27年10月7日(水)	笛吹市熊野神社 所蔵資料の調査(県学術文化財課調査)	海老沼真治
平成27年10月9日(金)	動物骨製品調査(平山郁夫シルクロード美術館)	植月 学
平成27年10月14日(水)	養蚕関係資料調査(笛吹市個人宅)	小畑茂雄・丸尾依子
平成27年10月15日(木)	植物標本調査(大月市個人)	植月 学
平成27年10月16日(金)	甲府市円光院 環境調査	森原明廣・西願麻以
平成27年10月22日(水)	中央市豊富郷土資料館所蔵資料調査	丸尾依子
平成27年10月26日(月)	富士山御中道三柱神社 環境調査	西願麻以・堀内眞
平成27年10月30日(金)	法然上人絵伝 修理状況調査(墨光堂京都国立博物館文化財保存修理所)	森原明廣・近藤暁子
平成27年10月30日(金)	新潟県立歴史博物館 所蔵資料の調査	海老沼真治
平成27年11月2日(月)	環境省生物資源研究所(北杜市)所蔵資料調査	丸尾依子・小畑茂雄
平成27年11月6日(金)	福井市立郷土歴史博物館 所蔵資料の調査	海老沼真治
平成27年11月9日(月)	鳴沢道踏査	堀内 眞・植月 学
平成27年11月10日(火)	ワイン関係資料見学(国立科学博物館)	丸尾依子
平成27年11月11日(水)	市立米沢図書館 所蔵資料の調査	海老沼真治
平成27年11月12日(木)	米沢市上杉博物館 所蔵資料の調査	海老沼真治
平成27年11月12日(木)	山梨市個人宅資料調査	小畑茂雄
平成27年11月12日(木)~13日(金)	甲州竿調査(甲府市個人)	植月 学
平成27年11月16日(月)~17日(火)	遺跡出土馬遺体調査(飯田市)	植月 学
平成27年11月21日(土)	長谷寺(笛吹市)所蔵資料調査	丸尾依子
平成27年11月27日(金)	甲府市個人宅 所蔵資料の調査	海老沼真治
平成27年12月6日(日)	下市之瀬獅子舞調査	丸尾依子
平成27年12月16日(水)	甘楽町歴史民俗資料館、安中市学習の森ふるさと学習館 所蔵資料の調査	海老沼真治
平成27年12月20日(日)	東京都個人宅 所蔵資料調査	松田美沙子
平成28年1月6日(水)	特別展「武田二十四将」 出品資料調査(東京国立博物館)	松田美沙子
平成28年1月9日(土)~10日(日)	小正月行事調査(県内)	丸尾依子
平成28年1月14日(木)~16日(土)	小正月行事調査(県内)	丸尾依子
平成28年1月20日(水)	世田谷区個人宅 所蔵資料の調査	中野賢治
平成28年2月10日(水)	木喰関連資料見学(東京都 日本民藝館)	近藤暁子
平成28年2月15日(月)	近代人物館関係資料調査(北杜市 ポール・ラッシュ記念館)	小畑茂雄
平成28年2月25日(木)	市川三郷町個人宅 所蔵資料の調査	中野賢治
平成28年3月2日(水)~4日(金)	木喰関連資料見学(宮崎県 宮崎市きよたけ歴史館、木喰五智館、西都市歴史民俗博物館)	近藤暁子
平成28年3月5日(土)	北杜市埋蔵文化財センター 土偶の科学調査	西願麻以
平成28年3月11日(金)~14日(月)	木喰関連資料調査(北海道 正隆寺)	近藤暁子
平成28年3月23日(水)	笛吹市熊野神社 科学調査	西願麻以
平成28年3月24日(木)	甲府市下曾根地区霊柩車調査	丸尾依子
平成28年3月25日(金)	法然上人絵伝 修理状況調査(墨光堂京都国立博物館文化財保存修理所)	近藤暁子

(4) 調査・研究成果の公表

①博物館主催シンポジウム・講演会における職員の発表

第Ⅱ編第5章(1)を参照

②博物館職員の調査・研究実績

■論文・調査報告など

氏名	名称	掲載誌名	学会(発行者)	発行年月日
森原明廣	創設期甲府勤番士の実像を探る —「甲府勤番日記」記載事項の検討例—	『帝京大学文化財研究所所報』第56号	帝京大学文化財研究所	平成28年2月15日
植月 学	甲府城跡より出土した動物遺体	『甲府市文化財調査報告80 甲府城跡(屋形曲輪地点)一甲府駅南口駐輪場建設(甲府市丸の内1丁目563-6他)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—』	甲府市・甲府市教育委員会 交易財団法人 山梨文化財研究所	平成27年10月27日
植月 学	「子 ネズミ」、「卯 ウサギ」	『十二支になった動物たちの考古学』	新泉社	平成27年12月1日
植月 学	由比ヶ浜中世集団墓地遺跡から出土した動物遺体	『由比ヶ浜中世集団墓地遺跡(No.372)発掘調査報告書』	株式会社 博通	平成28年1月
植月 学	ニホンオオカミ研究史の一断面	『山梨県立博物館研究紀要』第10集	山梨県立博物館	平成28年3月25日
植月 学	朝気遺跡から出土した動物遺体	『朝気遺跡』	甲府市教育委員会	平成28年3月31日
植月 学	甲府城下町遺跡(中央4丁目地点)から出土した動物遺体	『甲府市内遺跡XII』	甲府市教育委員会	平成28年3月28日
海老沼真治	甲斐源氏の軍事行動と交通路	山梨県立博物館監修・西川広平編 『甲斐源氏 武士団のネットワークと由緒』	戎光祥出版	平成27年10月15日
海老沼真治	「海野平の戦いと上州逃亡」 「信玄との出会い」「幸村と武田信繁」	『資料で読み解く真田一族』	郷土出版社	平成28年2月27日
海老沼真治	富士山周辺の交通路	『富士山「山梨県富士山総合学術調査報告書2」本文編』	山梨県富士山総合学術調査研究委員会	平成28年3月16日
海老沼真治	足軽大将山本菅助の足跡	『武田二十四将』展示図録	山梨県立博物館	平成28年3月19日
近藤暁子	富士の祭神とその本地 —浅間神と大日如来の造形について—	特別展『世界遺産登録記念 富士山—信仰と芸術—』展図録	山梨県立博物館	平成27年9月4日
近藤暁子	造仏活動と信仰に見る甲斐源氏のネットワーク —武田氏所縁3組の阿弥陀三尊像をとおして—	山梨県立博物館監修・西川広平編 『甲斐源氏 武士団のネットワークと由緒』	戎光祥出版	平成27年10月15日
近藤暁子	木喰上人の足跡を訪ねて	『山梨学研究2011』	山梨学院生涯学習センター	平成28年3月25日
近藤暁子	富士山に関わる神像と仏像(中世)	『富士山「山梨県富士山総合学術調査報告書2」本文編』	山梨県富士山総合学術調査研究委員会	平成28年3月16日
西願麻以 他	Distribution and evolution of the serine/ aspartate racemase family in invertebrates	『Amino Acids』48巻2号	国際アミノ酸学会	平成28年2月予定
西願麻以	松ノ尾遺跡出土大型赤彩壺の科学調査	『松ノ尾遺跡第15次調査報告書』	甲斐市教育委員会	平成28年3月未予定
西願麻以	松ノ尾遺跡出土土師器内の赤色物質の科学調査			
中野賢治	赤備えは武田を意識したのか	『資料で読み解く真田一族』	郷土出版社	平成28年2月
中野賢治	戦国の争乱の激化(第五節一〜三)	『松江市史』通史編第2巻 中世	松江市史編纂委員会	平成28年3月予定
中野賢治	元亀年間の西念寺	『富士山「山梨県富士山総合学術調査報告書2」本文編』	山梨県富士山総合学術調査研究委員会	平成28年3月16日
中野賢治	徳川家宣の将軍就任と演能活動 —宮城県図書館所蔵「御城御内証御能御 囃組」の分析を通じて—	『山梨県立博物館研究紀要』第10集	山梨県立博物館	平成28年3月25日
西川広平	『甲斐源氏 武士団のネットワークと由緒』 序章「甲斐源氏研究の現在」	—	戎光祥出版	平成27年10月15日
西川広平	治承・寿永の内乱と甲斐源氏	山梨県立博物館監修・西川広平編	戎光祥出版	平成27年10月15日
西川広平	安芸・若狭・甲斐武田氏の由緒形成	『甲斐源氏 武士団のネットワークと由緒』		
西川広平	再生された甲斐源氏・武田氏の由緒			
西川広平	下方斜面における巡礼路の特定 (静岡県と共同執筆)	『保全状況報告書 富士山—信仰の対象と 芸術の源泉(日本)』附属資料「富士山—信仰の 対象と芸術の源泉ヴィジョン・各種戦略」	富士山世界文化遺産協議会 (日本政府によるユネスコ 世界遺産センター提出資料)	平成27年10月15日
西川広平	富士山宝永噴火に関する資料の記録化について —山梨側の地域資料を対象に—	『山梨県立博物館研究紀要』第10集	山梨県立博物館	平成28年3月25日
小畑茂雄	明治45年3〜4月皇太子(大正天皇) 山梨行啓について(二)	『山梨県立博物館研究紀要』第10集	山梨県立博物館	平成28年3月25日
松田美沙子	大画面に描かれた武者の姿	『武田二十四将』展示図録	山梨県立博物館	平成28年3月19日
松田美沙子	錦絵作品の制作背景 —英泉・国貞作品を手がかりに—	『太田記念美術館研究紀要 浮世絵研究』第6号	太田記念美術館	平成28年3月25日
松田美沙子	二代国輝筆「富士山諸人参詣之図」に関する一考察	『山梨県立博物館研究紀要』第10集	山梨県立博物館	平成28年3月25日
丸尾依子	芸態(河口の稚児の舞)	『河口の稚児の舞報告書』	富士河口湖町教育委員会	平成28年3月14日
丸尾依子	河口の年中行事(河口の稚児の舞)			
丸尾依子	太々御神楽祭(河口の稚児の舞)			
丸尾依子	大木家資料にみる甲府商家の富士信仰と登山	『富士山「山梨県富士山総合学術調査報告書2」本文編』	山梨県富士山総合学術調査研究委員会	平成28年3月16日

■講演・シンポジウムなど

氏名	名称	シンポジウム・学会名	場所	開催年月日
森原明廣	世界文化遺産「富士山～信仰の対象と芸術の源泉」	オープンカレッジ特別講座「日本の世界遺産を学ぶ」	大東文化大学	平成27年5月26日
森原明廣	富士山信仰の歴史	オープンカレッジ講座「山岳信仰の歴史学」	大東文化大学	平成27年11月10日
植月 学	甲州の食文化	山梨県栄養士会 平成27年度 生涯教育研修会	びゅあ総合	平成27年5月30日
植月 学	山梨の歴史	大学コンソーシアム	健康科学大学	平成27年6月18日
植月 学	山梨の食文化	山梨の政策課題	山梨県立大学	平成27年6月25日
植月 学	日本における人と狼の関係史	生態人類学	早稲田大学人間科学学術院	平成27年7月2日
植月学 塩谷風季 網倉邦生	山梨県谷村城における近世の動物資源利用	日本動物考古学会第3回研究大会	山梨県立大学	平成27年7月5日
覚張隆史	歯エナメル質の炭素安定同位体比に基づく	日本文化財科学会第32回大会	神奈川県教育委員会 (神奈川県埋蔵文化財センター)	平成27年7月11日
植月学	山梨県古代・中世遺跡出土馬の食性復元			
植月 学	山梨の自然が育んだ馬産の歴史	山梨県立大学地域研究交流センター観光講座215 山梨の温故知新～自然と人の関係から探る～	山梨県立大学	平成27年10月4日
植月 学	ゴミは食生活に関する情報の宝庫	平成27年度 考古学ゼミナール 「考古学からみた「ゴミ」事情」	神奈川県教育委員会 (神奈川県埋蔵文化財センター)	平成27年10月17日
植月 学	甲州の食文化 食を通じて地域への関心を育む	平成27年度 山梨県学校給食大会	山梨県教育委員会・公益 財団法人山梨県学校給食会	平成28年1月16日
植月 学	山梨の遺跡から見た生活変遷史	山梨学Ⅱ	山梨県立大学	平成28年2月1日
海老沼真治	武田信玄の信濃攻略戦	江戸川区立松江図書館・ 小松川図書館連携行事「決戦 川中島」	松江区民プラザ 集会室	平成27年9月6日
海老沼真治	武田二十四将	山梨学講座・山梨の文化と歴史を武田信玄から学ぶ	山梨県生涯学習推進センター	平成27年10月29日
小畑茂雄	山梨の近代史と 郷土ゆかりの人物たち	観光学講座「山梨の歴史」	山梨英和大学	平成27年5月14日
小畑茂雄	山梨の歴史と山梨近代人物館	山梨県文化協会連合会 総会・研修会	山梨県生涯学習推進センター 研修室	平成27年7月21日
小畑茂雄	山梨が生んだ「地下鉄の父」 早川徳次	山梨近代人物館 教育普及事業	山梨近代人物館	平成27年8月23日
近藤暁子	善光寺如来 一その像容と信仰の広がりについて一	善光寺御開帳記念シンポジウム 善光寺信仰と武田信玄	善光寺	平成27年5月9日
近藤暁子	富士信仰にまつわる彫像について	山梨学講座	山梨県生涯学習推進センター	平成27年11月6日
近藤暁子	甲斐における慶派の造像活動	大野山福光園寺 第3回歴史シンポジウム 「吉祥天信仰～祈りとかたち～」	福光園寺	平成28年3月19日
西願麻以 他	江戸期紫ガラスの材料や溶融条件が発色に 及ぼす影響	日本ガラス工芸学会	東京藝術大学	平成27年10月24日
西願麻以 他	装飾が施された紫硝子徳利(江戸後期 ～明治)の科学調査	日本ガラス工芸学会	東京藝術大学	平成27年10月24日
西願麻以	博物館の仕事 -科学の力で文化財の秘密を探る!-	キャリア教育推進支援事業	葦崎高等学校	平成27年10月29日
西願麻以	「水銀に関する水俣条約」に伴う照明器具 生産の動向について	ミュージアム甲斐ネットワーク会議	山梨県立博物館	平成28年3月17日
中野賢治	災害から古文書を守る -紙資料の被災・水損とレスキュー-	ミュージアム甲斐ネットワーク会議	山梨県立博物館	平成27年10月1日
中野賢治	尼子氏の滅亡と「御一家再興」戦争	松江市史講座	松江市総合文化センター	平成27年11月14日
中野賢治	展示を考える	ミュージアム甲斐ネットワーク会議	山梨県立博物館	平成28年3月17日
西川広平	世界文化遺産「富士山」	県政出張講座	(株)ケイ・データエンジニア リング(富士川町)	平成27年9月5日
西川広平	富嶽三十六景と富士信仰	峡南の歴史と文化を学ぶ会	富士川町民会館	平成27年9月12日
西川広平	信玄堤と甲斐の治水 -水の国やまなしで生まれた技術をめぐる-	日本国土調査測量協会	山梨県立図書館	平成27年10月8日
西川広平	甲斐源氏 一条忠頼とその時代	峡南の歴史と文化を学ぶ会	富士川町鯉沢福祉センター	平成27年10月17日
松田美沙子	描かれた富士山～絵画でたどる富士の姿～	大学コンソーシアム山梨	山梨学院大学	平成27年6月29日
松田美沙子	風景画の歴史をたどる～日本風景の変遷～	山梨県立博物館・山梨県生涯学習推進 センター共催企画	生涯学習推進センター	平成27年9月28日
丸尾依子	蚕と人のくらし	笛吹市ローズ講座	笛吹市御坂図書館	平成27年12月18日
丸尾依子	民俗芸能解説(塩平の獅子舞、下市之瀬の獅子舞、 丹波山のささら獅子、甲州台ヶ原宿虎頭の舞)	伝統文化の祭典	コラニー文化ホール	平成28年1月31日

■県立博物館館内研究会

開催なし

③刊行物

名 称	発刊日	体 裁
『山梨県立博物館研究紀要』第10集	平成28年3月25日	A4版、58頁
『山梨県立博物館調査・研究報告12 富士御師の檀那所と御山参詣』	平成28年3月25日	A4版、48頁

(5) 富士山世界文化遺産学術調査・研究

■調査・研究の目的

富士山の世界文化遺産登録に向けた第1次学術調査研究を平成20年度から23年度にわたって実施し、『富士山総合学術調査研究報告書』を刊行した。平成24年度から県立博物館に事務局を移し、27年度にかけて第2次調査を実施した。

■富士山総合学術調査研究委員会委員

- 石田千尋（文学部会・山梨英和大学教授）
- 上杉 陽（自然環境部会・都留文科大学名誉教授）
- 菊池邦彦（歴史考古民俗部会・東京都立産業技術高等専門学校教授）
- 清雲俊元（歴史考古民俗部会・富士山世界文化遺産協議会学術委員会委員）
- 萩原三雄（歴史考古民俗部会・帝京大学文化財研究所長）
- 濱田 隆（有形文化財部会・元山梨県立美術館館長）
- 福田アジオ（歴史考古民俗部会・山梨県文化財保護審議会委員）

■県立博物館担当職員

- 植月 学（学芸員、歴史考古民俗部会考古班）
- 海老沼真治（学芸員、歴史考古民俗部会文書班）
- 近藤暁子（学芸員、有形文化財部会）
- 西川広平（学芸員、歴史考古民俗部会文書班）
- 堀内 眞（職員、事務局）
- 丸尾依子（学芸員、歴史考古民俗部会民俗班）
- 宮澤富美恵（職員、歴史考古民俗部会文書班）
- 森原明廣（学芸課長、歴史考古民俗部会考古班）

■主な活動記録

【委員会】

- ・平成27年5月29日（金）
- ・平成28年2月20日（土）

【公開発表会】

- ・平成28年2月20日（土）「富士山調査の成果とこれから」 会場：県総合教育センター

【各部会の開催】

(自然環境部会)

- ・平成27年5月19日（火） 部会会議 会場：帝京大学文化財研究所
- ・平成27年7月16日（木） 部会会議 会場：帝京大学文化財研究所
- ・平成27年9月1日（火） 部会会議 会場：帝京大学文化財研究所

(歴史考古民俗部会 [文書班])

- ・平成27年5月2日（土） 部会会議 会場：県立博物館
- ・平成27年8月1日（土） 部会会議 会場：県立博物館

(歴史考古民俗部会 [民俗班])

- ・平成27年6月27日（土） 部会会議 会場：富士河口湖町船津胎内

(有形文化財部会)

- ・平成27年8月22日（土） 部会会議 会場：県立博物館

(文学部会)

- ・平成27年7月18日（土） 部会会議 会場：山梨英和大学

第3章 資料の収集・保管・活用

(1) 資料収集の方針

①資料収集の方針

山梨県立博物館における資料収集は、博物館の基本テーマである「山梨の自然と人」に関わるものを中心とする（山梨県立博物館の資料収集及び資料・情報の活用に関する要綱）。具体的には、以下の性格を有する資料を収集の対象とする。

- ①絵画、彫刻、工芸品、書籍、典籍、古文書その他の有形の文化的所産で山梨県にとって歴史上または芸術上価値の高いもの並びに考古資料及びその他の学術上価値の高い歴史資料。
- ②衣食住、生業、信仰、年中行事等に関する風俗慣習、民俗芸能及びこれらに用いられる衣服、器具、その他の物件で県民の生活推移の理解のために欠くことのできないもの。
- ③言葉、音楽、民間伝承、工芸技術等の無形のもので山梨県の文化の理解に欠くことのできないもの。
- ④動物、植物及び地質鉱物で山梨県にとって前の項目と深い関わりのあるもの。

収集の対象とする資料のうち、その収集が困難なものについては、当該資料に係る模型、模造、模写、複製若しくは当該資料に関する図書、文献、調査資料その他必要な資料を収集することとしている。

収集にあたっては、上記要綱のほか「山梨県立博物館の資料収集に関する要領」に従って収集を進めている。

②資料・情報委員会

資料の収集の適否等について審議し、収集した資料、情報の活用について協議する「資料・情報委員会」を設置、開催している。

委員会は、7名の委員により構成されており、歴史、考古、民俗、美術工芸、情報工学等に関する高度な専門的知見を有する者の中から、山梨県立博物館長が選任している。

■資料・情報委員会委員名簿（五十音順、敬称略）

資料・情報委員会委員

氏名	職名	専門分野
飯田 文彌	山梨郷土研究会常任理事	近世史・郷土史
小島 孝夫	成城大学教授	民俗学
笹本 正治	信州大学副学長	中世史
鈴木 卓治	国立歴史民俗博物館准教授	情報工学
鈴木麻里子	甲府市文化財審議委員	美術史
谷口 一夫	山梨県考古学協会会長	考古学
濱田 隆	山梨県立美術館元館長	美術史

■平成27年度の資料情報委員会開催状況

- ・平成27年6月26日（金）第20回委員会を開催
5件の収集候補資料を審議した。
- ・平成28年2月3日（水）第21回委員会を開催
6件の収集候補資料を審議した。

(2) 資料の収集

平成27年度に収集した資料は、次表のとおりである。

■購入

	資料名	特徴	制作期	員数
1	だいほんにやほらみたまきょう 大般若波羅蜜多經 卷第五百二十一	かつて武田八幡神社(韭崎市)が所蔵し、現在は法善寺(南アルプス市)に伝わる、大般若経全600卷の1卷。鎌倉時代中期に甲斐源氏的一条信長が発願して書写された。	鎌倉時代	1卷
2	にちけんしょうにんごほんぞん 日乾上人御本尊	日乾は身延山21世。慶長8年に久遠寺の住職となり、関東における受布施派の中心として久遠寺を再編した。法華宗では開祖日蓮以来、文字によって信仰世界を表した「御本尊(曼荼羅本尊)」を重視しており、日乾のものも各地の寺院で寺宝として残されている。	寛永2年(1625)	1幅
3	にちおんしょうにんごほんぞん 日遠上人御本尊	日遠は身延山22世。兄弟子の日乾とともに近世久遠寺および法華教団の基礎を固めたため、師の日重とあわせて宗門中興の重乾遠三師と称される。23世日祝、24世日要、26世日暹、28世日燮らはすべて日遠の弟子であった。	寛永14年(1637)	1幅
4	ふじきたぐちだんじよとぞん 富士北口男女登山 (落合芳幾 筆)	浮世絵師、落合芳幾の手による大判錦絵3枚続の作品で、これから登山を楽しむであろう老若男女の姿が描き出されている。富士山へ女性が登山することが許されたのは万延元年(1860)のことであるが、本作は前年の安政6年(1859)の刊行であることから、次の年に見られるであろう光景を想像して描いたものであろう。	安政6年(1859)5月	3枚続 1点
5	おらんぶんぜんぜんべん 和蘭文典前編(村松岳佑手沢本) (箕作阮甫 著)	オランダ語の文法書。村松岳佑(1822-67)は市川大門(現市川三郷町)の医家に生まれ、オランダ商館付のドイツ人医師モーニケ(モーニッケ,1814-87)に医学を学んだ。モーニケは1849年に日本で初めて種痘に成功した人物として医学史上に名を残しており、岳佑も種痘医として活躍した。本資料は書き込みや刊行年代などから、岳佑がオランダ語を学ぶにあたって使用した本であり、岳佑がモーニケに弟子入りする頃に入手・使用したものと推定される。H28シンボル展「甲州医人伝」での展示に好適。	天保13年(1842)	1冊
6	おおくほこうさいじひつらんぼんしょう 大久保黄斎自筆蘭文書 (大久保黄斎 筆)	大久保黄斎(道理,1812-95)は古市場村(現南アルプス市)の蘭方医で、江戸の三大蘭方医として著名な坪井信道(1795-1848)の弟子。嘉永3(1851)年に甲府で初めて牛痘による種痘を行った。H28シンボル展「甲州医人伝」での展示に好適な資料。	江戸時代	1冊

■寄贈

	資料名	特徴	制作期	員数
1	くしまきみとししゅうしゅうりょう 栗島公喜氏収集資料	埼玉県小川町の郷土史家、栗嶋公喜氏が昭和40年代頃から収集してきた狼関連資料。御札類や絵画、陣羽織などからなる。	江戸時代～明治時代	29点
2	ほりけしりょう 堀家資料	笛吹市御坂町の堀家に伝来する資料。武田信玄からの感状と、その際に与えられたと伝わる刀がある。	江戸時代	2点
3	しおざわ 塩澤 コレクション こしゅうざお (甲州竿ほか釣具一式)	大正時代から昭和50年代頃にかけて甲府で溪流釣り用の竹竿を作っていた初代と二代目喜ら久が制作した釣り竿のコレクション。江戸の和竿にルーツがあるが、初代が甲州の川に合わせて製法、強度などに独自の工夫を加えたもので、甲州竿と呼ばれる。収集した塩澤氏が昭和30年代に県内でヤマメ、アユ、ハヤ釣りなどに実際に使っていたもの。	昭和30年代頃	約50点
4	おむろせんげんじんじやぶさめようぐ 小室浅間神社流鏑馬用具	下吉田の小室浅間神社に伝わる流鏑馬神事で使われた道具類。的、矢、鞭、馬のくじからなる。	2014年	10点

■寄託

	資料名	特徴	制作期	員数
1	いいだともおけしりょう 飯田知雄家資料	国府村(笛吹市)で薬種問屋、釣具屋、その後医者も営んでいた飯田家に伝わる文書群。医療や民間療法に関わる記録の他、農法についても詳しい。	近世～近代	約2,000点

(3) 資料の整理・目録(データ)化

平成27年度は、新規収集した資料の整理に加え、既存資料のデータ修正426点および未整理および新規収集資料のデータ作成224点を行った。また、収集資料を目録(データ)化する作業を進め、登録データの公開作業も随時進めている。

■資料の整理

新規に収集した未整理の資料等について、目録作成、保管容器への収納、ナンバリングを行う作業である。平成27年度は、引き続き職員による作業を進めているほか、9～11月、1～3月の2回整理作業員を雇用し、既存資料・新規収集資料の整理を実施した。

■収蔵資料のマイクロ化・デジタル化

県立図書館から移管した資料のうち、利用頻度が高い「甲州文庫」については、利便性を高めるため、平成16～17年度事業としてマイクロフィルムによる撮影、デジタル画像の作成を行い、全体の約9割が完了した。残りの資料については、さらに18～19年度の2か年でマイクロ化・デジタル化を実施した。本事業によって、甲州文庫資料のうち、古文書・図書・新聞雑誌類については、ほぼすべての資料のデジタル画像を公開した。

撮影点数：23,019点（510,518コマ）

■図書資料のデータ登録

収集した図書・雑誌類のデータ登録を、職員により随時行っている。平成28年3月31日現在の登録件数は44,267点となっている。

（4）資料の修復・管理

①資料の修復

■修復資料

1. 「法然上人絵伝」、絹本着色、鎌倉時代（14世紀）、2幅 国指定重要文化財
154.1 × 110.4cm

■資料の重要性

・法然（浄土宗開祖）の生涯を描いた大画面の掛軸二幅で、かつては甲州市勝沼町等々力の万福寺に伝来していたもの。制作年代は鎌倉時代末期（14世紀）であり、掛幅形式の法然上人絵伝としては、国内最古級のもので、緻密な描写と発色のよい顔料が濃密な画面を作り上げており、中世の景観や風俗が丁寧に描かれている点も価値が高い。

■修復者

・株式会社 岡墨光堂 京都府京都市中京区富小路通三条上ル
（修復作業所：京都国立博物館文化財保存修理所〈京都市東山区茶屋町527〉）

■修復の内容

- ・修復前の状況は、本紙全体に汚れの付着、絵具の剥離や剥落が見られた。また、本紙料絹の欠失が全体に見られ裏彩色が露出し、本紙中央の欠失面積が非常に大きいため本紙が断片化した状態となっている。
- ・本紙全体に横折れが発生しており、折れ山の部分には亀裂が進行しており、下軸の歪みが原因と思われる。縦方向の折れ皺も多数見られ、表具金具の影響から、表装裏面に擦れを起こしている状態であった。
- ・修理初年度である本年度は、写真撮影等本紙の状態を調査し、絵具層の剥落止めを行った上で掛軸装を解体、本紙旧裏打紙を肌裏紙を残して除去しつつ、浄化水にて本紙の汚れを落とした。
- ・さらに損傷図面を作成し、本紙欠失箇所を表から電子線劣化絹にて補絹を施し、布海苔を用いて養生紙にて表打ちを行った上で旧肌裏紙及び、旧補修絹を除去する作業を進めた。



作品裏面から旧肌裏紙を除去している様子（第2幅）。

②資料の保存環境管理

博物館では、資料を後世に伝えるために高いレベルで環境管理を行っている。これは、資料の物理的、化学的、生物的な劣化を防ぐためである。以下に、管理項目とその内容について示す。

■温湿度管理

県立博物館では資料の保存のため、精度の高い温湿度管理を行っている。収蔵庫は24時間空調を行い、

展示室については深夜電力による蓄熱時間を除く間（8時～22時）、空調を行っている。空調は中央監視システムで自動制御し、年間を通して温湿度をほとんど一定に保っている。温湿度の計測や記録には、毛髪式自記記録計やデータロガーも使用している。

展示ケースのうち、エアタイトケースには調湿剤を使用して湿度のコントロールを行っている。

■空気質管理

空気質については、収蔵庫や展示室の空調設備にプレフィルター、中性能フィルター、化学吸着フィルターを設置し、外気及び循環気に含まれる粉塵や有害ガスの除去を行っている。

■照明

館内の照明のうち収蔵庫及び展示室内の照明には紫外線が極力発生しないものを用いている。特に紫外線が多く発生する蛍光灯は、美術・博物館用と呼ばれる紫外線吸収膜付の高演色形の蛍光灯を使用している。また、他の照明では各種ハロゲンランプを用いているほか、一部にLEDを導入している。

また、照度は資料の材質や状態に合わせて管理を行っており、浮世絵や染織品のような非常に脆弱なものは80ルクス以下、土器や金属器等は150ルクス程度の照明を行っている。

■生物被害管理

IPM（Integrated Pest Management 総合的有害生物管理）に則った生物被害管理を行っている。日常的に目視による監視や清掃を行っているほか、虫トラップ調査を実施し、館内に害虫が発生していないかのモニタリングを行っている。館に搬入される資料は、必要に応じて二酸化炭素による燻蒸やアルコール消毒などを行い、害虫の侵入やカビの発生を未然に防いでいる。

（5）資料の活用

山梨県立博物館では、収集した貴重な資料を後世に残し、将来を見通した利用を保障することを資料取り扱いの基本と考えている。保存に十分配慮した上で、資料を公開し、県民、博物館利用者の学習や調査研究等に活用するために、資料、情報の提供を行っている。

利用者の利便性を図るため、平成20年6月1日より開始した即日閲覧は、利用者に好評であり、平成27年度は53件163点を提供した。また、従来からの事前申請による原資料閲覧が、古文書等を中心として23件873点あった。

撮影は展示図録への掲載、調査研究などの目的で24件1,883点あり、書籍等への掲載、テレビ番組での使用などの資料写真の貸出は、172件525点となっている。

また、県内外の博物館等での展示利用のために、9件83点の館外貸出を行った。

■平成27年度歴史資料等利用状況

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
歴史資料等即日閲覧	件数	2件	4件	2件	2件	6件	2件	3件	9件	2件	3件	9件	9件	53件
	点数	6点	14点	5点	2点	14点	9点	6点	24点	3点	12点	52点	16点	163点
歴史資料等閲覧	件数	2件	3件	1件	5件	1件	3件	2件	2件	1件	1件	0件	2件	23件
	点数	2点	43点	10点	154点	637点	9点	2点	2点	1点	10点	0点	3点	873点
歴史資料等撮影	件数	2件	3件	1件	4件	1件	2件	2件	2件	1件	1件	0件	5件	24件
	点数	2点	43点	10点	149点	637点	8点	2点	2点	1点	2点	0点	1027点	1883点
未登録歴史資料	照会	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	複写	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点
歴史資料等使用 (フィルム使用等)	件数	15件	9件	13件	18件	18件	8件	12件	12件	6件	20件	22件	19件	172件
	点数	116点	60点	22点	31点	23点	9点	24点	17点	9点	28点	36点	150点	525点
歴史資料等貸出	件数	1件	1件	1件	1件	0件	1件	2件	1件	0件	0件	0件	1件	9件
	点数	1点	6点	34点	1点	0点	1点	19点	20点	0点	0点	0点	1点	83点

第4章 展 示

(1) 常設展示

平成27年度の常設展示は、年間5回の展示替えを行ない、資料の保存に対応するとともに、展示期間ごとにテーマを設定して、来館者に親しみやすい展示内容とすることを図った。また開館10周年にあわせて、これまでの展示の中で特に注目を集めた資料を紹介するテーマを設定し、10年の歩みを振り返るとともに、指定文化財など貴重な資料を多数展示することで、来館者の循環を促すよう図った。

■展示期間とテーマ

- ①平成27年2月25日（水）から平成27年4月20日（月）まで
展示テーマ「山梨の春は、桃と桜と信玄公」
- ②平成27年4月22日（水）から平成27年6月22日（月）まで
展示テーマ「資料で巡る山梨の旅」
- ③平成27年6月24日（水）から平成27年9月7日（月）まで
展示テーマ「10周年 学芸員オススメの一品」
- ④平成27年9月12日（土）から平成27年12月21日（月）まで
展示テーマ「富士は日本一の山 + 10周年 学芸員オススメの一品（第2弾）」
- ⑤平成27年12月23日（水）から平成28年2月22日（月）まで
展示テーマ「お正月は、博物館で初詣」
- ⑥平成28年2月24日（水）から平成27年4月25日（月）まで
展示テーマ「山梨の春は、桃と桜と信玄公！」

- ・時代については、複製品は原資料の製作年代を記した。
- ・所蔵者については、複製品は（ ）内に原資料所蔵者を記した。
- ・指定については、◎は国宝、○は国指定重要文化財、○は県指定文化財、◇は市町村指定文化財とした。
- ・絵画・古文書等、脆弱な資料の展示期間が複数にわたる場合は、その都度頁替え、巻替などを行なっている。

【出品資料一覧】

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
自然の森の中で				
重郎原遺跡人体文土器	縄文中期	山梨県立考古博物館		①②③④
桂野遺跡渦巻文土器	縄文中期	笛吹市教育委員会	○	⑤⑥
原町田遺跡出土縄文土器	縄文中期	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥
縄文土器片、石器	縄文中期	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥
甲斐の誕生				
甲斐国分寺瓦(鬼瓦)	奈良時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥
甲斐国分寺瓦(軒丸瓦)	奈良時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥
甲斐国分寺出土墨書土器	奈良時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥
刻書土器「甲斐国山梨郡大野郷」(複製)	奈良時代	山梨県立博物館(原資料 佐久市教育委員会)		①②③④⑤⑥
刻書土器「甲斐国山梨郡表門」	奈良時代	甲府市教育委員会	○	①②③④⑤⑥
寺本廃寺 瓦	白鳳時代	笛吹市教育委員会	○	①②③④⑤⑥
天狗沢瓦窯跡 瓦	白鳳時代	甲斐市教育委員会	○	①②③④⑤⑥
平城京出土木簡 馬司食糧伝票木簡①(複製)	奈良時代	山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所)		①②③④⑤⑥
平城京出土木簡 馬司食糧伝票木簡②(複製)	奈良時代	山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所)		①②③④⑤⑥
平城京出土木簡 馬司食糧伝票木簡③(複製)	奈良時代	山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所)		①②③④⑤⑥
平城京出土木簡 習書・戯画木簡(複製)	奈良時代	山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所)		①②③④⑤⑥
平城京出土木簡 山梨郡貢進物付札木簡①(複製)	天平宝字6年(762)	山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所)	◎	①②③④⑤⑥
平城京出土木簡 山梨郡貢進物付札木簡②(複製)	天平宝字6年(762)	山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所)	◎	①②③④⑤⑥
平城京出土木簡 山梨郡養物銭荷札木簡(複製)	天平宝字8年(764)	山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所)		①②③④⑤⑥
甲斐国印(推定復元)	奈良時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
正倉院文書「甲斐国司解」(複製)	天平宝字5年(761)	山梨県立博物館(原資料 正倉院宝物)		①②③④⑤⑥
東畑遺跡金銅仏	奈良時代	甲府市教育委員会	○	①②③④⑤⑥
甲斐の黒駒				
大塚古墳出土横柄板鍔留短甲(複製)	古墳時代	山梨県立博物館(原資料 市川三郷町教育委員会)	○	①②③④⑤⑥
狐原遺跡 焼印	平安時代	上野原市教育委員会		①②③④⑤⑥
御崎古墳出土馬具	古墳時代	笛吹市教育委員会	○	①②③④⑤⑥
塩部遺跡 馬上顎歯	古墳時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥
伝豊富村 衝角付冑(複製)	古墳時代	山梨県立博物館(原資料 東京国立博物館)		①②③④⑤⑥
伝豊富村 眉庇付冑(複製)	古墳時代	山梨県立博物館(原資料 東京国立博物館)		①②③④⑤⑥
平林2号墳 馬具	古墳時代	山梨県立考古博物館	○	①②③④
平林2号墳太刀、鉄鍔一括	古墳時代	山梨県立考古博物館	○	①②③④
天神のこし古墳出土大刀、鉄鍔	古墳時代	笛吹市教育委員会		⑤⑥
寺の前古墳出土鉄鍔	古墳時代	笛吹市教育委員会		⑤⑥
天神のこし古墳出土金環	古墳時代	笛吹市教育委員会		⑤⑥
狐塚古墳出土馬具	古墳時代	笛吹市教育委員会		⑤⑥
寺の前3号墳出土柄頭	古墳時代	笛吹市教育委員会		⑤⑥
寺の前古墳出土馬具	古墳時代	笛吹市教育委員会		⑤⑥
平城京出土木簡 通行証明木簡(過所木簡)(複製)	奈良時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
正倉院文書「駿河国正税帳」(複製)	天平10年(738)	山梨県立博物館(原資料 正倉院宝物)		①②③④⑤⑥
水に取り組む				
雨乞いの仏像		清水寺		①②③④⑤⑥
石尊祭の藁束	平成14年(2002)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
測量器(複製)	江戸時代	山梨県立博物館(原資料 個人)		①②③④⑤⑥
宮沢中村遺跡網代護岸	鎌倉時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥
御幸祭川除の石	平成15年(2003)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
武田家朱印状(桑原家資料)(複製)	天正3年(1575)	個人	○	①②③④⑤⑥
釜無川氾濫の図(複製)		長遠寺		①②③④⑤⑥
小物成山へ水神勧請願一札(甲州文庫)	文化4年(1807)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
木製人形(甲府市塩部遺跡出土)	平安時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥
新版出水くどき(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
信玄堤絵図(保坂家文書)	文政7年(1824)	個人	◇	①
武田家朱印状(保坂家文書)	天正3年(1575)	個人	○	①
在方御普請仕形大概(甲州文庫)	宝暦4年(1754)	山梨県立博物館		①
甲斐国絵図(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		②
御手伝御普請・御入用御普請御役人付(有泉家文書)	江戸時代	山梨県立博物館		②
西八幡堤絵図(新海家文書)	江戸時代	山梨県立博物館		③
穴山信君判物(三井家資料)	天正8年(1574)	個人	◇	③
普請目論見鑑	江戸時代	山梨県立博物館		③
富士山麓絵図(甲州文庫)	明治15年(1882)	山梨県立博物館		④
富士講経巻(村上派4世藤原月旺御見抜書写本)	天和3年(1683)	山梨県立博物館		④
駿遠州川々御普請絵図(平岡家文書)	文化12年(1815)	山梨県立博物館		⑤
在方御普請仕形大概(甲州文庫)	宝暦4年(1754)	山梨県立博物館		⑤⑥
武田家朱印状(保坂家文書)	永禄3年(1560)	個人		⑥
信玄堤絵図(保坂家文書)	文政7年(1824)	個人		⑥
戦国からのメッセージ				
理慶尼の記(甲州文庫)	天保8年(1837)	山梨県立博物館		①
織田信長禁制(三井家資料)	天正10年(1582)	個人		①
武田家過所(桑原家文書)	永禄3年(1560)	個人	○	②
甲陽軍鑑(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		②
織田信長禁制(今沢家文書)	天正10年(1582)	山梨県立博物館		③
甲陽軍鑑(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		③
織田信長禁制(本庄家文書)	天正10年(1582)	山梨県立博物館		④
直江兼統書状(市河家文書)	室町時代(16世紀)	山梨県立博物館	○	⑤
南松院殿十七年忌香語(南松院資料)	天正10年(1582)	南松院	○	⑥
勝山古記	江戸時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
筒粥神事の道具	平成17年(2005)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
平成27年度筒粥占標(小室浅間神社)	平成27年(2015)	山梨県立博物館		①②③④⑤
平成28年度筒粥占標(小室浅間神社)	平成28年(2016)	山梨県立博物館		⑥
山に生きる				
武田家朱印状(田辺家資料)	永禄3年(1560)	山梨県立博物館	○	①
甲斐国金銀山石炭山々巡見日記(甲州文庫)	明治2年(1869)	山梨県立博物館		②
河内領佐野山小屋普請入札の注文(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		①

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
木品筏下げにつき十嶋番所通行願書(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		②
江戸城西之丸御用栓板(佐野家資料)	天保9年(1838)	山梨県立博物館		②③
市川大門村御運上紙入札に付触書(甲州文庫)	延宝7年(1679)	山梨県立博物館		①
楮・三椏他国出し差留につき東西河内領村々済口証文(甲州文庫)	文化11年(1814)	山梨県立博物館		②③
甲斐叢記 前輯四	嘉永4年(1851)	山梨県立博物館		①③④⑤⑥
並山日記 巻五(若尾資料)	大正5年(1916)写	山梨県立博物館		②
佐渡金銀山絵巻	江戸時代	山梨県立博物館		③
穴山信友判物(佐野家資料)	弘治3年(1557)	個人		③
徳川家康朱印状(田辺家資料)	文禄2年(1593)	山梨県立博物館	○	④
富士山裾野入会場伐木差当一札(甲州文庫)	慶応2年(1866)	山梨県立博物館		④
富士植物実物絵ハガキ	近代	山梨県立博物館		④
澁留日限出入に付吟味下げ願書(甲州文庫)	文化6年(1809)	山梨県立博物館		④⑤⑥
田辺伊織先祖書(田辺家資料)	寛政3年(1791)	山梨県立博物館	○	⑤⑥
材木伐出図巻	江戸後期	山梨県立博物館		⑤⑥
林業の道具を象った小正月のツクリモノ	現代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
甲州金(一分金 甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
大鋸	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
杵・焼き鋸	明治以降	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
焼畑衣装(再現品)	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
里にくらす				
煙草包装紙	明治22年(1889)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
日本歳時記	貞享5年(1688)	個人		①
大和耕作絵抄	大正4年(1915) 原本は元禄年間	個人		①②
カナカンブツ(おかぶと)(上野晴朗氏収集資料)	明治時代	山梨県立博物館		①②③④
甲府買物独案内(甲州文庫)	嘉永7年(1854)	山梨県立博物館		①
甲府買物独案内(甲州文庫)	明治5年(1872)	山梨県立博物館		①
流し籠(上野晴朗氏収集資料)	現代	山梨県立博物館		①⑥
立籠(上野晴朗氏収集資料)	不明	山梨県立博物館		①⑥
押絵籠(山梨県教育委員会収集資料)	明治時代～昭和時代	山梨県立博物館		①⑥
キの神神札	現代	山梨県立博物館		①③④⑥
峡中紀行(甲州文庫)	明治30年(1897) 原本は宝永3年(1706)	山梨県立博物館		①⑥
鎮目村山梨岡神社キ神由来記(甲州文庫)	慶応2年(1866)	山梨県立博物館		①③⑥
裏見寒話 巻五(甲州文庫)	宝暦2年(1752)	山梨県立博物館		②③
初節句祝儀(市川家文書)	明治33年(1901)	山梨県立博物館		②
籠問屋差縫一件訴状并内済証文(甲州文庫)	嘉永5年(1852)	山梨県立博物館		②
端布(大木家資料)	昭和時代初期か	山梨県立博物館		②
『甲州道中記』写本(若尾資料)	大正4年(1915)	山梨県立博物館		②④
武者幟(部分)	大正4年(1915)	山梨県立博物館		②
祓いの人形(上野晴朗氏収集資料)	現代	山梨県立博物館		③
雷除けの守	現代	山梨県立博物館		③
除蝗録 大蔵永常筆(長谷川家文書)	文政9年(1826)	山梨県立博物館		③
『風俗画報』より甲州中牧村盆踊(甲州文庫)	明治23年(1890)	山梨県立博物館		③
疫病退散に付差紙(甲州文庫)	安政5年(1858)	山梨県立博物館		③
貞享二年甲州中郡筋西油御村検地水帳	貞享2年(1685)	山梨県立博物館		④
四方津村四ヶ村組合雨乞に付諸入用控(甲州文庫)	天保10年(1839)	山梨県立博物館		④
富士山頂雷除守 他	江戸時代～明治時代	山梨県立博物館		④
出産見舞の控(大木家資料)	明治28年(1895)	山梨県立博物館		④
身延参詣甲州道中膝栗毛(甲州文庫)	安政4年(1857)	山梨県立博物館		④
ヒブセ(おやなぎ)	平成17年(2005)	山梨県立博物館		⑤
『道祖神祭礼再開願』(武藤家文書)	天保11年(1840)	山梨県立博物館		⑤
『風俗画報』(頼生文庫)	明治24年(1891)	山梨県立博物館		⑤
ハイボコサン	平成17年(2005)	山梨県立博物館		⑤
韓国扶餘出土 陽物形木筒(複製)	538年～576年	山梨県立博物館(原資料 韓国国立扶餘博物館)		⑤
奈良田の小正月のツクリモノ	昭和	山梨県立博物館		⑤
山の神の弓矢	現代	山梨県立博物館		⑤
おかぶと	平成17年(2005)	山梨県立博物館		⑥
煙草庖丁	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
煙草箱	明治時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
千野村絵図(複製)	江戸(19世紀)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
軍馬帽	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
馬ブラシ		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
馬ブラシ		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
草鞋		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
草鞋		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
馬草鞋		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
城下町の賑わい				
稲荷曲輪出土瓦	江戸時代(17世紀)	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥
甲府城跡出土鯉瓦(復元品)	江戸時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥
高札	明治時代	山梨県立博物館	○	①②③④⑤⑥
甲府上水木樋		甲府市水道資料館	○	①②③④⑤⑥
輪宝	江戸時代(17世紀)	山梨県立考古博物館	○	①②③④⑤⑥
人質曲輪出土桐文様瓦	室町時代(16世紀)	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥
本丸出土花菱紋瓦	江戸時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥
簀(広瀬家資料)		個人		①②③④⑤⑥
武田晴信信玄像模本(甲州文庫)	明治5年(1872)	山梨県立博物館		①
差上申一札之事(万福寺・恵林寺内済につき)(甲州文庫)	明和7年(1770)	山梨県立博物館		①⑥
信玄公二百五十年遠忌口上(甲州文庫)	文化15年(1818)	山梨県立博物館		①⑥
信玄公三百年遠忌化縁簿(甲州文庫)	明治4年(1871)	山梨県立博物館		①⑥
武田信玄墓碑開石垣取建之儀伺書(太田家文書)	天保9年(1838)	山梨県立博物館		①
機山公御廟玉垣略図(甲州文庫)	天保9年(1838)頃	山梨県立博物館		①
為取替議定書之事(岩窪村信玄廟所維持経費負担などにつき)(竜王村文書)	天保11年(1840)	山梨県立博物館		①
岩窪御廟所議定為取替証文(甲州文庫)	天保13年(1842)	山梨県立博物館		①
甲陽武祖信玄公流武翼覚書集(甲州文庫)	嘉永6年(1853)	山梨県立博物館		①
絵本信玄一代記(甲州文庫)	寛政2年(1790)	山梨県立博物館		①⑥
景憲雑談記(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		①
甲州身延山図(甲州文庫)	弘化4年(1847)以降	山梨県立博物館		②
山梨県下甲斐国巨摩郡身延山從七面山一覽之真図(甲州文庫)	明治14年(1881)	山梨県立博物館		②
伊勢參宮生レ年ニより善悪之事(手塚家文書)	文化5年(1808)	山梨県立博物館		②
伊勢參宮道中日記(関本家文書)	文政7年(1824)	山梨県立博物館		②
道中安全・万事心付日記帳(関本家文書)	天保13年(1842)	山梨県立博物館		②
身延行記	江戸時代	山梨県立博物館		②
身延山図絵(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		②
長命者一行身延參詣につき覚(篠原家文書)	安政2年(1855)	山梨県立博物館		②
以書付奉願上候(路次病死につき仮埋葬願い)(甲州文庫)	寛政11年(1799)	山梨県立博物館		②
信濃国善光寺略絵図(市瀬家文書)	明治時代	山梨県立博物館		②
道中案内(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		②
浅野幸長(長慶)書状	文禄5年(1596)	山梨県立博物館		③
加藤光政黒印状(今沢家文書)	天正19年(1591)	山梨県立博物館		③
徳川忠長奉行人連署書状(今沢家文書)	寛永8年(1631)か	山梨県立博物館		③
江戸幕府奉行人連署書状(今沢家文書)	慶長15年(1610)	山梨県立博物館		③
江戸幕府寺社奉行連署書状(今沢家文書)	17世紀中ごろ	山梨県立博物館		③
光格天皇宣旨(今沢家文書)	寛政6年(1794)	山梨県立博物館		③
秋元喬朝(喬知)書状(甲州文庫)	宝永4年(1707)	山梨県立博物館		③
伊奈家次(忠次)書状(檜峰神社武藤家文書)	天正17年(1589)	山梨県立博物館		③
徳川綱重書状(甲州文庫)	17世紀後半	山梨県立博物館		③
甲府様御人衆中分限帳(甲州文庫)	元禄8年(1695)	山梨県立博物館		③
滑稽富士詣 九(甲州文庫)	万延元年(1860)	山梨県立博物館		④
観世流謡本《富士太鼓》(甲州文庫)	貞享4年(1687)	山梨県立博物館		④
観世流謡本《小袖曾我》(長谷川家文書)	大正6年(1917)	山梨県立博物館		④
観世流謡本《夜討曾我》(長谷川家文書)	明治41年(1908)	山梨県立博物館		④
甲駿豆相採葉記并勢州採葉志(甲州文庫)	文久2年(1862)	山梨県立博物館		④
富士日記(甲州文庫)	文政6年(1823)	山梨県立博物館		④
富士之人穴之双紙(頼生文庫)	文化7年(1810)	山梨県立博物館		④
角行藤仏クウ記(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		④
食行尊師不尽道歌三十六首解(甲州文庫)	明治3年(1870)	山梨県立博物館		④
参行六王クウ御伝書(甲州文庫)	万延2年(1861)	山梨県立博物館		④
甲府八日町正月初売之景 原画(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑤
甲府買物独案内(甲州文庫)	嘉永7年(1854)	山梨県立博物館		⑤
観世流謡本《高砂》(長谷川家文書)	大正5年(1916)	山梨県立博物館		⑤
観世流謡本《東北》(長谷川家文書)	大正5年(1916)	山梨県立博物館		⑤
年賀状(篠原家文書)	江戸時代	山梨県立博物館		⑤
年賀状(篠原家文書)	江戸時代	山梨県立博物館		⑤

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
年賀状(三枝家文書)	江戸前期	山梨県立博物館		⑤
年賀状(三枝家文書)	江戸前期	山梨県立博物館		⑤
年賀状、付けたり代官廃止他につき(檜峰神社武藤家文書)	慶応4年(1868)	山梨県立博物館		⑤
正月年礼之儀に付御達(篠原家文書)	明治41年(1908)	山梨県立博物館		⑤
初売出し案内はがき(大木家文書)	大正元年(1912)	山梨県立博物館		⑤
年始之祝詞二付書状(三枝家資料)	明治初期	山梨県立博物館		⑤
武田晴信信玄像模本(甲州文庫)	明治5年(1872)	山梨県立博物館		⑥
差出シ申一札之事(山宮祭礼での暴力事件につき訟状、古屋家文書)	明和3年(1766)	山梨県立博物館		⑥
差上申訖一札之事(酒酔い不埒の儀につき訟状、甲州文庫)	嘉永7年(1854)	山梨県立博物館		⑥
差出申一札之事(酒酔いのうえ悪口乱妨につき訟状、渡邊家文書)	文久元年(1861)	山梨県立博物館		⑥
武田信玄公以来甲斐国御領主代々鑑(檜峰神社武藤家文書)	安永2年(1774)	山梨県立博物館		⑥
甲陽武祖信玄公流武翼覚書集(甲州文庫)	嘉永6年(1853)	山梨県立博物館		⑥
変貌する景観				
絹糸(繭糸検査事務所資料)	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑥
山繭の糸(繭糸検査事務所資料)	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑥
生糸(鶴田家資料)	昭和	山梨県立博物館		⑤
甲府勸業試験場出土ワイン瓶	明治	山梨県立考古博物館		①②
福寺遺跡出土ワイン瓶	現代	山梨県立博物館		③④⑤⑥
甲斐名所寿古六(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		①
甲斐四郡村名尽(甲州文庫)	文久2年(1862)	山梨県立博物館		①
温泉取調書(若尾資料)	大正6年(1917)	山梨県立博物館		①②③④
秋紅葉の富士五湖へ(甲州文庫)	大正～昭和	山梨県立博物館		①④
富士裾野めぐり 付富士川下り甲州御岳(甲州文庫)	大正14年(1925)	山梨県立博物館		①
富士山麓景勝開発計画書(甲州文庫)	大正～昭和	山梨県立博物館		①④
生糸掛紙(甲州文庫)	明治時代	山梨県立博物館		①②③④⑤
生糸包紙(甲州文庫)	明治時代	山梨県立博物館		①②③④⑤
甲州生糸商標(甲州文庫)	明治時代	山梨県立博物館		①②③④⑤
「並山日記 三」(甲州文庫)	嘉永3年(1850)	山梨県立博物館		②⑥
西山梨郡湯村鷺の湯谷の湯馬の湯沿革及現在の状況(廣瀬家資料)	明治時代	山梨県立博物館		②
中央東線鉄道線路概況(甲州文庫)	明治36年(1903)	山梨県立博物館		②③
甲山峡水(甲州文庫)	明治39年(1906)	山梨県立博物館		②③④⑥
旅行の友 創刊号(甲州文庫)	昭和6年(1931)	山梨県立博物館		②
写真絵はがき類 温泉(甲州文庫)	明治時代以降	山梨県立博物館		③④
海州滝温泉絵図と開業広告(甲州文庫)	明治17年(1884)	山梨県立博物館		③④
袖珍山梨案内誌(甲州文庫)	明治23年(1890)	山梨県立博物館		③
甲斐名所寿古六(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑤
甲斐四郡村名尽(甲州文庫)	文久2年(1862)	山梨県立博物館		⑤
富士風穴略説(甲州文庫)	明治時代	山梨県立博物館		⑤
養蚕日誌(鈴木家文書)	明治時代	山梨県立博物館		⑤
養蚕多忙お見舞他書簡(関本家文書)	昭和	山梨県立博物館		⑤
甲斐名所寿古六(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑥
信仰の足跡				
役行者像(複製)	平安～鎌倉(12世紀)	山梨県立博物館(原資料 円楽寺)	○	①②③⑤⑥
甲斐勝沼柏尾経塚出土経筒(複製)	康和5年(1103)	山梨県立博物館(原資料 東京国立博物館)	◎	①②③④⑤⑥
金峰山出土品(釘、古銭、鏡、薙鎌)	平安～明治	甲府市教育委員会		①②③④⑤⑥
地藏菩薩立像	乾元2年(1303)	個人		①②③(～7/29)⑥
富士山北口全図 鎮火大祭	明治30年(1897)	山梨県立博物館		③(7/30～)
富士山五合五勺経ヶ岳出土経巻(複製)	平安時代	山梨県立博物館(原資料 個人)		①②③(～7/15)⑤⑥
富士山百景狂歌集(甲州文庫)	万延元年(1860)	山梨県立博物館		③(7/16～)④
愛染明王坐像(複製)	平安時代(12世紀)	山梨県立博物館(原資料 放光寺)	◎	①②③④⑤⑥
韋駄天立像	南北朝時代	円光院		①③④⑤
甲斐国金櫻神社御嶽山晩春之図(甲州文庫)①	江戸時代	山梨県立博物館		①⑥
甲斐国金櫻神社御嶽山晩春之図(甲州文庫)②	江戸時代	山梨県立博物館		②
聖観音菩薩立像	鎌倉時代	山梨県立博物館		②⑥
蔵王権現立像	平安時代	山梨県立博物館	○	③④⑤
富士図 英一蝶筆	江戸時代(18世紀)	山梨県立博物館		④
七福神図 木食白道作	江戸時代(18-19世紀)	山梨県立博物館		⑤
甲斐を駆ける武士たち				
関東下知状(複製)	応長元年(1311)	山梨県立博物館(原資料 大善寺)	○	①②③④⑤⑥
長寛勘文写本(複製)	江戸時代	山梨県立博物館(原資料 熊野神社)	◇	①②③④⑤⑥
銅製経筒および付属品(複製)	建久8年(1197)	山梨県立博物館(原資料 個人)	○	①②③④⑤⑥
諏訪神号旗(複製)	室町時代(16世紀)	山梨県立博物館(原資料 恵林寺)	○	①②③④⑤⑥

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
孫子の旗(複製)	室町時代(16世紀)	山梨県立博物館(原資料 恵林寺)	○	①②③④⑤⑥
小椋韋威鎧 兜・大袖付(桶無鎧)復元品	平安・鎌倉時代	山梨県立博物館(原資料 菅田天神社)	●	①②③④⑤
武田晴信像(複製)	室町時代(16世紀)	山梨県立博物館(原資料 持明院)		①②③④⑤⑥
武田晴信書状	室町時代(16世紀)	山梨県立博物館		①
武田家朱印状	天正4年(1576)	山梨県立博物館		①
武門便幼	宝暦7年(1757)	山梨県立博物館		①
甲州古城勝頼以前図	江戸時代	個人		①
吾妻鏡	寛永3年(1626)	山梨県立博物館		①
小笠原流四季挟物之事	寛永3年(1626)	山梨県立博物館		①②
武田晴信条目(今沢家文書)	弘治3年(1557)	山梨県立博物館		②
甲州古府中古城之図	江戸時代	山梨県立博物館		②
一蓮寺過去帳(複製)	室町～江戸時代	山梨県立博物館		②
大般若波羅蜜多經 卷第四百五十八	貞治4年(1365)	山梨県立博物館		②③
武田晴信感状(三井家資料)	弘治3年(1557)	個人		③
川中島合戦図(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		③
蛭藻金・碁石金	戦国時代	山梨県立博物館		③
小笠原流故実伝書	天和2年(1682)	山梨県立博物館		③
穴山信君判物(南松院資料)	天正8年(1580)	南松院	○	④
甲州新府古城之図(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		④
一蓮寺過去帳(複製)	室町～江戸時代	山梨県立博物館(一蓮寺)		④⑤
吾妻鏡	寛永3年(1626)	山梨県立博物館		④⑤
小笠原長秀書下(市河家文書)	応永7年(1400)	山梨県立博物館	○	④(～10/30)
小笠原長秀書下(市河家文書)	応永7年(1400)	山梨県立博物館	○	④(10/31～)
甲陽武備集覽	万治2年(1659)	山梨県立博物館		⑤
武田信玄書状	永祿12年(1569)	山梨県立博物館		⑤
上杉謙信書状	元龜3年(1572)	山梨県立博物館		⑤
小笠原流虎之巻団火書	宝暦14年(1764)	山梨県立博物館		⑤
天目山勝頼討死ノ図(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑥
甲州新府古城之図(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑥
甲信築城図	昭和	山梨県立博物館		⑥
長篠合戦場図(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑥
武田勝頼書状	天正8年(1580)	山梨県立博物館		⑥
田野山甲将殿御廟所図(甲州文庫)	天保2年(1831)	山梨県立博物館		⑥
大般若波羅蜜多經 卷第五百二十一	鎌倉時代	山梨県立博物館		⑥
川を彩る高瀬舟				
鰍沢河岸跡 ガラス瓶	明治～大正	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥
足半草鞋		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
鰍沢河岸跡出土遺物	江戸～明治	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥
鰍沢河岸跡出土イルカ骨	江戸時代	山梨県立考古博物館		①②③④
鰍沢河岸跡出土マグロ骨	江戸時代	山梨県立考古博物館		⑤⑥
鰍沢河岸跡出土泥面子	明治時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥
富士川舟運関係会社印鑑類	明治時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
道がたなく出会い				
木喰上人作 木彫佛 甲種(柳宗悦著)	大正14年(1925)	山梨県立博物館		①
木喰上人作 木彫佛 乙種(柳宗悦著)	大正14年(1925)	山梨県立博物館		①
三月節供籠人形(大木家資料)	江戸時代	山梨県立博物館		①
木喰作 龍水之図	寛政10年(1798)	山梨県立博物館		②
木喰作 神号	江戸時代(18世紀)	山梨県立博物館		②
木喰作 六字名号	寛政12年(1800)	山梨県立博物館		②
おかぶと(上野晴朗氏収集資料)	明治時代～昭和初期	山梨県立博物館		②
徳川家康朱印状(右左口区有文書及び関連資料一括)	天正10年(1582)	宿区	○	③
石櫃(右左口区有文書及び関連資料一括)	江戸時代	宿区	○	③
鑑札(右左口区有文書及び関連資料一括)	江戸時代	宿区	○	③
焼小手(右左口区有文書及び関連資料一括)	江戸時代	宿区	○	③
右左口人形	江戸時代	宿区	○	③
茶入 銘二王 初代川上不自作(大木家資料)	江戸時代中～後期	山梨県立博物館		③
茶杓 銘亀 初代川上不自作(大木家資料)	安永2年(1773)	山梨県立博物館		③
茶杓 銘鶴 初代川上不自作(大木家資料)	安永9年(1780)	山梨県立博物館		③
盆石用具(大木家資料)	明治時代以前	山梨県立博物館		③
ステレオスコープ(活眼写真)(大木家資料)	明治時代	山梨県立博物館		③
常滑壺(金地蔵遺跡)	平安時代 12世紀	笛吹市教育委員会		③④⑤⑥
ニホンオオカミ頭骨	江戸～明治	個人		④⑤

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
狼絵陣羽織(栗嶋公喜氏収集資料)	江戸時代	山梨県立博物館		④⑤
狼絵掛軸(栗嶋公喜氏収集資料)	明治～昭和	山梨県立博物館		④⑤
山住神社神犬御札(栗嶋公喜氏収集資料)	昭和	山梨県立博物館		④⑤
神犬御札(栗嶋公喜氏収集資料)	昭和	山梨県立博物館		④⑤
神犬御札	現代	個人		④⑤
富士見十三州輿地全図	天保13年(1842)	山梨県立博物館		④
猿橋模型	昭和59年(1984)	山梨県立博物館		⑤⑥
三月節供雛人形(大木家資料)	明治時代～昭和時代初期	山梨県立博物館		⑥
渥美短頸壺	平安時代(12世紀)	個人	○	①②
駒橋出土埋蔵銭	室町時代	個人		①②③④⑤⑥
新巻常滑大甕	室町時代	個人	○	①②③④⑤⑥
青磁碗	室町時代	個人	○	①②③④⑤⑥
染付皿	室町時代	個人	○	①②③④⑤⑥
染付碗	室町時代	個人	○	①②③④⑤⑥
瀬戸・美濃灰釉更	室町時代	個人	○	①②③④⑤⑥
躑躅ヶ崎館跡出土陶磁器	室町時代	甲府市教育委員会		①②③④⑤⑥
東原常滑大甕	鎌倉時代	山梨県立博物館	○	①②③④⑤⑥
東原古瀬戸瓶	鎌倉時代	山梨県立博物館	○	①②③④⑤⑥
江戸文化の往来				
芦垣村絵図(森嶋家文書)	文化3年(1806)	都留市	◇	①
鶴川村絵図(森嶋家文書)	文化3年(1806)	都留市	◇	②
川口村絵図(森嶋家文書)	文化3年(1806)	都留市	◇	③(～8/25)
白野宿絵図(森嶋家文書)	文化3年(1806)	都留市	◇	8/26～10/26
成沢村絵図(森嶋家文書)	文化3年(1806)	都留市	◇	④(10/28～)
秋山村絵図(森嶋家文書)	文化3年(1806)	都留市	◇	⑤
鶴島村絵図(森嶋家文書)	文化4年(1807)	都留市	◇	⑥
甲斐国志写本	江戸時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
歌川広重筆 甲府道祖神祭幕絵 東都名所 目黒不動之瀧(複製)	天保12年(1841)	山梨県立博物館		①②③④⑥
富士三十六景 武蔵小金井	安政5～6年(1858～9)	山梨県立博物館		①(3/25～)
富士三十六景 東都隅田堤	安政5～6年(1858～9)	山梨県立博物館		①(3/25～)
富士三十六景 東都飛鳥山	安政5～6年(1858～9)	山梨県立博物館		①(3/25～)
桃鳩図(大木コレクション)	江戸時代(17～18世紀)	山梨県立博物館		①
春景山水図(大木コレクション)	寛政12年(1800)	山梨県立博物館		①
雛図(大木コレクション)	江戸時代(19世紀)	山梨県立博物館		①
桃源郷図(大木コレクション)	大正2年(1913)	山梨県立博物館		①
桃花峯図(大木コレクション)	大正10年(1921)	山梨県立博物館		①
隷書七絶詩屏風(大木コレクション)	江戸時代～明治時代	山梨県立博物館		②
『富士見百図 初編』のうち甲斐犬目峠	安政6年(1859)	山梨県立博物館		②
升太宛七世団十郎書簡	寛永5年(1852)頃	個人		③
「新製親玉おこし」ちらし	江戸時代後期	個人		③
菓子題箋「升てみら」	文政5年(1822)	個人		③
菓子題箋「志の々め(東雲)」	天保12年(1841)	個人	○	③
五代目大木喜右衛門夫妻像(大木コレクション)	天保12年(1841)頃	山梨県立博物館		③
富士図(大木コレクション)	江戸時代(18世紀)	山梨県立博物館		④
富岳図扇面(大木コレクション)	明治31年(1898)	山梨県立博物館		④
富岳図扇面(大木コレクション)	近代	山梨県立博物館		④
富岳遠望屏風(大木コレクション)	江戸時代末期 ～明治時代(19世紀)	山梨県立博物館	○	④
甲府道祖神祭幕絵 東都名所 洲崎潮干狩	元治元年(1864)	山梨県立博物館		⑤
川中島大合戦組討書 原隼人亮 赤坊主西方院(甲州文庫)	安政4年(1857)	山梨県立博物館		⑥(～3/28)
川中島大合戦組討書 原美濃入道 長尾信景(甲州文庫)	安政4年(1857)	山梨県立博物館		⑥(～3/28)
川中島大合戦組討書 三枝勘解由 宇佐美駿河守(甲州文庫)	安政4年(1857)	山梨県立博物館		⑥(～3/28)
天正八年上州膳の城攻め	元治元年(1864)	山梨県立博物館		⑥(～3/28)
川中島合戦図	天保14～弘化4年 (1843～47)	山梨県立博物館		⑥(～3/28)
甲越大合戦之内(甲州文庫)	弘化4～嘉永5年 (1847～52)	山梨県立博物館		⑥(～3/28)
川中島大合戦組討書 馬場美濃守 上杉景虎(甲州文庫)	安政4年(1857)	山梨県立博物館		⑥(3/30～)
川中島大合戦組討書 帆品弾正昌忠 高松内膳(甲州文庫)	安政4年(1857)	山梨県立博物館		⑥(3/30～)
川中島大合戦組討書 穴山梅雪 松本奎助(甲州文庫)	安政4年(1857)	山梨県立博物館		⑥(3/30～)
川中嶋大合戦之図(甲州文庫)	嘉永6年(1853)	山梨県立博物館		⑥(3/30～)
川中島大合戦之図(甲州文庫)	天保14～弘化4年 (1843～47)	山梨県立博物館		⑥(3/30～)

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
甲越大合戦之内(甲州文庫)	弘化4~嘉永5年 (1847~52)	山梨県立博物館		⑥(3/30~)
転換期に向き合う				
勝沼駅近藤勇驍勇之図(複製)	慶応4年(1868)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
近世侠客有名鏡(複製)	明治時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
天保騒動の一揆進行の絵図(複製)		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
一ツとせいぶし 甲斐の評ばん大小切(甲州文庫)	慶応4年(1868)	山梨県立博物館		①
通達写(大小切税法廃止につき)(長谷川家文書)	明治5年(1872)	山梨県立博物館		①
書状(大小切騒動風聞などにつき)(太田家文書)	明治5年(1872)	山梨県立博物館		①
書状(大小切騒動様子伺いのため人足など派遣につき)(太田家文書)	明治5年(1872)	山梨県立博物館		①
郡中御呼出読聞写(五味家文書)	明治5年(1872)	山梨県立博物館		①
諸国名所之内甲州猿橋遠景(甲州文庫)	明治13年(1880)	山梨県立博物館		②
御巡幸宿割(国府村辻家文書)	明治13年(1880)	山梨県立博物館		②
山梨県御巡幸沿道略図(甲州文庫)	明治15年(1882)	山梨県立博物館		②
明治天皇聖蹟保存顕彰ニ就テ(頼生文庫)	昭和12年(1937)	山梨県立博物館		②
明治天皇巡幸六十年記念絵葉書(頼生文庫)	昭和15年(1940)	山梨県立博物館		②
甲州騒動被害報告書(甲州文庫)	天保7年(1836)	山梨県立博物館		③
甲州の産名物拳魯家記(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		③
郡内領々相発し候騒動 国中乱妨記(頼生文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		③
大坂騒動大塩平八郎書置(大木家文書)	天保8年(1837)	山梨県立博物館		③
水府公献策	安政元年(1854)	個人		③
不尽道別(甲州文庫)	明治8年(1875)	山梨県立博物館		④
富士山内名所改名願書(佐野広乃関係文書)	明治8年(1875)	山梨県立博物館		④
富士信導記(古文書雑輯(2))	明治10年(1877)	山梨県立博物館		④
富士北口講社規約(甲州文庫)	明治12年(1879)	山梨県立博物館		④
一即五成十化更始一(甲州文庫)	明治13年(1880)	山梨県立博物館		④
甲府郵便取扱所御開御布達并規則(甲州文庫)	明治4年(1872)	山梨県立博物館		⑤
年賀状(大木家文書)	明治20年(1888)	山梨県立博物館		⑤
年賀状(大木家文書)	明治21~22年(1889-90)	山梨県立博物館		⑤
年賀状(大木家文書)	明治21~22年(1889-90)	山梨県立博物館		⑤
年賀状(関本家文書)	昭和23年(1948)	山梨県立博物館		⑤
以書上御届奉申上候(甲府屋敷引き払いなどにつき、太田家文書)	慶応4年(1868)	山梨県立博物館		⑥
覚(柏尾の戦いにおける土佐藩兵の分捕品につき、太田家文書)	慶応4年(1868)	山梨県立博物館		⑥
砲弾	江戸時代(19世紀)	山梨県立博物館		⑥
板垣退助写真(大木家文書)	近代	山梨県立博物館		⑥
大御官軍御宿割控(甲州文庫)	慶応4年(1868)	山梨県立博物館		⑥
巨富を動かす				
昭和時代のベンチ	昭和	個人		①②③④⑤⑥
若尾逸平銅像ミニチュア	大正2年(1913)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
若尾逸平扇面	明治時代	山梨県立博物館		①⑤
蒸気車往復繁栄之図(甲州文庫)	明治22年(1889)	山梨県立博物館		①⑥
山梨県教育会附属図書館新築記念(甲州文庫)	昭和5年(1930)	山梨県立博物館		①
小説『練絲痕』(甲州文庫)	昭和9年(1934)	山梨県立博物館		①⑥
富士身延鉄道株式会社電鉄全通記念	昭和3年(1928)	山梨県立博物館		①
東京地下鉄道案内パンフレット	昭和9年(1934)	個人		①⑥
中央線停車場之図(甲州文庫)	明治36年(1903)	山梨県立博物館		①
神名川横浜新開港図	万延元年(1860)	山梨県立博物館		②
明治元年道中諸入用控帳(篠原家文書)	明治元年(1868)	山梨県立博物館		②
中央鉄道敷設に付意見書(甲州文庫)	昭和5年(1930)	山梨県立博物館		②③
甲信鉄道起業取調書(甲州文庫)	明治21年(1888)	山梨県立博物館		②③
山梨鉄道起業意見書(甲州文庫)	明治22年(1889)	山梨県立博物館		②③
甲府駅発車時間表(三井家文書)	昭和4年(1929)	山梨県立博物館		②③④
蒸気車往復繁栄之図(甲州文庫)	明治22年(1889)	山梨県立博物館		③
甲府停車場開通式(甲州文庫)	明治36年(1903)	山梨県立博物館		③
小野金六書簡(甲州文庫)	明治45年(1912)	山梨県立博物館		④
小野金六銅像建設記念絵葉書(甲州文庫)	大正13年(1924)	山梨県立博物館		④
富士身延鉄道全通記念風呂敷	昭和3年(1928)	個人		④⑥
富士身延鉄道沿線名所図絵(甲州文庫)	昭和3年(1928)	山梨県立博物館		④
富士山麓開発に関する意見(甲州文庫)	大正6年(1917)	山梨県立博物館		④
おもちゃ籠	大正4年(1915)	山梨県立博物館		⑤
若尾家の年賀状(横浜若尾幾造から甲府若尾民造宛)(甲州文庫)	大正5年(1916)	山梨県立博物館		⑤
お年賀の御礼状(甲州文庫)	大正8年(1919)	山梨県立博物館		⑤

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
新年会の招待状(甲州文庫)	大正5年(1916)	山梨県立博物館		⑤
甲府繁盛寿語呂久(甲州文庫)	明治35年(1902)	山梨県立博物館		⑤
甲府繁盛寿語呂久(甲州文庫)	明治36年(1903)	山梨県立博物館		⑥
山梨県教育会附属図書館新築記念(甲州文庫)	昭和5年(1930)	山梨県立博物館		⑥
共生する社会【地方病とのたたかい】				
スチブナール	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
地方病克服に向けて使用された実物道具類	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
地方病予防溝渠プレート	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
死体解剖御願(写し)	明治30年(1897)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
甲陽軍鑑 廿 終(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑥
翻訳断毒論	文化7年(1810)	山梨県立博物館		⑥
地方病に関する手紙(飯田家資料)	江戸時代	山梨県立博物館		⑥
俺は地方病博士だ	大正6年(1917)	山梨県立博物館		⑥
スチブナール	昭和	山梨県立博物館		⑥
中国の地方病啓発ポスター	昭和	山梨県立博物館		⑥
フィリピンの地方病啓発ポスター	昭和	山梨県立博物館		⑥
地方病広報横断幕	昭和40年代	山梨県立博物館		⑥
共生する社会【明治40年の大水害】				
水害時に使用した舟	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
明治四十年八月山梨県下水害地巡視日記(古文書雑輯(2))	明治40年(1907)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
明治40年8月山梨県大水害復旧工事写真	明治時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
塚本山に関する書簡(大木家文書)	大正2年(1913)	山梨県立博物館		①
山梨県水害団体移住写真	明治時代	北海道大学		①②③④⑤
『観光』北海道移住特集号	昭和18年(1943)	個人		①②
山梨県農会の大水害善後策(篠原家文書)	明治40年(1907)	山梨県立博物館		②
山梨県水害史(甲州文庫)	大正2年(1913)	山梨県立博物館		③④⑤⑥
北海道移住者調(若尾資料)	明治～大正時代	山梨県立博物館		③④⑤
共生する社会【山梨と戦争】				
E46集束焼夷弾(模型)	—	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
軍靴	昭和16年(1941)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
甲府四十九連隊施設鬼瓦	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
警防団ヘルメット	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
警防団ビューグル	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
米機の撒いたピラ(甲州文庫)	昭和20年(1945)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
新紺屋防護団第五分団 団務記録簿	昭和	山梨県立博物館		①
大向国民学校防空計画(樋口家資料)	昭和	山梨県立博物館		①⑤⑥
支那事変いろはかるた	昭和	山梨県立博物館		①②
警戒警報・空襲警報 発令下当番日記	昭和	山梨県立博物館		②③④⑤⑥
私の家の平面図と防空計画(樋口家資料)	昭和	山梨県立博物館		②③
金属供出関係書類(大木家文書)	昭和14年(1939)	山梨県立博物館		④

(2) 企画展・シンボル展

■開催企画展・シンボル点一覧

	展覧会名	会期
① 企画展	i 微笑みに込められた祈り 円空・木喰展	平成27年3月28日(土)から5月18日(月)まで
	ii 大化石展 ～山梨に恐竜はいたか!?!～	平成27年7月18日(土)から8月31日(月)まで
	iii 富士山 ―信仰と芸術―	平成27年10月24日(土)から11月30日(月)まで
② シンボル展	i 鵜飼―甲斐の川漁と鵜飼をめぐる伝説―	平成27年5月30日(土)から7月6日(月)まで
	ii 風景に想う―秋の日は絵画づくし―	平成27年9月16日(水)から10月12日(月・祝)まで
	iii 天の虫のおきみやげ―山梨の養蚕信仰―	平成27年12月16日(水)から平成28年2月29日(月)まで

※平成28年3月19日(土)から5月23日(月)まで開催した「武田二十四将―信玄を支えた家臣たちの姿―」については、平成28年度年報で詳述する。

①企画展

i 微笑みに込められた祈り 円空・木喰展

【会 期】平成27年3月28日(土)～5月18日(月)

会期日数52日間、展示日数45日

【主 催】山梨県立博物館、UTY テレビ山梨

【会 場】企画展示室

【入場者数】12,194人

【担 当】学芸員 近藤暁子、中野賢治

【概 要】

甲斐国出身の木喰僧・行道(五行、明満ともいう)は、全国を廻国修行しながら各地で仏像を彫り残した、作仏聖として知られる。木喰の仏像は、山梨を訪れた柳宗悦によってその存在が見いだされたことを契機として、多くの研究者によって調査が進められることとなった。現在では全国で700体ほどが確認されている。その多くが満面の笑みを浮かべていることから「微笑仏」と呼ばれ、現在でもたくさんの人を魅了している。本展では、本県出身の木喰の作仏とともに、同じく作仏聖として名高い円空の作品も併せて紹介する。近世遊行聖の活動について残された作品と資料から迫ることを目的とする。

【関連イベント】

■記念講演会「微笑みに込められた祈り 円空仏・木喰仏」

・日 時 平成27年4月19日(日) 13:30～15:00

・会 場 生涯学習室

・講 師 小島梯次氏(本展監修、円空学会理事長、全国木喰研究会評議員)

■かいじあむ子ども工房「木喰さんを描いてみよう」

・日 時 平成27年4月11日(土) 10:30～15:00

・会 場 ロビー

・協 力 木喰の里微笑館

■かいじあむ子ども工房「木工工作に挑戦しよう」

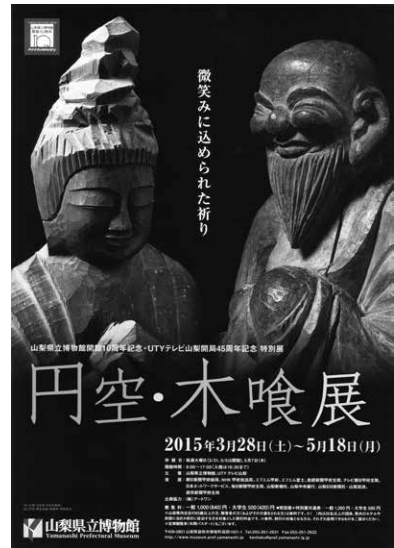
・日 時 平成27年5月9日(土) 10:30～15:00

・会 場 体験学習室

■ギャラリートーク

・日 時 平成27年4月4日(土)、26日(日)、5月3日(日)、17日(日)

15:00から1時間程度、会場は企画展示室



展覧会ちらし



展示風景

【出品資料一覧】

作品No.	作品名	員数	法量 (cm)	制作年(和暦)	(西暦)	所蔵	所在	指定
1	金剛界大日如来	一軀	33	寛文5年頃	1665頃	浜城観音堂	三重県津市	◇
2	十一面観音菩薩	一軀	240	寛文5年頃	1665頃	真教寺	三重県津市	○
3	釈迦如来	一軀	47	寛文5年頃	1665頃	天徳寺	岐阜県関市	◇
4	十一面観音菩薩	一軀	185	寛文5年頃	1665頃	田舎館村	青森県南津軽郡田舎館村	○
5	十一面観音菩薩	一軀	185.5	寛文7年頃	1667頃	宗福寺	秋田県大館市	
6	阿弥陀如来	一軀	43	寛文7年頃	1667頃	糠沢自治会	(北秋田市大太鼓の館寄託)	○
7	観音菩薩	一軀	46.2	寛文7年頃	1667頃		秋田県秋田市	◇
8	観音菩薩	一軀	9.8	寛文12年頃	1672頃	善應寺	岐阜県美濃市	◇
9	観音菩薩	一軀	37.2	寛文13年頃	1673頃	美江寺観音	岐阜県岐阜市	
10	薬師如来	一軀	97.0	寛文13年頃	1673頃	中屋薬師寺	岐阜県岐阜市	◇
11	伝 尼僧像	一軀	72.0	寛文13年頃	1673頃	中屋薬師寺	岐阜県岐阜市	◇
12	薬師如来	一軀	28.8	寛文13年頃	1673頃	平田寺	愛知県北名古屋	◇
13	護法神	一軀	91.5	延宝2年	1674	少林寺	三重県志摩市	◇
14	観音菩薩(木端仏)	一軀	58.6	延宝2年	1674	少林寺	三重県志摩市	◇
15	薬師如来/阿弥陀如来(両面仏)	一軀	165	延宝2年頃	1674頃	明福寺	三重県三重郡菰野町	◇
16-1	馬頭観音菩薩	一軀	113.3	延宝4年	1676	龍泉寺	愛知県名古屋	
16-2	熱田大明神	一軀	101.6	延宝4年	1676	龍泉寺	愛知県名古屋	
16-3	天照皇太神	一軀	101.7	延宝4年	1676	龍泉寺	愛知県名古屋	
17	観音三十三応現身のうち(木端仏)			延宝4年	1676	荒子観音寺	愛知県名古屋	
17-1	帝釋身	一軀	75.2	延宝4年	1676	荒子観音寺	愛知県名古屋	
17-2	居士婦女身	一軀	41.7	延宝4年	1676	荒子観音寺	愛知県名古屋	
17-3	長者身	一軀	56.5	延宝4年	1676	荒子観音寺	愛知県名古屋	
17-4	小王身	一軀	45.2	延宝4年	1676	荒子観音寺	愛知県名古屋	
17-5	阿修羅身	一軀	38.5	延宝4年	1676	荒子観音寺	愛知県名古屋	
18	千面菩薩のうち	三〇軀	46.4~50	延宝4年	1676	荒子観音寺	愛知県名古屋	
19	補修仏	一軀	103.5	[本体]藤原時代[補修]延宝4年	[補修]1676	荒子観音寺	愛知県名古屋	
20	柿本人麿	一軀	38	延宝4年	1676	願成寺	愛知県名古屋	
21	大黒天	一軀	133	延宝4年頃	1676頃		(一宮市博物館寄託)	
22	阿弥陀如来・観音菩薩	一軀	41.3	延宝5年頃	1677頃	弥勒寺	岐阜県関市	
23	観音菩薩(伝 薬師如来)	一軀	98	延宝5年頃	1677頃	萬休寺	岐阜県美濃市	◇
24	観音菩薩	一軀	34	延宝5年頃	1677頃	来昌寺	岐阜県美濃市	◇
25	十一面観音菩薩	一軀	57	延宝5年頃	1677頃	神光寺	岐阜県関市	◇
26	護法神	一軀	55.5	延宝5年頃	1677頃	神光寺	岐阜県関市	◇
27	観音菩薩	一軀	91.5	延宝5年頃	1677頃	寒窓寺	岐阜県海津市	
28	宝冠阿弥陀如来	一軀	65	延宝5年頃	1677頃	須賀自治会	(海津市歴史民俗資料館寄託)	
29	大黒天	一軀	96	延宝5年頃	1677頃	円空美術館	岐阜県岐阜市	
35	役行者	一軀	51	天和元年頃	1681頃	大善院	埼玉県さいたま市	
36	閻魔王	一軀	18.5	天和2年頃	1682頃	月藏寺	(小杉放菴記念日光美術館寄託)	◇
37	稲荷大明神	一軀	28.7	天和2年頃	1682頃	滝尾神社	(小杉放菴記念日光美術館寄託)	◇
38	観音菩薩	一軀	62	天和2年頃	1682頃		栃木県日光市	◇
39	不動三尊	三軀		天和2年頃	1682頃	円空美術館	岐阜県岐阜市	
39-1	不動三尊 不動明王	一軀	51					
39-2	不動三尊 矜羯羅童子	一軀	37					
39-3	不動三尊 制多迦童子	一軀	37					
40	不動三尊	三軀		天和2年頃	1682頃	清瀧寺	栃木県日光市	◇
40-1	不動三尊 不動明王	一軀	88.5					
40-2	不動三尊 矜羯羅童子	一軀	35.6					
40-3	不動三尊 制多迦童子	一軀	37.5					
41	観音菩薩	一軀	26.8	天和2年以降	1682以降	平田寺	愛知県北名古屋	◇
42	神像	一軀	34.1	天和2年以降	1682以降	平田寺	愛知県北名古屋	◇
43	釈迦誕生仏	一軀	29	天和2年以降	1682以降	善應寺	岐阜県美濃市	◇
44	普賢菩薩	一軀	30	天和2年以降	1682以降	円空美術館	岐阜県岐阜市	
45	秦蛇大王守	一軀	9.7	天和2年以降	1682以降	円空美術館	岐阜県岐阜市	
46	観音菩薩	一軀	12.8	天和2年以降	1682以降	円空美術館	岐阜県岐阜市	
47	観音菩薩	一軀	10.1	天和2年以降	1682以降	円空美術館	岐阜県岐阜市	
47	観音菩薩	一軀	10.1	天和2年以降	1682以降	円空美術館	岐阜県岐阜市	
48	観音菩薩	一軀	8.6	天和2年以降	1682以降	円空美術館	岐阜県岐阜市	
49	観音菩薩	一軀	7	天和2年以降	1682以降	円空美術館	岐阜県岐阜市	
50	阿弥陀如来	一軀	6.8	天和2年以降	1682以降	円空美術館	岐阜県岐阜市	
51	如来	一軀	9.7	天和2年以降	1682以降	円空美術館	岐阜県岐阜市	
52	十一面観音菩薩	一軀	10.6	天和2年以降	1682以降	円空美術館	岐阜県岐阜市	

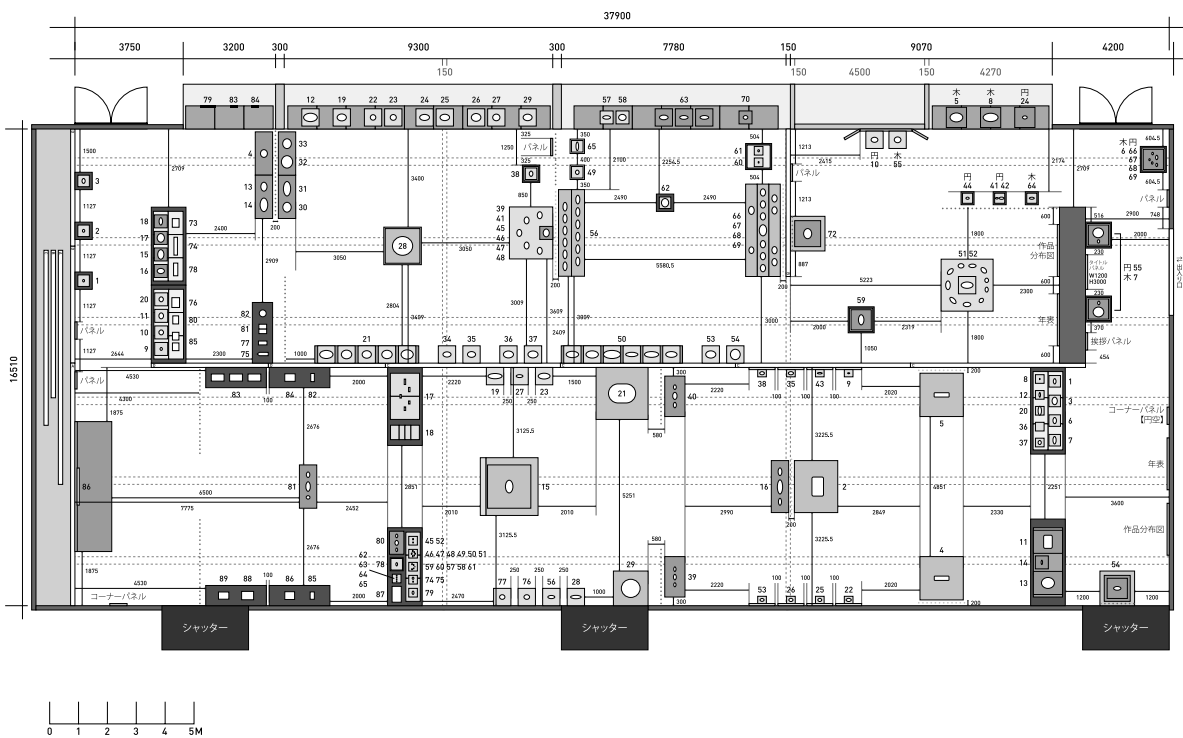
作品No.	作品名	員数	法量 (cm)	制作年(和暦)	(西暦)	所蔵	所在	指定
53	宇賀弁財天	一軀	35.1	天和2年以降	1682以降	江島本町自治会	(鈴鹿市寄託)	
54	観音菩薩	一軀	94.5	天和2年以降	1682以降	板葺町 阿弥陀堂	(一宮市博物館寄託)	
55	狛犬	一对	25.2 / 24.7	天和2年以降	1682以降	長福寺	愛知県一宮市	
56	善女龍王	一軀	54.7	天和2年以降	1682以降	観音寺	愛知県名古屋	
57	虚空蔵菩薩	一軀	7	貞享元年頃	1684頃	豊田市民芸館	愛知県豊田市	
58	如意輪観音菩薩	一軀	3.8	貞享元年頃	1684頃	豊田市民芸館	愛知県豊田市	
59	金剛童子	一軀	16.8	貞享元年頃	1684頃	豊田市民芸館	愛知県豊田市	
60	荒神	一軀	17.4	貞享元年頃	1684頃	豊田市民芸館	愛知県豊田市	
61	荒神	一軀	7.2	貞享元年頃	1684頃	豊田市民芸館	愛知県豊田市	
62	愛宕山	一軀	8.2	貞享元年頃	1684頃	円空美術館	岐阜県岐阜市	
63	大聖天	一軀	8.1	貞享元年頃	1684頃	円空美術館	岐阜県岐阜市	
64	歓喜天	一軀	8.7	貞享元年頃	1684頃	円空美術館	岐阜県岐阜市	
65	荒神	一軀	8.2	貞享元年頃	1684頃	円空美術館	岐阜県岐阜市	
66	善財童子	一軀	51.2	貞享元年頃	1684頃	下呂 温泉寺	岐阜県下呂市	
67	善女龍王	一軀	55	貞享元年頃	1684頃	下呂 温泉寺	岐阜県下呂市	
68	阿弥陀如来	一軀	23.7	貞享元年頃	1684頃	下呂 温泉寺	岐阜県下呂市	
69	宇賀神	一軀	15.5	貞享元年頃	1684頃	下呂 温泉寺	岐阜県下呂市	
74	烏天狗	一軀	15.8	貞享3年頃	1686頃	願成寺	愛知県名古屋	
75	宇賀神	一軀	8.5	貞享3年頃	1686頃	願成寺	愛知県名古屋	
76	不動明王	一軀	61.7	貞享3年頃	1686頃		岐阜県関市	◇
77	毘沙門天	一軀	65.3	貞享3年頃	1686頃		岐阜県関市	◇
78	十一面観音菩薩	一軀	29	貞享3年頃	1686頃		岐阜県関市	◇
79	宇賀神	一軀	25.6	貞享3年頃	1686頃		愛知県岡崎市	
80-1	白山妙理大権現	一軀	51	元禄2年頃	1689頃	富山市猪谷関所館	富山県富山市	◇
80-2	白山金剛童子	一軀	26.5	元禄2年頃	1689頃	富山市猪谷関所館	富山県富山市	◇
80-3	白山不思儀十万金剛童子	一軀	26.5	元禄2年頃	1689頃	富山市猪谷関所館	富山県富山市	◇
81-1	観音菩薩	一軀	114.5	元禄4年頃	1691頃	藤ヶ森無量堂	岐阜県下呂市	◇
81-2	善女龍王	一軀	64.3	元禄4年頃	1691頃	藤ヶ森無量堂	岐阜県下呂市	◇
81-3	善財童子	一軀	64	元禄4年頃	1691頃	藤ヶ森無量堂	岐阜県下呂市	◇
82	法相中宗血脈	一紙	28.2×126	寛文11年	1671	弥勒寺	岐阜県関市	
83	大般若経のうち 卷 第五十二／ 第六十二／第五百七／第五百九／ 第五百八十四	五帖	縦 各24.7	延宝2年	1674	立神自治会	三重県志摩市	○
84	仏性常住金剛宝戒相承血脈	一紙	26.2×36.2	延宝7年	1679	弥勒寺	岐阜県関市	
85	大般若経断簡	一紙	25.7×14.6	延宝9年4月14日	1681	観音教寺	千葉県山武郡芝山町	
86	妙法蓮華経卷二	一帖	縦 27.0	貞享元年	1684	弥勒寺	岐阜県関市	
87	富士図	一幅	32.0×46.5	貞享2年頃	1685頃	円空美術館	岐阜県岐阜市	
88	被召加末寺之事	一紙	29.0×41.6	元禄2年	1689	弥勒寺	岐阜県関市	
89	近世崎入伝(伴 蒿蹊／著)	一冊	25.0×18.0	寛政2年	1790			

作品No.	作品名	員数	法量 (cm)	制作年(和暦)	(西暦)	所蔵	所在	指定
1	釈迦如来	一軀	29.8	安永7年6月頃	1778	海傳寺	青森県上北郡六戸町	
2	地藏菩薩	一軀	36.5	天明6年3月11日	1786		山梨県韭崎市	◇
3	観音菩薩	一軀	43.5	天明6年3月14日	1786		山梨県韭崎市	◇
4	十一面観音菩薩	一軀	94.5	天明6年4月8日	1786	社宮寺	長野県茅野市	◇
5	普賢菩薩	一軀	111.5	天明6年4月18日	1786	法隆寺十一面観音堂	長野県諏訪郡富士見町	◇
6	地藏菩薩	一軀	23	天明6年6月20日	1786	下呂 温泉寺	岐阜県下呂市	
7	狛犬	一对	70.0/69.0	天明6年9月	1786	竹田神社	滋賀県東近江市	
8	神像	一軀	110	天明8年2月5日	1788	延喜式内社 鴨神社	香川県坂出市	
9	不動明王	一軀	29.2	寛政元年3月28日	1789	山梨県立博物館	山梨県笛吹市	
10	秋葉大権現	一軀	60	寛政元年12月24日	1789	日本民藝館	東京都目黒区	
11	恵比寿	一軀	40.8	寛政9年5月12日	1797	宝蔵院	愛知県名古屋	
12	釈迦如来	一軀	92	寛政9年12月4日	1797	洞春寺	山口県山口市	
13	不動明王	一軀	70	寛政9年	1797	普門寺	山口県山口市	
14	秋葉大権現	一軀	99.5	寛政10年7月24日	1798	秋葉山堂	鳥取県倉吉市	○
15	稲荷大明神	一軀	58	寛政10年8月6日	1798	勝宿弥神社	(倉吉博物館寄託)	○
16	稲荷大明神	一軀	76	寛政10年8月9日	1798	神庭神社	鳥取県倉吉市	○
17	子安観音菩薩	一軀	77.5	寛政10年10月11日	1798	法界寺	山口県山口市	
18	地藏菩薩	一軀	59.5	寛政10年10月24日	1798	法界寺	山口県山口市	
19	子安観音菩薩	一軀	91.7	寛政10年11月	1798	普門寺	山口県防府市	◇
20	韋駄天(伝 荒神)	一軀	40	寛政10年11月	1798	普門寺	山口県防府市	◇

作品No.	作品名	員数	法量 (cm)	制作年(和暦)	(西暦)	所蔵	所在	指定
21	五智如来	五軀				宇部 極楽寺	山口県宇部市	
21-1	大日如来	一軀	110	寛政10年11月8日	1798			
21-2	阿閼如来	一軀	112	寛政10年11月26日	1798			
21-3	宝生如来	一軀	110	寛政10年11月16日	1798			
21-4	無量寿如来	一軀	106	寛政10年11月26日頃	1798			
21-5	釈迦如来	一軀	105	寛政10年11月23日	1798			
22	観音菩薩	一軀	98.1	寛政11年1月	1799	定念寺	山口県防府市	◇
23	勢至菩薩	一軀	97.4	寛政11年1月28日	1799	定念寺	山口県防府市	◇
24	阿難	一軀	100.2	寛政11年2月15日	1799	防府 極楽寺	山口県防府市	◇
25	迦葉	一軀	102	寛政11年2月18日	1799	防府 極楽寺	山口県防府市	◇
26	子安観音菩薩	一軀	82	寛政11年2月22日	1799	防府 極楽寺	山口県防府市	◇
27	子安観音菩薩	一軀	61	寛政11年2月28日	1799	防府 極楽寺	山口県防府市	◇
28	子安観音菩薩(立木仏)	一軀	72	寛政11年6月28日	1799	光明寺	愛媛県四国中央市	◇
29	如意輪観音菩薩	一軀	89	寛政11年6月28日	1799	光明寺	愛媛県四国中央市	◇
30	子安観音菩薩	一軀	102	寛政12年2月1日	1800	徳蔵寺	愛知県新城市	◇
31	子安地藏菩薩	一軀	121	寛政12年6月2日	1800	蓮華寺	静岡県周智郡森町	◇
32	毘沙門天	一軀	125	寛政12年7月2日	1800	常楽院	静岡県藤枝市	◇
33	聖徳太子	一軀	112.5	寛政12年7月5日	1800	光泰寺	静岡県藤枝市	◇
34	吉祥天	一軀	94	寛政12年7月21日	1800	大日堂	(焼津市歴史民俗資料館寄託)	◇
35	不動明王	一軀	95	寛政12年7月23日	1800	大日堂	(焼津市歴史民俗資料館寄託)	◇
36	子安観音菩薩	一軀	96	寛政12年8月8日	1800	梅林院	静岡県藤枝市	◇
37	薬師如来	一軀	95	寛政12年8月8日	1800	梅林院	静岡県藤枝市	◇
38	日蓮上人	一軀	30.8	寛政12年10月12日	1800	金龍寺	山梨県南巨摩郡身延町	◇
39	自身像	一軀	75.5	享和元年2月24日	1801	日本民藝館	東京都目黒区	
41	千手観音菩薩	一軀	77	享和元年9月23日	1801	宝蔵院	愛知県名古屋	
45	弘法大師	一軀	54.5	享和元年3月8日	1801	山梨県立博物館	山梨県笛吹市	
46	薬師如来	一軀	71	享和元年5月10日	1801	成信坊	愛知県津島市	
47	釈迦如来	一軀	72	享和元年	1801		京都府京都市	
48	千手観音菩薩	一軀	72.5	享和元年	1801		(山梨県立博物館寄託)	◇
49	薬師如来	一軀	42	享和2年4月4日	1802	下諏訪町第二区小瀬の上町内会	(下諏訪町立諏訪湖博物館-赤彦記念館寄託)	◇
50	三十三所観音菩薩のうち	六軀				寶生寺	新潟県長岡市	○
50-1	聖観音菩薩	一軀	85	文化元年6月10日	1804			
50-2	十一面観音菩薩	一軀	92	文化元年6月11日	1804			
50-3	如意輪観音菩薩	一軀	89	文化元年6月14日	1804			
50-4	三面馬頭観音菩薩	一軀	90	文化元年6月19日	1804			
50-5	千手観音菩薩	一軀	90	文化元年7月4日	1804			
50-6	准胝観音菩薩	一軀	91.5	文化元年7月10日	1804			
51	秩父三十四所観音菩薩のうち	一〇軀	70.8~63.0	文化元年7月~8月	1804	金毘羅堂	新潟県長岡市	◇
52	自身像	一軀	79.6	文化元年8月15日	1804	金毘羅堂	新潟県長岡市	◇
53	不動明王	一軀	91	文化2年3月28日	1805	圓蔵寺	新潟県上越市	
54	毘沙門天	一軀	95	文化2年4月3日	1805	圓蔵寺	新潟県上越市	
55	薬師如来	一軀	57	文化2年6月5日	1805	個人	新潟県柏崎市	
56	十二神将	一二軀	52.0~49.0	文化2年6月22日~27日	1805	西光寺	新潟県柏崎市	◇
57	興教大師	一軀	49	文化2年閏8月25日	1805	満願寺	新潟県南魚沼市	◇
58	理源大師	一軀	53	文化2年8月6日	1805	満願寺	新潟県南魚沼市	◇
59	如意輪観音菩薩	一軀	84	文化2年9月4日	1805	大月観音堂	新潟県南魚沼市	◇
60	不動明王	一軀	16.5	文化3年7月4日	1806		新潟県長岡市	◇
61	金毘羅大権現	一軀	18.2	文化3年頃	1806頃	下諏訪町 第十区	(下諏訪町立諏訪湖博物館-赤彦記念館寄託)	◇
62	自身像	一軀	61	文化4年正月28日	1807	蔭涼寺	京都府南丹市	◇
63	薬師三尊	三軀				蔭涼寺	京都府南丹市	◇
63-1	薬師如来	一軀	78	文化4年2月12日	1807			
63-2	日光菩薩	一軀	77	文化4年2月16日	1807			
63-3	月光菩薩	一軀	77	文化4年2月17日	1807			
64	白衣観音菩薩	一軀	36.5	文化4年3月11日	1807		新潟県長岡市	◇
65	大黒天神西宮大神宮	一軀	54	文化4年5月20日	1807		兵庫県川辺郡猪名川町	○
66	自身像	一軀	107.5	文化4年5月14日	1807	東光寺	兵庫県川辺郡猪名川町	○
67	十王尊	一〇軀	65.7~56.5	文化4年6月2日~20日	1807	東光寺	兵庫県川辺郡猪名川町	○
68	葬頭河婆	一軀	60.1	文化4年6月6日	1807	東光寺	兵庫県川辺郡猪名川町	○
69	白鬼	一軀	62.3	文化4年6月12日	1807	東光寺	兵庫県川辺郡猪名川町	○
70	白鬼	一軀	50	文化4年7月4日	1807		京都府京都市	
72	阿弥陀如来	一軀	112	文化4年9月16日	1807	慈雲寺	長野県諏訪郡下諏訪町	◇

作品No.	作品名	員数	法量 (cm)	制作年 (和暦)	(西暦)	所蔵	所在	指定
73	万人講	一冊	23.5×17.0	安永2年2月11日～寛政8年	1773～1796		(木喰の里微笑館寄託)	○
74	南無阿彌陀佛國々御宿帳	一帖	34.2×12.2	安永9年5月14日～寛政12年10月25日	1780～1800		(木喰の里微笑館寄託)	○
75	奉納大乘妙経 版木	一枚	38.2×11.7	寛政6年4月8日	1794		(木喰の里微笑館寄託)	○
76	青表紙歌集	一冊	26.6×19.5	寛政8年1月6日	1796		(木喰の里微笑館寄託)	○
77	准胝観音菩薩／聖観音菩薩 版木	一枚	29.7×13.5	寛政8年9月18日	1796		新潟県長岡市	
78	御屋と帳	一帖	44.0×14.7	寛政9年4月8日～11年10月2日	1797～1799		(木喰の里微笑館寄託)	○
79	関入名号	一幅	179.0×55.0	寛政10年12月18日	1798	宇部 極楽寺	山口県宇部市	
80	歌集「心願」	一冊	28.0×20.1	寛政12年5月18日	1800		(木喰の里微笑館寄託)	○
81	四国堂心願鏡	一冊	27.0×18.3	享和2年2月21日	1802		(木喰の里微笑館寄託)	○
82	講中蓮名ノ拾三人	一枚	径24.0	享和2年2月8日	1802		(木喰の里微笑館寄託)	○
83	六字名号	一幅	145.2×26.4	享和3年閏1月18日	1803		新潟県長岡市	
84	関入六字名号	一幅	145.2×26.4	享和3年2月14日	1803		新潟県長岡市	
85	笈箱	一合	45.3×26.7×22.4				(木喰の里微笑館寄託)	○
86	阿弥陀如来図	一幅	321.0×129.0	文化5年3月	1808	甲斐 善光寺	山梨県甲府市	

【展示平面図】



ii 大化石展 ～山梨に恐竜はいたか!?～

- 【会 期】 平成 27 年 7 月 18 日（土）～ 8 月 31 日（月）
 会期中無休、展示日数 45 日
- 【主 催】 山梨県立博物館・山梨日日新聞社・山梨放送
- 【会 場】 企画展示室
- 【入場者数】 60,480 人
- 【担 当】 学芸員 植月 学、小畑茂雄
- 【概 要】

化石を通じて山梨の大地の成り立ちと生き物たちの変遷を紹介する。山梨では約 700 万年前頃の貝類、サメ類などの海棲生物の化石が発掘されており、当時の山梨に海が入り込んでいたことを示す。化石の種を調べることで、海水温や深さなど、現在とはまったく異なる過去の環境を明らかにすることができる。本展は夏休みの企画にふさわしく、こうした研究の楽しさを追体験できる展示とする。また、子どもたちに人気の高い恐竜化石をメインに据え、山梨で恐竜が産出しない理由を考えることで郷土の大地の成り立ちへの理解を深めてもらうきっかけとする。

【関連イベント】

■ワークショップ A 「やってみよう！化石発掘体験」

- ・日 時 平成 27 年 7 月 25 日（土）・8 月 12 日（水）10:30～12:00、13:30～15:00
- ・会 場 体験学習室
- ・講 師 安藤佑介氏（瑞浪市化石博物館学芸員）

■ナイト・ミュージアム

- ・日 時 平成 27 年 8 月 1 日（土）・16 日（日）・22 日（土）17:30～18:00
- ・会 場 企画展示室

■かいじあむ検定（館内ツアー）

- ・日 時 平成 27 年 8 月 2 日（日）10:00～15:00
- ・会 場 企画展示室

■ワークショップ B 「ティラノサウルス頭部を復元しよう」

- ・日 時 平成 27 年 8 月 1 日（土）10:30～12:00・23 日（日）13:30～15:00
- ・会 場 体験学習室
- ・講 師 荻野慎諧氏（古生物学者）

■ワークショップ C 「シールで恐竜の骨格を復元しよう」

- ・日 時 平成 27 年 8 月 1 日（土）13:30～15:00・23 日（日）10:30～12:00
- ・会 場 体験学習室
- ・講 師 荻野慎諧氏（古生物学者）

■かいじあむ子ども工房「化石レプリカを作ろう」

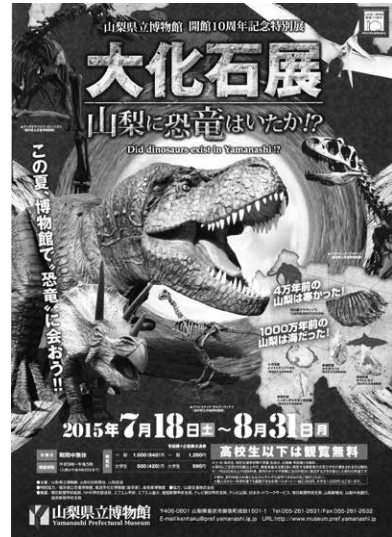
- ・日 時 平成 27 年 8 月 8 日（土）10:30～15:00
- ・会 場 ロビー

■ギャラリートーク

- ・日 時 平成 27 年 7 月 26 日（日）、8 月 8 日（土）
15:00～16:00
- ・会 場 企画展示室

■化石展 ミニ展示

- ・日 時 平成 27 年 8 月 8 日（土）～ 8 月 19 日（水）
- ・会 場 山梨県立図書館



展示会ちらし



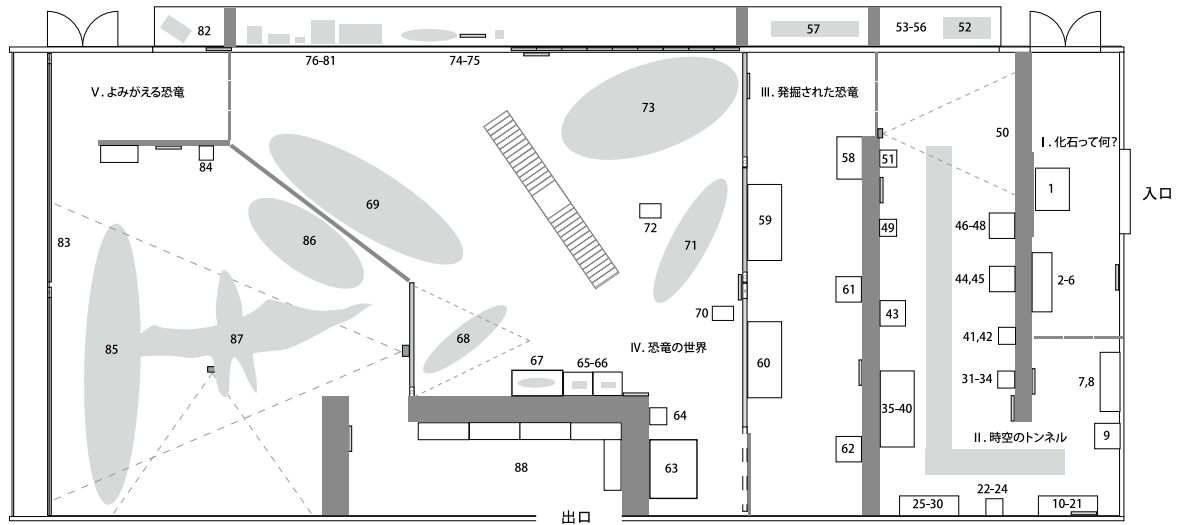
展示風景

【出品資料一覧】

NO.	名称	複製	学名	分類	時代		産地	所蔵
1	貝化石を含む地層				新第三紀	中新世	身延町小原島	身延町寄贈
I.化石って何?								
2	ニホンジカ		Cervus nippon	鯨偶蹄目 シカ科	現代	-		個人
3	ニホンジカ		Cervus nippon	鯨偶蹄目 シカ科	第四紀	完新世	山梨県南アルプス市 大師東丹保遺跡(弥生時代)	山梨県立考古博物館
4	シカ科		Amphitragulus minoensis, Cervidae	鯨偶蹄目 シカ科	新第三紀	中新世	岐阜県瑞浪市、 岐阜県美濃加茂市(シカの歯)	瑞浪市化石博物館
5	葉化石		チュウシンアカマツ(球果)Pinus miocenica, チュウシンシナグリCastanea miollissima, クマシデの一種Carpinus sp.		新第三紀	中新世	岐阜県瑞浪市	瑞浪市化石博物館
6	琥珀		Amber		新第三紀	中新世	瑞浪市釜戸町	瑞浪市化石博物館
II.時空のトンネル								
II-1.最古のハンター								
7	旧石器時代の石器		-	-	第四紀	更新世	北杜市横針前久保遺跡	山梨県立考古博物館
8	兄川産ナウマンゾウ (山梨県指定天然記念物)		Palaeoloxodon naumanni	長鼻目 ゾウ科	第四紀	更新世	山梨市兄川	山梨市
9	ナウマンゾウ模型		Palaeoloxodon naumanni	長鼻目 ゾウ科	第四紀	更新世中期	-	岐阜県博物館
II-2.山梨は海だった?								
10	イトミモジツキヒ		Amussiopecten iitomiensis	カキ目 イタヤガイ科	新第三紀	中新世	山梨県大月市	瑞浪市化石博物館
11	ツキヒガイ		Amusium japonicum japonicum	カキ目 イタヤガイ科	現代	-		口野道男氏
12	イタヤガイの一種		Pecten sp.	カキ目 イタヤガイ科	新第三紀	中新世	山梨県大月市	瑞浪市化石博物館
13	オソザワタマキガイ		Glycymeris osozawaensis	フネガイ目 タマキガイ科	新第三紀	中新世	山梨県身延町	口野道男氏
14	ニッポンダカラガイの近似種		Cypraea (Nesiocypraea) cf. langfordai (Kuroda, 1938)	盤足目 タカラガイ科	新第三紀	中新世	山梨県身延町遅沢	瑞浪市化石博物館
15	リュウキュウカタバガイ		Angaria delphinus	古腹足目 サザエ科	新第三紀	鮮新世	山梨県身延町遅沢	瑞浪市化石博物館
16	カケガワバイ		Babylonia elata	新腹足目 エゾバイ科	新第三紀	鮮新世	山梨県身延町遅沢	瑞浪市化石博物館
17	アサガオガイの一種		Hartungia typica	翼舌目 アサガオガイ科	新第三紀	鮮新世	山梨県身延町遅沢	瑞浪市化石博物館
18	ムカシサザエ		Turbo (Batillus) priscus	古腹足目 サザエ科	新第三紀	鮮新世	山梨県身延町遅沢	瑞浪市化石博物館
19	イチョウガニ		Cancer sp.	十脚目 イチョウガニ科	新第三紀	中新世	山梨県身延町遅沢	瑞浪市化石博物館
20	マンジュウウニ		Echinolampas yoshiwarai	マンジュウウニ目 マンジュウウニ科	新第三紀	中新世	山梨県身延町	瑞浪市化石博物館
21	カマヒレザメ属		Hemipristis sp.	メジロザメ目 ヒレトガリザメ科	新第三紀	中新世	山梨県中富町遅沢	瑞浪市化石博物館
22	スカシカシバン		Astriclypeus manni	タコノクラ目スカシカシバン科	新第三紀	中新世	山梨県三つ峠	向山富士雄氏
23	ビノスガイ		Mercenaria stimpsoni	マルスダレガイ目 マルスダレガイ科	新第三紀	中新世	山梨県高川山リニアトンネル (山梨県立富士ビジターセンター-保管)	田中 収氏・口野道男氏
24	クジラ類 椎骨		Cetacea	鯨偶蹄目	新第三紀	中新世	山梨県三つ峠南麓	田中 収氏・口野道男氏 (山梨県立富士ビジターセンター-保管)
II-3.中新世の陸と海								
25	イシナギの一種		Stereorepis sp.	スズキ目 イシナギ科	新第三紀	中新世	瑞浪市明世町 山野内層	瑞浪市化石博物館
26	イシナギの一種		Stereorepis sp.	スズキ目 イシナギ科	第四紀	完新世	山梨県富士川町 鰍沢河岸跡(明治時代)	山梨県立考古博物館
27	ムカシオオホジロザメ 歯		Carcharocles megalodon	ネズミザメ目 ネズミザメ科	新第三紀	中新世	瑞浪市	瑞浪市化石博物館
28	ツキノワガレイ		Samariscus japonicus	カレイ目 カレイ科	新第三紀	中新世	愛知県南知多町 師崎層群	瑞浪市化石博物館
29	クセノキアリス		Xenocyprinus sp.	コイ目 コイ科	新第三紀	中新世	彦岐	瑞浪市化石博物館
30	ハゼ科		Gobiidae sp.	スズキ目 ハゼ科	新第三紀	中新世	彦岐	瑞浪市化石博物館
31	ビカリア		Vicarya yokoyamai	吸腔目 キバウミナ科	新第三紀	中新世	瑞浪市土岐町清水・明世町月吉	瑞浪市化石博物館
32	ミノサザエ		Turbo minoensis	古腹足目 サザエ科	新第三紀	中新世	瑞浪市日吉町宿洞 など	瑞浪市化石博物館
33	オオキララガイ		Acila submirabilis	クルマガイ目 クルミガイ科	新第三紀	中新世	瑞浪市明世町戸狩	瑞浪市化石博物館
34	ヒタチオビガイ		Musashia yanagidaniensis	新腹足目 ガクフボラ科(ヒタチオビガイ科)	新第三紀	中新世	瑞浪市明世町山野内	瑞浪市化石博物館
35	イサナセタスクジラ 頭蓋骨	+	Isanactus laticephalus	鯨偶蹄目 アグラオセタス科	新第三紀	中新世	三重県伊賀市	瑞浪市化石博物館
36	クジラ類 椎骨		Cetacea		新第三紀	中新世	三重県津市	瑞浪市化石博物館
37	デスマスチルス 歯		Desmostylus sp.	東柱目 デスマスチルス科	新第三紀	中新世	カリフォルニア	瑞浪市化石博物館
38	カニサイ(キロテリウム) 下顎骨		Chilotherium sp.	奇蹄(きてい)目 サイ科	新第三紀	中新世	岐阜県可見市	瑞浪市化石博物館
39	アンネクテンスゾウ (ゴンフォテリウム)	+	Gomphotherium annectens	長鼻目 ゴンフォテリウム科	新第三紀	中新世	岐阜県御嵩町 平牧層	瑞浪市化石博物館
40	アンネクテンスゾウ (ゴンフォテリウム) 下顎骨		Gomphotherium annectens	長鼻目 ゴンフォテリウム科	新第三紀	中新世	瑞浪市山田町	瑞浪市化石博物館
41	アロブックス 下顎骨		Alloptoy japonicus	ウサギ目 ナキウサギ科	新第三紀	中新世	瑞浪市松ヶ瀬町	瑞浪市化石博物館
42	ノウサギ	+	Lepus brachyurus	ウサギ目 ウサギ科	現代	-	-	個人
II-4.漸新世の生物								
43	プロトアテルム科		Plotopteridae	バカリカン目	古第三紀	漸新世	福岡県北九州市-	瑞浪市化石博物館

NO.	名称	複製	学名	分類	時代	産地	所蔵	
44	アルケオテリウム		Archaeotherium sp.	鯨偶蹄目 イノシシ科	新第三紀	中新世	サウスダコタ	瑞浪市化石博物館
45	イノシシ		Sus scrofa	鯨偶蹄目 イノシシ科	現代	-	-	個人
46	ディニクテス		Dinictis sp.	食肉目 ニブラプス科	古第三紀	漸新世	北米	瑞浪市化石博物館
47	ホプロフォネウス		Hoplophoneus sp.	食肉目 ニブラプス科	古第三紀	漸新世	北米	瑞浪市化石博物館
48	イエネコ		Felis silvestris catus	食肉目 ネコ科	現代	-	-	個人
49	カヘイ石(スメリテス)		Nummulites	ロタリア目 スメリテス科	古第三紀	始新世	東京都小笠原村(母島)	瑞浪市化石博物館
II-5 恐竜時代の海								
50	海棲生物映像		-	-	-	-	-	-
51	アンモナイト		Pachydiscus sp.	アンモナイト目 パチディスク科	白亜紀	-	北海道	瑞浪市化石博物館
52	タラシオドラコン (プレシオサウルス類)	+	Thalassiodracon hawkinsii	プレシオサウルス目 プリオサウルス類	ジュラ紀前期	-	イギリス グラストンベリー	岐阜県博物館
53	ネオプロシネテス・ペナルバイ		Neoproscinetes penalvai	硬骨魚綱 条鰭亜綱 新鰭下綱 ビクノドント目 ビクノドント科	白亜紀	-	ブラジル	福井県立恐竜博物館
54	カラモブレウス・シンドリクス		Calamopleurus cylindricus	硬骨魚綱 条鰭亜綱 新鰭下綱 アマ目 オリゴブレウス科	白亜紀	-	ブラジル	福井県立恐竜博物館
55	アラリペレピドテスの一種		Araripelepidotes sp.	硬骨魚綱 条鰭亜綱 新鰭下綱 ガー目	白亜紀	-	ブラジル	福井県立恐竜博物館
56	クラドキクルス・フェルス		Cladocyclus ferus	硬骨魚綱 条鰭亜綱 新鰭下綱 パキコルムス目 イクチオデクテス科	白亜紀	-	ブラジル	福井県立恐竜博物館
III 発掘された恐竜								
57	ブラキロフォサウルス ・カナデンシス(レオナルド)	+	Brachylophosaurus Canadensis		白亜紀後期	-	アメリカ モンタナ州	福井県立恐竜博物館
58	ピナコサウルス・グランゲリ	+	Pinacosaurus grangeri	竜盤目 装盾亜目 ヨロイ竜下目	白亜紀後期	-	中国内モンゴル自治区	福井県立恐竜博物館
59	プシッタコサウルスの一種	+	Psittacosaurus	鳥盤目 周飾頭亜目 角竜下目 プシッタコサウルス科	白亜紀後期	-	中国遼寧省	福井県立恐竜博物館
60	ジンゾウサウルス・ヤンギ	+	Jinzhousaurus yangi	鳥盤目 鳥脚亜目 イグアノドン類	白亜紀前期	-	中国遼寧省	福井県立恐竜博物館
61	ドリグナサス・バンセンシス	+	Dorygnathus banthensis	ランフォリクス類 ランフォリクス科	ジュラ紀前期	-	ドイツ	福井県立恐竜博物館
62	プテロダウストロ・グイナズイ	+	Pterodaustro guinazui	翼竜目 プテロダクティルス類 クテナカスマ上科	白亜紀後期	-	アルゼンチン	福井県立恐竜博物館
IV 恐竜の世界								
63	アナビスティア・サルディヴィアイ	+	Anabisetia saldiviai	鳥盤目 鳥脚亜目	白亜紀後期	-	アルゼンチン ネウケン州	福井県立恐竜博物館
64	ディプロドクスの恥骨		Diplodocus sp.	竜盤目 竜脚形亜目 ディプロドクス科	ジュラ紀後期	-	アメリカ	福井県立恐竜博物館
65	フクイサウルス・テトリエンシス	+	Fukuisaurus tetoriensis	鳥盤目 鳥脚亜目 イグアノドン類	白亜紀前期	-	福井県勝山市北谷	福井県立恐竜博物館
66	アロサウルス・フラギリス	+	Allosaurus fragilis	竜盤目 獣脚亜目 アロサウルス科	ジュラ紀後期	-	アメリカ ユタ州	福井県立恐竜博物館
67	トリケラトプスの上腕骨		Triceratops sp.	鳥盤目 周飾頭亜目 ケラトプス科	白亜紀後期	-	アメリカ	福井県立恐竜博物館
68	タルボサウルス	+	Tarbosaurus bataar	竜盤目 獣脚亜目 ティラノサウルス科	白亜紀後期	-	モンゴル ゴビ砂漠	岐阜県博物館
69	ティラノサウルス	+	Tyrannosaurus rex	竜盤目 獣脚亜目 ティラノサウルス科	白亜紀後期	-	アメリカ サウスダコタ州	岐阜県博物館
70	プロバクトロサウルス	+	Probactrosaurus sp.	鳥盤目 鳥脚亜目 イグアノドン類	白亜紀前期	-	モンゴル	福井県立恐竜博物館
71	ハドロサウルス類	+	Hadrosauridae	鳥盤目 鳥脚亜目 ハドロサウルス類	白亜紀後期	-	アメリカ	福井県立恐竜博物館
72	プロバクトロサウルス・ゴビエンシス	+	Probactrosaurus gobiensis	鳥盤目 鳥脚亜目 イグアノドン類	白亜紀前期	-	モンゴル	福井県立恐竜博物館
73	チンタオサウルス・スピノリヌス	+	Tsintaosaurus spinorhinus	鳥盤目 鳥脚亜目 ハドロサウルス科	白亜紀後期	-	中国 山東省	福井県立恐竜博物館
74	ヒプセロサウルスの卵		Hypselosaurus priscus	竜盤目 竜脚下目 ティラノサウルス類	白亜紀後期	-	フランス プロヴァンス地方	岐阜県博物館
75	コンコラプトル	+	Conchoraptor gracilis	竜盤目 獣脚亜目 オビラプトル科	白亜紀後期	-	モンゴル ゴビ砂漠	岐阜県博物館
76	シノサウロプテリクス		Sinosauropteryx	竜盤目 獣脚亜目 コンパノグナトス科	白亜紀前期	-	中国(主な産地)	石井正樹 作
77	ヴェロキラプトル		Velocirap	竜盤目 獣脚亜目 ドロマエオサウルス科	白亜紀後期	-	モンゴル・中国(主な産地)	石井正樹 作
78	ミクロラプトル・グイ		Microraptor	竜盤目 獣脚亜目 ドロマエオサウルス科	白亜紀後期	-	中国(主な産地)	石井正樹 作
79	エオシノプテリクス		Eosinopteryx	竜盤目 獣脚亜目 トロオドン科	ジュラ紀後期	-	中国(主な産地)	石井正樹 作
80	アンキオルニス		Anchiornis	竜盤目 獣脚亜目 トロオドン科	ジュラ紀後期	-	中国(主な産地)	石井正樹 作
81	アーケオプテリクス		Archaeopteryx	竜盤目 獣脚亜目 アーケオプテリクス	ジュラ紀後期	-	ヨーロッパ(ドイツ)	石井正樹 作
V.よみがえる恐竜								
82	恐竜プロジェクト・マッピング		-	-	-	-	-	-
83	スピノサウルス	+	Spinosaurus sp.	竜盤目 獣脚亜目 スピノサウルス科	白亜紀前期	-	-	-
84	鳥脚類の足跡		Ornithopoda	鳥盤目 鳥脚亜目	白亜紀前期	-	イギリス ホワイト島	岐阜県博物館
85	ティラノサウルス		Tyrannosaurus	竜盤目 獣脚亜目 ティラノサウルス科	白亜紀後期	-	-	-
86	プテラノドン		Pteranodon	翼竜目 翼指竜亜目 プテラノドン科	白亜紀後期	-	-	-
87	トリケラトプス		Triceratops	鳥盤目 周飾頭亜目 ケラトプス科	白亜紀後期	-	-	-
88	恐竜お絵描きコーナー		-	-	-	-	-	-

【展示平面図】



iii 富士山 一信仰と芸術一

【会 期】 平成27年10月24日(土)～11月30日(月)

会期日数38日、展示日数33日

【主 催】 山梨県立博物館、静岡県立美術館、「富士山一信仰と芸術一」展実行委員会

【会 場】 企画展示室

【入場者数】 5,723人

【担 当】 学芸員 近藤暁子、中野賢治

【概 要】

富士山は、古来より信仰の対象であり、また、数々の芸術作品を生み出す芸術の源泉として、人々の崇敬を集めてきた。平成25年6月には、その普遍的な文化的価値が世界的にも認められ、世界文化遺産に登録されたことは記憶に新しい。本展は、富士山にゆかり深い静岡・山梨

両県合同で開催し、富士山に関する文化財を一堂に集め、その文化的

意義を示そうとするものである。特に富士信仰を中心的テーマとして捉えることによって、信仰を起点として生み出された芸術作品の数々とともにその歴史の変遷を紹介し、この機会に世界的な視野における富士山の有する文化的意義について関心喚起を促すことを目的とした。さらに本展は山梨県立博物館の開館10周年を記念するものであり、今まで行われてきた山梨県富士山学術調査研究の成果も反映して開催した。

【関連イベント】

■民俗芸能公演「河口の稚児の舞」

・日 時 平成27年11月3日(火・祝) 13:30～15:00

・会 場 ロビー

・上 演 河口の稚児の舞保存会

■記念講演会「重要文化財《富士参詣曼荼羅図》(富士山本宮浅間大社蔵)の表現力」

・日 時 平成27年11月8日(日) 13:30～15:00

・会 場 生涯学習室

・講 師 泉万里氏(静岡県立美術館学芸部長)



展覧会ちらし

■記念講演会「富士縁起の謎をさぐる」

- ・日 時 平成27年11月21日(土) 13:30～15:00
- ・会 場 生涯学習室
- ・講 師 西岡芳文氏(神奈川県立金沢文庫学芸課長)

■かいじあむ古文書講座

「富士山に関する古文書を読む 1」

- ・日 時 平成27年10月31日(土) 13:30～15:00
- ・会 場 生涯学習室

「富士山に関する古文書を読む 2」

- ・日 時 平成27年11月28日(土) 13:30～15:00
- ・会 場 生涯学習室

■ギャラリートーク

「祈りのかたち～芸術作品を中心としたご案内～」

- ・日 時 平成27年10月24日(土)、11月14日(土)

「神仏の坐す霊山～富士信仰を中心としたご案内～」

- ・日 時 平成27年11月1日(日)、14日(土)

「富士の歴史を読み解く～歴史資料を中心としたご案内～」

- ・日 時 平成27年11月7日(土)、29日(日)

いずれも15:00から1時間程度、会場は企画展示室



展示風景


【出品資料一覧】

NO.	指定	名称	作者	員数	材質	法量	時代	所蔵者	山梨会場 展示期間 前期=10/24~11/9 後期=11/11~11/30
一 富士山イメージの形成と継承									
1	◎	伊勢物語絵巻		一卷	紙本着色	縦26.8 横413.6	鎌倉時代(13世紀)	和泉市久保徳記念美術館	
2	◎	遊行上人縁起絵 第二巻、第八巻		全十巻のうち二巻	紙本着色	二巻 縦33.2 横1351.0 八巻 縦33.7 横1521.0	元亨3年(1323)	兵庫・真光寺	
3	◎	遊行上人縁起絵 第二巻、第八巻		全四巻のうち二巻	紙本白描	二巻 縦30.2 横1070.5 八巻 縦30.2 横1202.0	南北朝時代(14世紀)	広島・常称寺 (広島県立歴史博物館寄託)	第八巻のみ通期
4		富士三保松原図屏風		六曲一双	紙本金地着色	各縦137.5 横329.4	室町時代(16世紀)	静岡県立美術館	前期
5		富士三保松原・天橋立図屏風		六曲一双	紙本金地着色	各縦137.5 横328.0	江戸時代(17世紀前半)	個人蔵	後期
6		富士見図屏風		六曲一隻	紙本着色	縦88.4×横269.2	室町時代末期～ 桃山時代前期(16世紀)	個人蔵	後期
7		箱根富士図襖	伝狩野山楽筆	四面	紙本墨画淡彩	各縦170.4 横89.2	江戸時代(17世紀前半)	個人蔵	前期
8		曾我物語図屏風		六曲一双	紙本金地着色	各縦154.0 横364.4	江戸時代(17世紀前半)	山梨県立博物館	
9		曾我物語図屏風		六曲一双	紙本金地着色	各縦156.8 横356.6	江戸時代(17世紀半ば)	静岡県立美術館	
10		武蔵野図屏風		六曲一双	紙本金地着色	各縦165.8 横367.0	桃山～江戸時代(17世紀)	鳥根県立石見美術	後期
11		武蔵野図屏風		六曲一双	紙本金地着色	右隻縦155.6 横356.8 左隻縦155.6 横354.8	江戸時代(17世紀)	静岡県立美術館	前期
12		富士三保清見寺図	伝雪舟筆 簗仲和賛	一幅	紙本墨画	縦43.2 横102.0	室町時代(16世紀)	東京・永青文庫	
13		富士三保清見寺図	杉谷直筆 深田正韶賛	一幅	紙本墨画	縦42.5 横100.0	弘化3年(1846)賛	静岡・清見寺	前期
14		富士三保清見寺図	狩野栄信筆 松平不昧賛	一幅	絹本墨画	縦34.2 横64.7	江戸時代(19世紀前半)	鳥根県立石見美術	後期(11/11~11/21)
15		富士三保清見寺図	狩野栄信筆	一幅	絹本墨画	縦46.6 横84.2	江戸時代(19世紀前半)	個人蔵	後期(11/22~11/30)
16		富士三保松原図屏風	狩野山雪筆	六曲一双	紙本墨画金泥引	各縦153.5 横360.0	江戸時代(17世紀前半)	静岡県立美術館	前期
17		富士三保松原図屏風	狩野山雪筆	六曲一双	紙本墨画	各縦155.0 横363.8	江戸時代(17世紀前半)	個人蔵	後期
18		富士山図	狩野探幽筆	一幅	紙本墨画淡彩	縦56.6 横118.4	寛文7年(1667)	静岡県立美術館	後期
19		富士山図	狩野探幽筆	一幅	絹本墨画淡彩	縦54.0 横113.1	寛文10年(1670)	静岡県立美術館	前期
20		富士越鶴図	長澤蘆雪筆	一幅	絹本墨画淡彩	縦157.0 横70.5	寛政6年(1794)	個人蔵	前期
21		駿河湾富士遠望図	司馬江漢筆	一面	絹本油彩	縦36.2 横100.9	寛政11年(1799)	静岡県立美術館	後期
22		富士三保松原図	原在中筆	一幅	絹本着色	縦40.9 横100.8	文政5年(1822)	静岡県立美術館	前期
23		富士山図	原在中筆	一幅	絹本着色	縦46.3 横108.0	文政10年(1827)	個人蔵	後期
24		富士山図巻	原在中筆	全十四巻より	紙本着色	縦28.8 横741.5ほか	寛政8年(1796)頃	個人蔵	前期 四巻 後期 二巻
25		富士山図	谷文晁筆	一幅	絹本墨画淡彩	縦82.5 横141.5	文政8年(1825)	神奈川・三溪園	前期
26		富士山図屏風	谷文晁筆	六曲一隻	紙本墨画群引	縦163.1 横363.2	天保6年(1835)	静岡県立美術館	後期
27	○	隅田川富士山図	永峯晴水養広筆	一幅	絹本着色	縦55.0 横103.1	江戸時代(19世紀)	個人蔵	後期
28		江戸一日図屏風	鍛形憲斎筆	六曲一隻	紙本着色	縦176.0 横352.8	文化6年(1809)	津山郷土博物館	前期
29		「百富士」	河村岷雪画	全五冊のうち四冊	木版墨刷	各縦25.3 横18.0	明和4年(1767)序	山梨県立博物館	1,2=後期 3,4=前期
30		富嶽三十六景 1 神奈川沖浪裏 2 凱風快晴 3 山下白雨 4 深川万年橋下 5 尾州不二見原 6 甲州石班澤(藍摺) 7 駿州江尻 8 甲州三坂水面 9 江都駿河町三井見世略圖 10 御厨川岸より兩國橋夕陽見 11 東海道江尻田子の浦略圖 12 身延川裏不二	葛飾北斎画	全四十六枚の うち十二枚	木版多色摺	1 縦25.6 横37.7 2 縦25.6 横37.7 3 縦26.3 横37.8 4 縦25.7 横37.8 5 縦25.7 横37.9 6 縦26.4 横38.6 7 縦25.5 横37.6 8 縦25.6 横37.7 9 縦25.6 横37.7 10 縦25.6 横37.8 11 縦25.6 横37.6 12 縦25.5 横37.7	天保元～4年(1830-3)頃	山梨県立博物館	1,8,10=前期 3,4,12=後期
二 神仏の坐す折りの山									
31		「常陸国風土記」		一冊	木版墨刷	縦26.0 横17.5	江戸時代(19世紀)	西尾市岩瀬文庫	
32		「常陸国風土記」		一冊	紙本墨書	縦26.0 横17.5	江戸時代(19世紀)	西尾市岩瀬文庫	
33		「万葉和歌集」第三雑歌		全二十冊の内一冊	紙本墨書	縦29.0 横22.0	江戸時代(17世紀)	名古屋市蓬左文庫	
34		「万葉集」第三雑歌		全二十冊の内一冊	紙本墨書	縦24.0 横17.5	江戸時代(17世紀)	名古屋市蓬左文庫	
35		「万葉和歌集」第三雑歌		全二十冊の内一冊	紙本墨刷	縦27.0 横19.5	江戸時代(17世紀)	西尾市岩瀬文庫	
36		「日本三代実録」巻九	源能有ら	全二十冊の内一冊	木版墨刷	縦27.0 横19.0	江戸時代(17世紀)	東京国立博物館	
37		「日本三代実録」巻八	源能有ら	全二十冊の内一冊	木版墨刷	縦27.0 横19.0	江戸時代(17世紀)	名古屋市蓬左文庫	
38		「日本三代実録」巻九	源能有ら	全十三冊の内一冊	木版墨刷	縦26.0 横18.5	江戸時代(17世紀)	名古屋市蓬左文庫	
39	◎	「日本三代実録」巻八	源能有ら	全二十冊の内一冊	木版墨刷	縦26.0 横18.5	江戸時代(17世紀)	西尾市岩瀬文庫	
40		「本朝文粹」巻十二「富士山記」	都良香	全十三巻の内一巻	紙本墨書	縦28.8 横1924.0	建治2年(1276)	山梨・久遠寺	後期
41		「本朝文粹」巻十二「富士山記」	都良香	全八冊の内一冊	木版墨刷	縦27.5 横19.5	江戸時代(17世紀)	早稲田大学図書館	
42	○	「本朝文粹」巻十二「富士山記」	都良香	全八冊の内一冊	木版墨刷	縦27.5 横19.5	江戸時代(17世紀)	早稲田大学図書館	前期
43		短頸壺		一点	陶製	器高54.5	平安時代(12世紀半ば)	個人蔵	

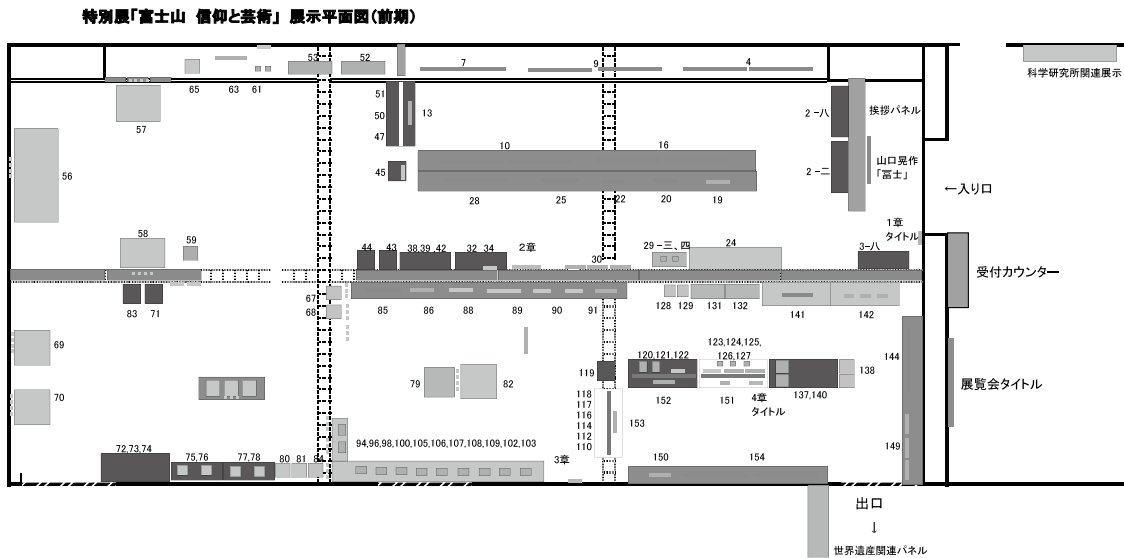
NO.	指定	名称	作者	員数	材質	法量	時代	所蔵者	山梨会場 展示期間 前期=10/24~11/9 後期=11/11~11/30
44		短頸壺		一点	陶製	器高39.0	平安時代(12世紀半ば)	個人蔵	
45		『本朝世紀』第三十五	藤原通憲(信西)	全二冊の内一冊	紙本墨書	縦27.0 横19.0	江戸時代(18世紀)	名古屋市蓬左文庫	
46		『本朝世紀』第三十五	藤原通憲(信西)	全二十冊の内一冊	紙本墨書	縦27.0 横19.0	江戸時代(19世紀)	東京国立博物館	
47	◎	浅間大菩薩縁起(称名寺聖教)		一卷	紙本墨書	紙高29.5 横71.9	建長3年(1251)	神奈川・称名寺 (神奈川県立金沢文庫管理)	前期
48	◎	富士縁起断簡(称名寺聖教)	全海	一卷	紙本墨書	縦34.0 横50.3	鎌倉~南北朝時代(14世紀)	神奈川・称名寺 (神奈川県立金沢文庫管理)	後期
49		富士山大縁起		一冊	紙本墨書	縦26.0 横17.5	江戸時代(17世紀)か	富士市立博物館	
50		富士山大縁起	圓成	一卷	紙本墨書	縦30.8 横876.9	元禄10年(1697)	富士市立博物館	
51		『地藏菩薩三國靈験記』		全七冊のうち一冊	木版墨刷	縦25.0 横18.5	貞享元年(1684)	東京大学史料編纂所	後期
52		三鳥ヶ岳出土経巻		十巻	紙本朱書	各縦約21.5 横約48.3	久安5年(1149)か	静岡・富士山本宮浅間大社	
53		経ヶ岳出土経巻		全十巻のうち未開経巻 及び複製品二点	紙本朱書	各縦約22.0 横約50.0	平安時代後期(12世紀)	個人蔵(未開経巻) 山梨県立博物館(複製品)	
54		『日本霊異記』上巻第二十八	景戒	一冊	木版墨刷	縦27.0 横17.5	正徳4年(1714)	西尾市岩瀬文庫	後期
55		『日本霊異記』上巻第二十八	景戒	全三冊のうち一冊	木版墨刷	縦27.0 横19.0	江戸時代	東京大学史料編纂所	前期
56	○	役行者半伽像及び前鬼後鬼像		三軀	木造	役行者像 像高116.5 坐高83.0 前鬼像 像高66.1 後鬼像 像高73.1	平安~鎌倉時代(12~13世紀)	山梨・円楽寺	
57	○	役行者倚像		一軀	木造彩色	像高119.4 坐高84.8	鎌倉時代(13世紀)	山梨・大善寺	
58		伝役行者母公像		一軀	木造	像高83.5	鎌倉時代(13世紀)	山梨・円楽寺	
59		童子形立像		一軀	木造彩色	像高33.0	鎌倉時代(13世紀)	山梨・円楽寺	
60		『聖徳太子伝暦』		一冊	木版墨刷	縦26.5 横19.5	江戸時代(17世紀)	東京国立博物館	
61		『聖徳太子伝暦』		一冊	木版墨刷	縦26.5 横19.5	江戸時代(17世紀)	西尾市岩瀬文庫	
62		聖徳太子絵伝 第三幅		全三幅のうち一幅	絹本着色	縦169.4 横83.0	南北朝時代(14世紀半ば)	東京・根津美術館	
63		聖徳太子絵伝 第六幅		全八幅のうち一幅	絹本着色	縦160.8 横81.5	南北朝時代(14世紀半ば)	大阪・寂福寺	前期
64	◎	聖徳太子絵伝 第六幅		全八幅のうち一幅	絹本着色	縦193.0 横116.4	室町時代(16世紀前半)	奈良・橘寺	後期
65		聖徳太子騎馬像	藤原政時作	一軀	銅造	像高43.2	江戸時代(18世紀)	山梨・如来寺	
66	◎	浅間神像及び宮殿		一基 二基	木造彩色	浅間神像総高40.3 宮殿その1総高49.9 宮殿その2総高50.1	平安時代(11世紀)	山梨・江原浅間神社	10/24~11/21
67		大日如来坐像		一軀	木造漆箔彩色	像高34.5	平安時代(11世紀)	山梨・東園寺	
68	◇	聖観音菩薩坐像	静存作	一軀	木造漆箔玉眼	像高43.5	文保4年(1320)	山梨・東園寺	
69	◇	大日如来坐像	聖運作	一軀	木造	像高98.5	正嘉3年(1259)	静岡・村山浅間神社・ 富士山興法寺大日堂	
70	◇	大日如来坐像	度邊行忠作	一軀	木造	像高85.5 宝冠含む 98.7	文明10年(1478)	静岡・村山浅間神社・ 富士山興法寺大日堂	
71		大日如来坐像		一軀	木造漆箔	像高56.2	室町~桃山時代(16~17世紀前半)	個人蔵	
72		八葉九尊図及び版木		二点	紙本墨摺・木造	縦43.3 横29.8	延宝8年(1680)	山梨・正福寺	
73		富士山八葉九尊図及び版木		二点	紙本墨摺・木造	縦59.4 横30.5	延宝8年(1680)	山梨・正福寺	
74		富士山略縁起及び版木		二点	紙本墨摺・木造	縦29.7 横43.0	延宝8年(1680)	山梨・正福寺	
75		大日如来二尊像鏡像		一面	銅造	径29.1	至徳元年(1384)	小山町教育委員会	
76	◇	富士山大日如来像懸仏		一面	銅造	径23.9	応永32年(1425)	埼玉・中町浅間神社	
77		虚空蔵菩薩像懸仏	和泉守光吉作	一面	銅造	径31.6	文明14年(1482)	静岡・富士山本宮浅間大社	
78		薬師如来像懸仏		一面	銅造	径20.1	天文12年(1543)	静岡・富士浅間神社	
79	○	釈迦如来立像		一軀	木造彩色玉眼	像高80.0	鎌倉時代(13~14世紀)	山梨・西念寺	
80		地藏菩薩立像		一軀	銅造	像高30.5	乾元2年(1303)	個人蔵	
81		大日如来坐像		一軀	銅造	像高24.0	文安2年(1445)	静岡・宝持院	
82		観音菩薩坐像		一軀	銅造	像高112.0	室町時代(15世紀)	東京・衆又帝釈天(経楽山題経寺)	
83		大日如来坐像		一軀	銅・鉄造	像高49.2	室町時代(16世紀)	静岡・大頂寺	
84	○	鰐口		一口	銅造	前径33.0 縦77.0 幅8.5	享禄元年(1528)	山梨・蓮華寺	
85	◎	富士参詣曼荼羅図	「元信印」	一幅	絹本着色	縦186.6 横118.2	室町時代(16世紀半ば)	静岡・富士山本宮浅間大社	10/24~11/21
86	○	富士参詣曼荼羅図		一幅	絹本着色	縦91.5 横67.3	室町時代(16世紀半ば)	静岡・富士山本宮浅間大社	
87		富士参詣曼荼羅図		一幅	絹本着色	縦109.7 横80.3	室町時代(16世紀半ば)	個人蔵	
88		富士参詣曼荼羅図		一幅	紙本墨画淡彩	縦131.0 横67.0	江戸時代(17世紀)	静岡県立美術館	
89		富士参詣曼荼羅図		一幅	紙本墨画淡彩	縦126.0 横103.2	江戸時代(17世紀)	静岡・富士山本宮浅間大社	
90		富士参詣曼荼羅図		一幅	紙本着色	縦107.4 横46.8	江戸時代(17~18世紀)	個人蔵	
91		富士参詣曼荼羅図	土佐光成筆	一幅	紙本着色	縦75.5 横32.3	江戸時代(17~18世紀)	三重・伊山文庫	
92		富士参詣曼荼羅図		一幅	紙本着色	縦128.5 横76.8	江戸時代(17~18世紀)	奈良・矢田原第三農家組合	

NO.	指定	名称	作者	員数	材質	法量	時代	所蔵者	山梨会場 展示期間 前期=10/24~11/9 後期=11/11~11/30
93		富士曼荼羅図	春木南溟筆	一幅	絹本着色	縦44.6 横64.3	江戸時代(19世紀)	山梨県立博物館	前期,11/22~
94		後醍醐天皇繪旨(富士家文書)		一通	紙本墨書	縦29.6 横39.5	元弘3年(1333)	静岡県立中央図書館	前期
95		後醍醐天皇繪旨(富士家文書)		一通	紙本墨書	縦30.5 横44.8	建武元年(1334)	静岡県立中央図書館	後期
96		足利尊氏寄進状(富士家文書)		一通	紙本墨書	縦33.0 横44.0	建武2年(1335)	静岡県立美術館	前期
97		足利直義寄進状(富士家文書)		一通	紙本墨書	縦33.0 横44.0	建武2年(1335)	静岡県立美術館	後期
98		今川義元判物(富士家文書)		一通	紙本墨書	縦31.3 横42.5	天文6年(1537)	静岡県立中央図書館	前期
99		穴山信友寄進状(富士家文書)		一通	紙本墨書	縦30.8 横46.1	天文16年(1547)	静岡県立中央図書館	後期
100		北条氏政書状(富士家文書)		一通	紙本墨書	縦29.1 横40.5	(永祿12年(1569))	静岡県立中央図書館	前期
101		今川氏真判物(富士家文書)		一通	紙本墨書	縦32.5 横45.6	元亀2年(1571)	静岡県立中央図書館	後期
102	○	『勝山記』		一冊	紙本墨書	縦13.0 横18.5	慶長年間(1596~1615)か	山梨・富士御室浅間神社	
103		『妙法寺記』(甲州文庫)		一冊	紙本墨書	縦26.0 横18.5	江戸時代	山梨県立博物館	
104		武田家朱印状		一通	紙本墨書	縦16.5 横47.0	天文23年(1554)	山梨・西念寺	
105		武田家朱印状		一通	紙本墨書	縦30.0 横46.5	天正9年(1581)	山梨・西念寺	
106	○	武田晴信願文		一通	紙本墨書	縦31.5 横44.5	弘治3年(1557)	山梨・富士御室浅間神社	
107	○	武田信玄願文		一通	紙本墨書	縦31.5 横42.0	永祿9年(1566)	山梨・富士御室浅間神社	
108		武田信玄願文		一通	紙本墨書	縦27.0 横41.0	永祿13年(1570)	静岡・富士山本宮浅間大社	
109	○	小山田弥三郎信有判物		一通	紙本墨書	縦30.0 横37.0	天文23年(1554)	山梨・富士御室浅間神社	
三 富士講の時代									
110		御身拔	角行藤仏(東覚)筆	一幅	紙本墨書	縦52.0 横39.5	江戸時代初期(17世紀)	個人蔵	前期
111		御身拔	月田筆	一幅	紙本墨書	縦92.0 横32.0	延宝8年(1680)	個人蔵	後期
112		御身拔	月心筆	一幅	紙本墨書	縦93.5 横34.5	元禄6年(1693)	個人蔵	
113		御身拔	月行筆	一幅	紙本墨書	縦68.1 横27.2	享保元年(1716)	個人蔵	後期
114		御身拔	村上(藤原)光清筆	一幅	紙本墨書	縦48.8 横18.5	享保11年(1726)	個人蔵	前期
115		御身拔	村上(藤原)光清筆	一幅	紙本墨書	縦48.8 横18.5	享保14年(1729)	個人蔵	後期
116		一字不説之巻	食行身祿	一卷	紙本墨書	縦34.0 横675.0	江戸時代(18世紀)	静岡・富士山本宮浅間大社	
117		御先状及び包紙	食行身祿	一通	紙本墨書	縦18.0 横142.0	(享保18年(1733))	山梨・ふじさんミュージアム	
118		御厨子戸扉切		一点	木製	縦30.9 横19.0	享保18年(1733)	山梨・ふじさんミュージアム	
119		食行身祿坐像	慶山、宋女作	一軀	木造彩色玉眼	像高53.0	文化7年(1810)	山梨・ふじさんミュージアム	
導かれる者、導く者									
120		三尊九尊図(大木家資料)		一枚	木版墨摺	縦38.0 横27.5	江戸時代(18~19世紀)	山梨県立博物館	
121		富士山牛玉		一枚	木版墨摺	縦38.0 横28.0	江戸時代(17世紀)	山梨県立博物館	
122		富士山牛玉等貼交		一幅	紙本墨摺等	縦149.5 横55.5	江戸~近代(18~20世紀)か	山梨・西念寺	
123		『富士山道しるべ』		一冊	木版多色刷	縦11.4 横16.2	万延元年(1860)頃	山梨県立博物館	
124		『隔搔録』	江湖浪人月所	二冊	紙本着色	縦23.7 横16.3	文化13年(1816)	山梨県立博物館	
125		『富士山明細図』	小沢隼人寛信	一冊	紙本着色	縦27.0 横19.0	江戸時代末期(19世紀)	個人蔵	
126		三国第一富士山禪定図		一幅	木版墨摺	縦34.7 横56.2	江戸時代(18世紀)	小山町教育委員会	
127		富士山神宮并麓八海略絵図	藤原治俊画	一幅	紙本墨摺着色	縦33.8 横50.7	江戸時代(18世紀)	山梨県立博物館	
128		女神立像		一軀	木造彩色	像高17.5	江戸~明治時代(19世紀)	山梨・ふじさんミュージアム	
129		『富嶽百景』初編・二編	葛飾北斎画	全三冊のうち二冊	木版墨摺	各縦22.6 横15.6	天保5~6年(1834~35)	山梨県立博物館	初編のみ通期
130		富嶽三十六景 諸人登山	葛飾北斎画	全四六枚のうち一枚	木版多色刷	縦26.0 横38.8	天保元~4年(1830~33)頃	山梨県立博物館	
131		三国第一山之図	歌川貞秀画	三枚続	木版多色摺	縦37.7 横74.0	嘉永2年(1849)頃	神戸市立博物館	
132		三国第一山之図	歌川貞秀画	三枚続	木版多色摺	縦36.2 横74.3	嘉永2年(1849)頃	山梨県立博物館	
133		大日本富士山絶頂之図	歌川貞秀画	三枚続	木版多色摺	縦37.2 横77.1	安政4年(1857)	静岡県立美術館	前期
134		大日本富士山絶頂之図	歌川貞秀画	三枚続	木版多色摺	各縦36.1 横75.2	安政4年(1857)	山梨県立博物館	後期
135		富士山北口女人登山之図	歌川芳幾画	三枚続	木版多色摺	各縦36.0 横75.3	万延元年(1860)	静岡県立美術館	後期
136		富士山諸人参詣之図	二代歌川国輝画	三枚続	木版多色摺	縦35.5 横74.6	慶応元年(1865)	山梨県立博物館	前期
137		富士講行着(大木家資料)		一式	布製	大人用上衣身丈70.0 裾73.7 子供用上衣身丈72.5 裾49.0 御身入れ 袷袖部 長58.0 御身拔(袖) 長28.0	江戸~明治時代(18~19世紀)	山梨県立博物館	
138		安産守(大木家資料)		一式	紙製他	縦12.4 横6.8 厚0.5	江戸~明治時代(18~19世紀)	山梨県立博物館	
139		富士山御胎内御札(大木家資料)		一式	紙製他	縦14.0 横8.3 厚1.8	嘉永4年(1851)	山梨県立博物館	
140		鈴		二点	銅製	大 高20.0 径9.0 小 高18.0 径8.0	江戸時代	個人蔵	
141		田子浦富士図	横井金谷筆	一幅	絹本着色	縦49.3 横108.0	天保元年(1830)	個人蔵	
142		富士十二景図	池大雅筆	十一幅	絹本着色	各縦112.5 横35.1	江戸時代(18世紀)	東京藝術大学 兵庫・滴翠美術館	12.3月 前期 4.5,6,7月 後期11/11~11/21 8.10,11,12月 後期11/22~11/30

NO.	指定	名称	作者	員数	材質	法量	時代	所蔵者	山梨会場 展示期間 前期=10/24~11/9 後期=11/11~11/30
143		富岳図	池大雅筆	一幅	紙本墨画	縦124.0 横54.5	江戸時代(18世紀)	山梨県立博物館	後期
144		三岳紀行図屏風	池大雅・高芙蓉・韓天寿筆	八曲一隻	紙本墨画	各縦12.5	宝暦10年(1760)	京都国立博物館	前期
145		浅間山真景図	池大雅筆	一幅	紙本淡彩	縦57.8 横102.9	江戸時代(18世紀)	個人蔵	後期
146		富士川西岸望富嶽図	高芙蓉筆 牧野鉦野賛	一幅	紙本墨画	縦32.7 横51.8	江戸時代(18世紀後半)	個人蔵	後期
147		富嶽齋雪図	韓天寿筆	一幅	紙本墨画	縦86.1 横26.6	江戸時代(18世紀後半)	個人蔵	後期
148		富士登山図巻	杉谷行直筆	一卷	紙本着色	縦47.2 横1032.9	江戸時代(19世紀)	東京・永青文庫	
四 世界の中の富士山									
149		富士山・金山寺・育王山図	狩野探幽筆	三幅	絹本墨画淡彩	各縦104.8 横54.8	江戸時代(17世紀)	個人蔵	
150		富士真景図	方西園筆	一幅	絹本墨画	縦58.7 横85.9	江戸時代(18世紀後半)	個人蔵	前期
151		富士山図	ヤン・フレデリック・フェイルケ筆	一幅	紙本墨画	縦36.4 横48.4	江戸時代(19世紀)	個人蔵	
152		朝鮮通信使来朝図	羽川藤永筆	一幅	紙本着色	縦68.0 横91.8	江戸時代(18世紀)	個人蔵	
153		釜山浦富士図	狩野典信筆	一幅	紙本墨画淡彩	縦57.9 横92.8	江戸時代(18世紀)	大阪歴史博物館	
154		洋人富士山遠望図屏風	岡田半江筆	六曲一双	紙本墨画	各縦156.5 横349.0	江戸時代(19世紀前半)	個人蔵	
155		浦賀黒船来航図	浮田一恵筆	一幅	紙本墨画	縦27.0 横20.4	嘉永7年(1854)	個人蔵	
156	◎	日本図・世界図屏風		六曲一双	紙本金地着色	各縦148.5 横364.0	桃山時代(16世紀末~17世紀初頭)	福井・浄得寺	

※  は静岡展のみ出展。 ◎重要文化財 ○県指定 ◇市町村指定

【展示平面図】



②シンボル展

i 鵜飼—甲斐の川漁と鵜飼をめぐる伝説—

【会 期】平成27年5月30日(土)～7月6日(月)

会期日数38日間、展示日数33日

【主 催】山梨県立博物館

【会 場】企画展示室

【入場者数】3,210人

【担 当】学芸員 海老沼真治、丸尾依子

【概 要】

甲斐国における生業としての鵜飼をはじめとする川漁の歴史と、謡曲「鵜飼」など甲斐の鵜飼にまつわる伝説、そして現在も石和の地で受け継がれる鵜飼の文化を紹介した。地元笛吹市や鵜飼保存会とも連携し、地域振興にも資する企画とした。

【関連イベント】

■石和の鵜匠さんによる記念品プレゼント

・日 時 平成27年5月30日(土)14:00～

・会 場 シンボル展入口

・協 力 笛吹川石和鵜飼保存会

■講演会

・日 時 平成27年6月20日(土)13:30～16:00

・会 場 生涯学習室

・内容・講師「考古資料から読み解く鵜飼の始まり」賀来孝代氏((有)毛野考古学研究所)

「鵜飼山遠妙寺の歴史」長澤宏昌氏(鵜飼山遠妙寺住職)

■かいじあむ子ども工房「鳥のペーパークラフトを作ろう」

・日 時 平成27年6月13日(土)10:30～15:00

・会 場 ロビー

■古文書講座「鵜飼に関する古文書を読む」

・日 時 平成27年6月27日(土)13:30～15:00

・会 場 生涯学習室

■茶道体験

・日 時 平成27年6月28日(日)10:30～14:00

・会 場 ロビー

■鵜飼見学

・日 時 平成27年6月28日(日)13:30～

・会 場 エントランス前の池

・協 力 笛吹川石和鵜飼保存会

■ギャラリートーク

・日 時 平成27年5月31日(日)、6月7日(日)、
21日(日)、7月4日(土)15:00～

・会 場 シンボル展示室

■あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば

「紙芝居 うかいものがたり」

・日 時 平成27年5月31日(日)11:00～

・会 場 かいじあむ寺子屋(常設展示室)



展覧会ちらし

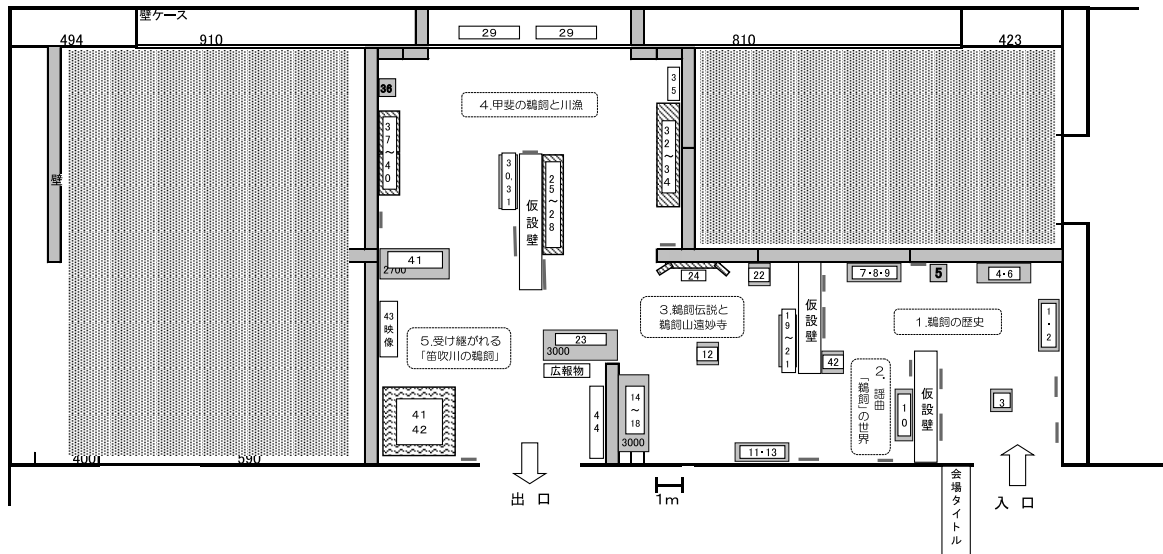


展示風景

【出品資料一覧】

No	展示資料名	員数	指定	年代	所蔵先
1. 鶯飼の歴史					
1	古事記 中巻	1冊		明治3年(1870)刊	個人
2	日本書紀 卷第十四	1冊		享和3年(1803)刊	個人
3	群馬県保渡田八幡塚古墳 鶯形埴輪(複製)	1点		古墳時代(5世紀)	かみつけの里博物館
4	続日本紀 卷第八・卷第十六	2冊		明暦3年(1659)刊	山梨県立博物館
5	甲府市外中代遺跡出土 暗文絵画土器	1点		平安時代(9世紀)	甲府市教育委員会
6	源氏物語 藤裏葉(「源氏物語湖月抄」のうち)	1冊	市	延宝元年(1673)刊	山梨県立博物館(大木家文書)
7	吾妻鏡 卷第十六	1冊		寛永3年(1626)刊	山梨県立博物館
8	甲陽軍鑑 卷一(武田信繁家訓)	1冊		江戸時代	山梨県立博物館(甲州文庫)
9	甲陽軍鑑 卷十二(岐阜の鶯飼)	1冊		江戸時代	山梨県立博物館(甲州文庫)
2. 謡曲「鶯飼」の世界					
10	「鶯飼」謡本	2冊			山梨県立博物館(甲州文庫・長谷川家文書)
3. 鶯飼伝説と鶯飼山遠妙寺					
11	石和鶯飼山遠妙寺略縁起	1点		江戸～大正時代	山梨県立博物館(甲州文庫)
12	七字の教石	1点		鎌倉時代カ	遠妙寺
13	日蓮上人石和河にて鶯飼の迷魂を濟度したまふ因(月岡芳年筆)	1点		明治18年(1885)	久遠寺
14	日蓮上人一代因会	6冊		安政5年(1858)	山梨県立博物館
15	日蓮上人一代記	3冊		江戸時代	山梨県立博物館(大木家文書)
16	日蓮聖人御法海	1冊		寛延4年(1751)	山梨県立博物館(甲州文庫)
17	甲斐之國鶯飼道場	1点		江戸時代	山梨県立博物館(甲州文庫)
18	日蓮大菩薩御一代因会	1点		大正7年(1918)	山梨県立博物館(甲州文庫)
19	和漢三才因会 卷第六十九	1冊		正徳3年(1713)	山梨県立博物館(大木家文書)
20	甲州噺	1冊		享保17年(1732)	山梨県立博物館(甲州文庫)
21	金草鞋 十二編 身延山道中之記	1冊		文政2年(1819)	山梨県立博物館(甲州文庫)
22	鶯飼天神像	1軀		鎌倉時代カ	遠妙寺
23	甲州道中分間延絵因(写本)	1点		江戸時代	山梨県立博物館
24	日重上人曼荼羅本尊	1点		天正18年(1590)	遠妙寺
25	江戸幕府奉行人連署状	1点		慶長8年(1603)	遠妙寺
26	身延日脱上人免許状	1点		貞享4年(1687)	遠妙寺
27	日塚上人免許状	1点		文久4年(1864)	遠妙寺
28	甲斐国寺記 卷第六十一 法華宗身延派寺記	1冊		慶応4年(1868)	山梨県立図書館(山梨県行政文書)
4. 甲斐の鶯飼と川漁					
29	甲州道中因屏風	1双	県	江戸時代	山梨県立博物館
30	甲斐名所寿古六	1点		江戸時代	山梨県立博物館(甲州文庫)
31	甲斐廻手振	1冊		大正5年(1916)写	山梨県立博物館(若尾資料)
32	裏見寒話 卷之三	1冊		江戸時代	山梨県立博物館
33	国府村明細帳	1冊		安政2年(1855)	山梨県庁 私学文書課
34	宮脇村者共国府村鶯遣い打擲不当の始末一件濟口証文	1点		文化13年(1816)	山梨県立博物館(甲州文庫)
35	韭崎宿名所名物品々(「韭崎町制六十年史」所収)	1点		文政9年(1826)作、明治22年(1889)写	山梨県立博物館
36	もじり	2点		昭和	山梨県立博物館
37	甲斐国志 卷之百二十三 産物製造部	1冊		江戸時代	山梨県立博物館(甲州文庫)
38	穴山信君朱印状	1点		天正8年(1580)	個人
39	下山村明細帳	1冊		文政2年(1828)	山梨県庁 私学文書課
40	もじり籠に付波高島村相手の訴状	1点		元文5年(1740)	山梨県立博物館(甲州文庫)
5. 受け継がれる「笛吹川の鶯飼」					
41	石和鶯飼の装束と道具類	1式		現代	笛吹市
42	ウミウ剥製	2点		現代	笛吹市
43	石和鶯飼の映像	1式		現代	笛吹市
44	過去の鶯飼イベントの広報物	1式		現代	笛吹市

【展示平面図】



ii 風景に想う―秋の日は絵画づくし―

【会 期】 平成27年9月16日(水)～10月12日(月・祝)
会期日数27日間、展示日数24日

【主 催】 山梨県立博物館

【会 場】 企画展示室

【入場者数】 3,666人

【担 当】 学芸員 松田美沙子、西願麻以

【概 要】

風景画とひとことで言っても、風情ある名所から壮麗な景観まで、その世界は多岐にわたる。本展では、当館で所蔵している風景画の中から秋の情景を描いたものを中心に、よりの作品を展示した。

【関連イベント】

■特設かいじあむ子ども工房「立体浮世絵を作ろう」

・日 時 平成27年9月23日(水・祝) 10:30～15:00

・会 場 ロビー

■かいじあむ子ども工房「浮世絵を摺ってみよう」

・日 時 平成27年10月10日(土) 10:00～11:30、13:00～14:30

・会 場 体験学習室

■ギャラリートーク

・日 時 平成27年9月20日(日)、10月3日(土)、
11日(日) 15:00～

・会 場 シンボル展示室

■茶道体験

・日 時 平成27年9月22日(火・祝) 10:30～15:00

・会 場 ロビー



展覧会ちらし

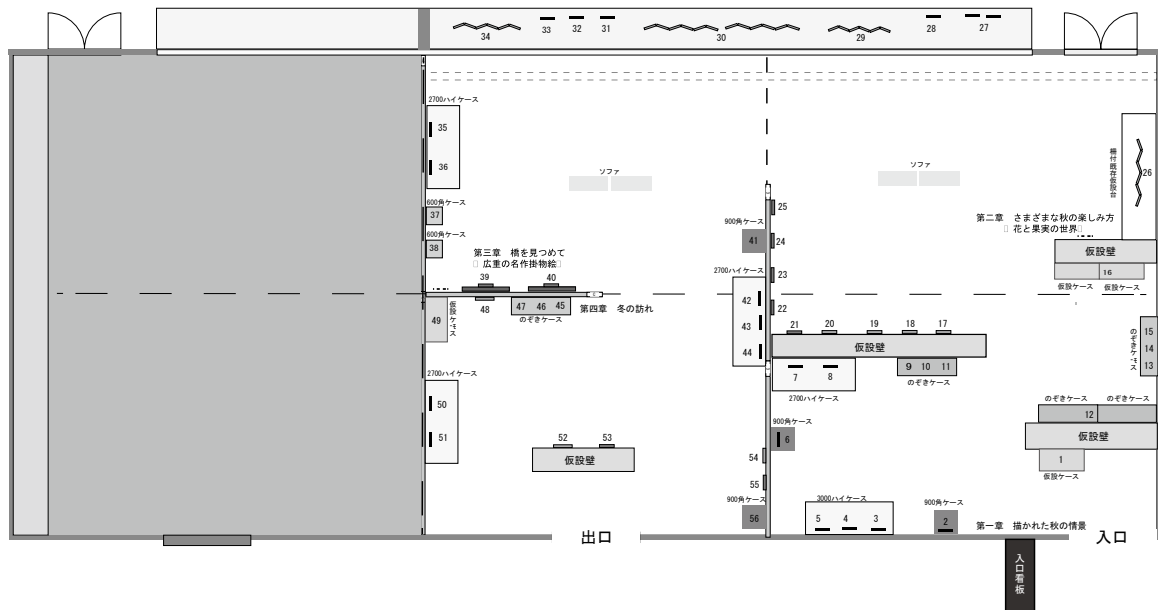


展示風景

【出品資料一覧】

No.	資料名	員数	作者	制作年代	材質・技法
1	六義園図絵巻	1巻	藤原芳尋【画】	宝暦9年(1759)	紙本着色
第一章 描かれた秋の情景					
2	高雄紅葉山水図	1幅	森寛斎【画】	近代	紙本着色
3	青緑秋山暁鴉	1幅	小室翠雲【画】	大正5年(1916)	絹本着色
4	秋景山水図	1幅	鈴木栄暁【画】	近代	絹本着色
5	山水図	1幅	高森碎巖【画】	近代	絹本着色
6	山水図	1幅	高井素山【筆】 大岡雲峰【画】	文化10年(1813)	紙本墨書・墨画
7	山水図	1幅	平野五岳【画】	近代	紙本墨画
8	煙谿瀑布図	1幅	日高鉄翁【画】	安政2年(1855)	紙本墨画
9	山王真形	1冊	大石周我【画】	文政5年(1822)	紙本多色刷
10	甲斐拾図記行	1冊		江戸時代後期	紙本墨摺
11	東都歳事記 秋四	1冊	斎藤月岑【編】長谷川雪旦【画】	天保9年(1838)	紙本墨摺
12	江戸名所図会 卷四・七・九・十二・十三・十四・十七・十八	8冊	斎藤月岑【編】長谷川雪旦【画】	天保5年～7年(1834～6)	紙本墨摺
13	甲斐か根百韻	1冊	上矢敲水【編】	安永9年(1780)	紙本墨摺
14	あきの七草 上巻	1冊	山口黒露【編】	宝暦12年(1762)	紙本墨摺
15	峡中風流人海	1冊		文政9年(1826)	紙本多色摺
16	唐詩選画本 続編七言絶句 一・二・三・四・五	5冊	北尾重政【画】	寛政5年(1793)	紙本墨摺
17	不二三十六景 甲斐大月原	1点	歌川広重【画】	嘉永5年(1852)	紙本多色摺
18	不二三十六景 甲斐犬目峠	1点	歌川広重【画】	嘉永5年(1852)	紙本多色摺
19	不二三十六景 下総鴻の臺	1点	歌川広重【画】	嘉永5年(1852)	紙本多色摺
20	不二三十六景 武蔵野	1点	歌川広重【画】	嘉永5年(1852)	紙本多色摺
21	富士三十六景 甲斐大月の原	1点	歌川広重【画】	安政5年～6年(1858～9)	紙本多色摺
22	富士三十六景 甲斐犬目峠	1点	歌川広重【画】	安政5年～6年(1858～9)	紙本多色摺
23	富士三十六景 鴻之臺とね川	1点	歌川広重【画】	安政5年～6年(1858～9)	紙本多色摺
24	富士三十六景 雑司かや不二見茶や	1点	歌川広重【画】	安政5年～6年(1858～9)	紙本多色摺
25	富士三十六景 東都日黒夕日か岡	1点	歌川広重【画】	安政5年～6年(1858～9)	紙本多色摺
第二章 ささまざまな秋の楽しみ方 ～花と果実の世界～					
26	撫子図屏風	6曲1隻		江戸時代前期	金地紙本着色
27	菊図	2幅	日高鉄翁【画】平野五岳【画】	万延元年(1860)	紙本墨画
28	白菊図	1幅	木村武山【画】	近代	紙本着色金泥
29	雑魚押絵貼屏風	6曲1隻	望月春江【画】他	明治38年(1905)	紙本着色・墨画・墨画淡彩
30	群鹿図屏風	6曲1双	竹邨三陽【画】	天保13年(1842)	紙本淡彩
31	葡萄図	1幅	天龍道人【画】	享和元年(1801)	紙本墨画
32	葡萄図	1幅	天龍道人【画】	享和元年(1801)	紙本墨画
33	葡萄図	1幅	天龍道人【画】	享和元年(1801)	紙本墨画
34	葡萄図屏風	6曲1隻	天龍道人【画】	文化2年(1805)	紙本墨画
35	菊花図	1幅	天龍道人【画】	江戸時代後期	紙本墨画
36	葡萄図	1幅	天龍道人【画】	江戸時代後期	紙本墨画
37	大日本物産図会 甲斐国白柿製之図	1点	三代歌川広重【画】	明治10年(1877)	紙本多色摺
38	大日本物産図会 甲斐国葡萄培養図	1点	三代歌川広重【画】	明治10年(1877)	紙本多色摺
第三章 橋を見つめて ～広重の名作掛物絵～					
39	甲陽猿橋之図	1点	歌川広重【画】	江戸時代後期	紙本多色摺
40	富士川雪景図	1点	歌川広重【画】	江戸時代後期	紙本多色摺
41	六十余州名所図会 甲斐 さるはし	1点	歌川広重【画】	嘉永6年(1853)	紙本多色摺
42	月下帰漁図	1幅	山田敬中【画】	近代	紙本淡彩
43	美人図	1幅	中丸精十郎【画】	明治2年(1869)	絹本着色
44	山水図	1幅	伊東深江【画】	近代	絹本墨画
第四章 冬の訪れ					
45	東都歳事記 冬五	1冊	斎藤月岑【編】長谷川雪旦【画】	天保9年(1838)	紙本墨摺
46	名所発句集 三編	1冊	歌川広重【画】	嘉永3年(1850)	紙本多色摺
47	富士見百図	1冊	歌川広重【画】	安政4年(1857)	紙本多色摺
48	不二三十六景 東海道大森縄手	1点	歌川広重【画】	嘉永5年(1852)	紙本多色摺
49	江戸名所図会 卷八・十五	2冊	斎藤月岑【編】長谷川雪旦【画】	天保5年～7年(1834～6)	紙本墨摺
50	寒江帰鴉図	1幅	三浦梧門【画】	安政4年(1857)	絹本墨画
51	山水図	1幅	平野五岳【画】	明治16年(1883)	紙本墨画
52	富嶽三十六景 礪川雪ノ且	1点	葛飾北斎【画】	天保元年～4年(1830～3)	紙本多色摺
53	富士三十六景 東都数寄屋河岸	1点	歌川広重【画】	安政5年～6年(1858～9)	紙本多色摺
54	不二三十六景 東都山下町河岸	1点	歌川広重【画】	嘉永5年(1852)	紙本多色摺
55	富士三十六景 東都駿河町	1点	歌川広重【画】	安政5年～6年(1858～9)	紙本多色摺
56	江戸名所図会 卷一	1冊	斎藤月岑【編】長谷川雪旦【画】	天保5年～7年(1834～6)	紙本墨摺

【展示平面図】



iii 天の虫のおきみやげ—山梨の養蚕信仰—

【会 期】 平成 27 年 12 月 16 日（水）～平成 28 年 2 月 29 日（月）
会期日数 76 日間、展示日数 65 日

【主 催】 山梨県立博物館

【会 場】 企画展示室

【入場者数】 4,481 人

【担 当】 学芸員 丸尾依子、小畑茂雄

【概 要】

山梨はかつて全国有数の養蚕地帯であった。生き物相手の養蚕業は、思い通り行かないこともあったが、人々は蚕を「おほこさん」「おかいこさま」などと呼んで大切に育ててきた。養蚕業を中心にまわるくらしは、お祭りや信仰、住生活など、生活文化にも大きく影響した。その一部は、養蚕業がほとんど行われなくなった現代にもなお受け継がれている。本展では、山梨の生活文化の中にちりばめられた養蚕文化の中から、特に信仰にまつわる事象に注目してご紹介した。

【関連イベント】

■ギャラリートーク

・日 時 平成 28 年 1 月 3 日（日）、23 日（土）、2 月 14 日（日）、27 日（土） 15:00～

・会 場 シンボル展示室

■古文書講座「養蚕に関する古文書を読む」

・日 時 平成 28 年 2 月 27 日（土）13:30～15:00

・会 場 生涯学習室

■かいじあむ子ども工房「まゆ玉クラフト体験」

・日 時 平成 28 年 2 月 13 日（土）10:30～15:00

・会 場 ロビー



観覧会ちらし

■かいじあむ検定「天の虫のおきみやげ」ゆかりの地ツアー

- ・日 時 平成28年1月24日（日）第1部 10:00～ 第2部 14:00～
- ・会 場 第1部 企画展示室 第2部 中央市豊富郷土資料館

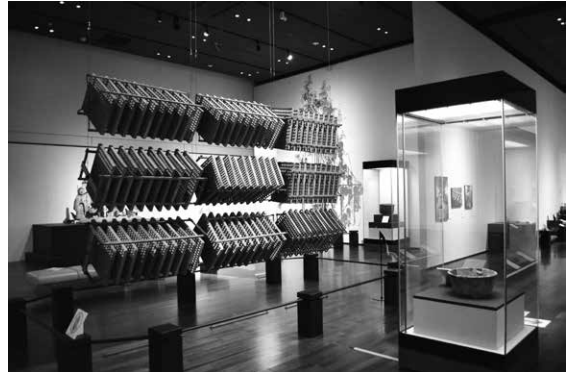
■「天の虫のおきみやげ」ミニ展示

- ・日 時 平成28年1月13日（水）～28日（木）
- ・会 場 甲府市立図書館

■あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば

「おかいこさんのはなし」・「【紙芝居】野麦峠をこえて」

- ・日 時 平成28年1月10日（日）・2月7日（日）11:00～
- ・会 場 かいじあむ寺子屋（常設展示室）

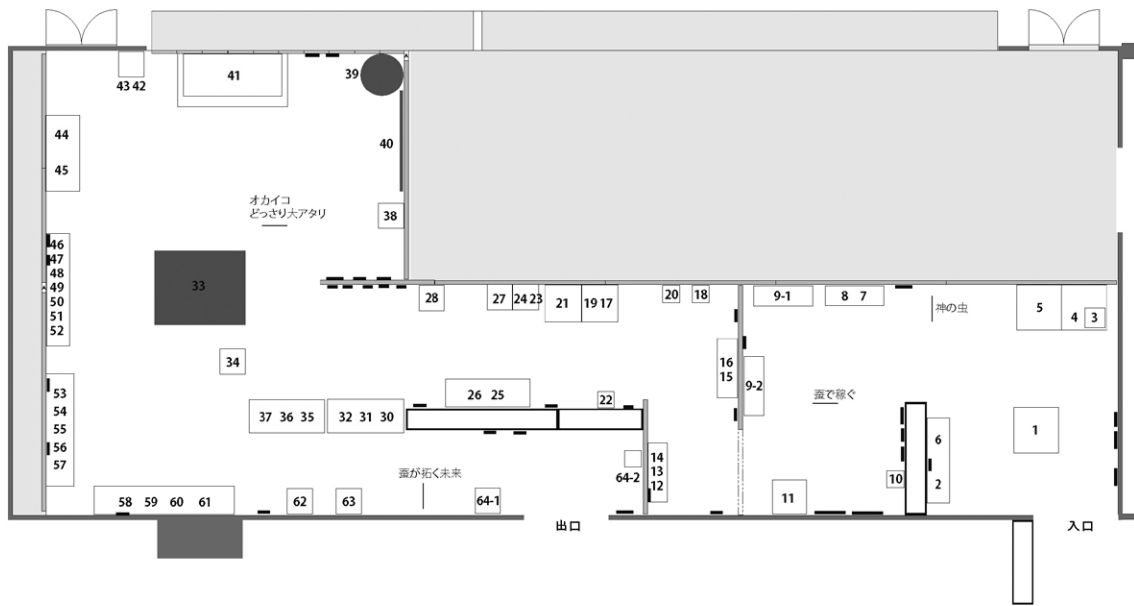


展示風景

【出品資料一覧】

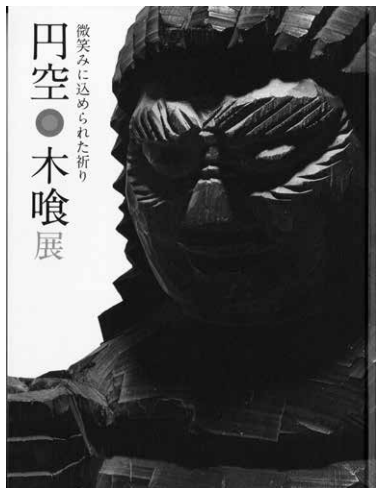
番号	名称	数量	所蔵者	期間	年代	資料番号
1	蚕棚模型	1	東京農工大学科学博物館	通		
2	蚕の一生模型	1	生物資源研究所	通	昭和	
3	生糸	1	山梨県立博物館	通	昭和	
4	繭	2600	山梨県立博物館	通	平成	
5	甲斐絹の白無垢	1	山梨県立博物館	通	昭和	
6	様々な繭(日本在来種、日本改良種、中国・欧州在来種)	1	生物資源研究所	通	平成	
第1章 神の虫						
7	養蚕秘録	1	生物資源研究所	通		
8	和漢三才図会(大木家資料)	1	山梨県立博物館	通	1884(明治17)	歴-2005-051-006743
9	職人尽歌合	1	山梨県立博物館	通	1826(文政9)	歴-2005-000-000031
第2章 カイコを養い、カイコで稼ぐ一労働としての養蚕―						
10	絵本宝能織(甲州文庫)	1	山梨県立博物館	通	1786(天明6)	歴-2005-003-005576
11	養蚕手前の菜	1	東京農工大学科学博物館	通		
12	養蚕日誌	1	山梨県立博物館	通	明治～	未定
13	蚕養秘録	1	山梨県立博物館	通	1837(天保8)	歴-2005-003-005573
14	蚕養育伝書	1	山梨県立博物館	通		歴-2005-003-005575
15	掃き立て用の羽	1	中央市豊富郷土資料館	通	昭和	
16	蚕種(甲州文庫)	1	山梨県立博物館	通	不明	歴-2005-003-0023457
17	桑摘籠(小林コレクション)	1	山梨県立博物館	通	昭和	
18	桑摘爪(和田家資料)	1	山梨県立博物館	通	昭和	
19	桑扱機(和田家資料)	1	山梨県立博物館	通	昭和	
20	桑切包丁(小林コレクション)	1	山梨県立博物館	通	昭和	
21	桑切機(小林コレクション)	1	山梨県立博物館	通	昭和	
22	養蚕毒殺妨害書(林貞夫氏旧蔵資料)	1	山梨県立博物館	通	1898(明治31)	歴-2005-062-000491
	内田宏撮影写真(木製パネル)	1	山梨県立博物館	通	1966(昭和41)	
23	網(小林コレクション)	1	山梨県立博物館	通	昭和	
24	網(県教委収集資料)	1	山梨県立博物館	通	昭和	
25	給桑台(小林コレクション)	1	山梨県立博物館	通	昭和	
26	丸型飼育籠	1	中央市豊富郷土資料館	通	不明	
27	飼育籠(県教委保管資料)	1	山梨県立博物館	通	昭和	
28	カルトン(小林コレクション)	1	山梨県立博物館	通	昭和	
	内田宏撮影写真(木製パネル)	1	山梨県立博物館	通	1970(昭和45)	
30	まぶし織り機(樋口家資料)	1	山梨県立博物館	通	昭和	
31	薬まぶし(県教委保管資料)	1	山梨県立博物館	通	昭和	
32	改良まぶし(県教委保管資料)	1	山梨県立博物館	通	昭和	
33	回転まぶし	1	山梨県立博物館	通	昭和	
	内田宏撮影写真(木製パネル)	1	山梨県立博物館	通	1966(昭和41)	
	内田宏撮影写真(木製パネル)	1	山梨県立博物館	通	1970(昭和45)	
	内田宏撮影写真(木製パネル)	1	山梨県立博物館	通	1957(昭和32)	
34	繭収穫籠(県教委保管資料)	1	山梨県立博物館	通	昭和	
35	繭掻き機(小林コレクション)	1	山梨県立博物館	通	昭和	
	内田宏撮影写真(木製パネル)	1	山梨県立博物館	通	1956(昭和31)	
36	毛羽取り機(小林コレクション)	1	山梨県立博物館	通	昭和	
37	ゆたん(鶴田家資料)	1	山梨県立博物館	通	昭和	
第3章 オカイコどっさり大アタリ―山梨の養蚕信仰―						
38	養蚕のザル(春日居町熊野堂下組)	1	山梨県立博物館	通	昭和	
39	マユダマダゴ(再現品)	1	山梨県立博物館	通		
40	オドンド(春日居町熊野堂下組)	1	山梨県立博物館	通		
41	馬鳴菩薩像	1	長谷寺	通	江戸時代	
42	種紙袋(県教委保管資料)	1	山梨県立博物館	通	昭和	
43	「馬」の桑爪(和田家資料)	1	山梨県立博物館	通	昭和	
44	紙帳幕	1	中央市豊富郷土資料館	通	昭和	
45	紙帳幕版木	1	身延町歴史民俗資料館	通		
46	鼠除の護符	1	中央市豊富郷土資料館	通		
47	金桜神社蚕倍盛鼠退散の札(関本家文書)	1	山梨県立博物館	通		歴-2005-049-001579
48	お猫さんの御札	1	山梨県立博物館	通	現代	
49	蚕やしなひの図	1	東京農工大学科学博物館	1期	明治	12月16日～1月9日
50	養蚕之全図 第三	1	東京農工大学科学博物館	2期	明治	1月10日～1月29日
51	養蚕之全図 第四	1	東京農工大学科学博物館	3期	明治	1月30日～2月13日
52	無題	1	東京農工大学科学博物館	4期	明治	2月14日～2月29日
	内田宏撮影写真(木製パネル)	1	山梨県立博物館	通	1966(昭和41)	
53	蚕室神鎮座方位表(逸見家資料)	1	山梨県立博物館	通	明治	歴-2005-045-000573
54	丙甲年27歳男当運気並月次吉凶断及び蚕吉凶判断(篠原家文書)	1	山梨県立博物館	通		歴-2005-029-002767
55	北辰妙見大菩薩戸外の札	1	山梨県立博物館	通		歴-2005-049-001580
56	蚕守護版木	1	上野原市個人	通		
57	養蚕守護掛軸(成島家文書)	1	山梨県立博物館	通		歴-2005-041-000284
58	山神社の御札	1	中央市豊富郷土資料館	通	現代	
59	山梨県内養蚕神札	13	東京農工大学科学博物館	通	昭和	
60	蚕糸施功霊神生祠写真(篠原家文書)	1	山梨県立博物館	通	1885(明治18)	歴-2005-029-003909
61	筒粥神事占表	1	山梨県立博物館	通	現代	
62	繭形の装飾のある養蚕ストーブ	1	中央市豊富郷土資料館	通	現代	
63	「大當」の刻印があるストーブ	1	中央市豊富郷土資料館	通	現代	
おわりに						
64	蛍光繭(自然光用、蛍光用、ハート、LOVE)、蛍光糸	1	生物資源研究所	通	現代	

【展示平面図】



(3) 展覧会関係刊行物

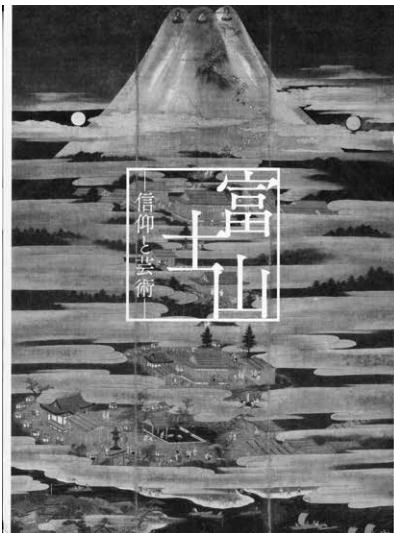
	名 称	発行年月日	体 裁
1	「微笑みに込められた祈り 円空・木喰展」展示図録	平成27年2月	A4版 264頁(発行 アートワン)
2	シンボル展「鶺鴒—甲斐の川漁と鶺鴒をめぐる伝説—」パンフレット	平成27年5月30日	A4版 4頁
3	特別展「富士山—信仰と芸術—」展示図録	平成27年9月4日	A4版 230頁
4	シンボル展「天の虫のおきみやげ—山梨の養蚕信仰—」パンフレット	平成27年12月16日	A4版 4頁



1



2



3



4

(4) 開館 10 周年記念事業

平成 27 年度で開館 10 周年を迎えるにあたり、「微笑みに込められた祈り 円空・木喰展」、「大化石展～山梨に恐竜はいたか!?～」、「富士山 ー信仰と芸術ー」および平成 28 年度にまたいで開催した「武田二十四将ー信玄を支えた家臣たちの姿ー」は、開館 10 周年記念特別展として開催し、平成 27 年 10 月 23 日(金)には「富士山」展のオープニング式典とともに開館 10 周年記念式典を開催した。また、常設展示内に開館以来 10 年間の企画展のポスターや、県立博物館のあゆみや社会の出来事を振り返った年譜パネルなどを展示した。

YAMANASHI PREFECTURAL MUSEUM



開館 10 周年記念ロゴ



開館 10 周年記念式典の様子



開館以来 10 年間の
企画展ポスターや年譜パネルの展示

第5章 企画交流事業

(1) 生涯学習サービス事業

① 講演会・講座・シンポジウム等

■ 講演会

開催年月日	講演者	タイトル	開催場所	参加者(人)
平成27年4月5日(日)	柴辻俊六氏(前日本大学大学院講師)	「『甲陽軍鑑』と武田信玄」	恩賜林記念館	60
4月19日(日)	小島梯次氏(展示監修、円空学会理事長、 全国木喰研究会評議委員)	「微笑みに込められた祈り・円空仏・木喰仏」	県立博物館	116
6月20日(土)	賀来孝代氏(毛野考古学研究所) 長澤宏昌氏(鶴岡山遠妙寺住職)	「考古資料から読み解く鶴岡の始まり・甲府市外中代遺跡の土器」 「鶴岡山遠妙寺の歴史」	県立博物館	53
11月8日(日)	泉 万里氏(静岡県立美術館学芸部長)	「重要文化財<富士参詣曼荼羅図>(富士山本宮浅間大社)の表現力」	県立博物館	76
11月21日(土)	西岡芳文氏(神奈川県立金沢文庫学芸課長)	「富士縁起の謎をさぐる」	県立博物館	44
平成28年2月14日(日)	藤巻愛子氏(山梨むかしがたりの会代表)	「甲州弁むかし話」・「50年前の重郎原遺跡の記憶」	県立博物館	43

■ 講座

開催年月日	講演者	タイトル	開催場所	参加者(人)
平成27年 5月17日(日)	平川 南(当館館長)	「館長トーク 古代社会の実像を探る 1」	県立博物館	55
7月19日(日)	平川 南(当館館長)	「館長トーク 古代社会の実像を探る 2」	県立博物館	39
9月13日(日)	平川 南(当館館長)	「館長トーク 古代社会の実像を探る 3」	県立博物館	46
11月15日(日)	平川 南(当館館長)	「館長トーク 古代社会の実像を探る 4」	県立博物館	35
平成28年1月24日(日)	平川 南(当館館長)	「館長トーク 古代社会の実像を探る 5」	県立博物館	36
3月20日(日)	平川 南(当館館長)	「館長トーク 古代社会の実像を探る 6」	県立博物館	38
平成27年 4月25日(土)	宮澤富美恵(当館嘱託職員)	「かいじあむ古文書講座 古文書に親しむ 1」	県立博物館	58
5月23日(土)	小畑茂雄(当館学芸員)	「かいじあむ古文書講座 古文書に親しむ 2」	県立博物館	54
6月27日(土)	海老沼真治(当館学芸員)	「かいじあむ古文書講座 鶴岡に関する古文書を読む」	県立博物館	59
7月25日(土)	小畑茂雄(当館学芸員)	「かいじあむ古文書講座 近代人物に関する古文書を読む」	県立博物館	41
8月22日(土)	中野賢治(当館学芸員)	「かいじあむ古文書講座 ちょっと難しい古文書にチャレンジ」	県立博物館	33
10月31日(土)	中野賢治(当館学芸員)	「かいじあむ古文書講座 富士山に関する古文書を読む 1」	県立博物館	48
11月28日(土)	海老沼真治(当館学芸員)	「かいじあむ古文書講座 富士山に関する古文書を読む 2」	県立博物館	50
平成28年 1月23日(土)	宮澤富美恵(当館嘱託職員)	「かいじあむ古文書講座 申年に関する古文書を読む」	県立博物館	33
2月27日(土)	小畑茂雄(当館学芸員)	「かいじあむ古文書講座 養蚕に関する古文書を読む」	県立博物館	54
平成27年 4月25日(土)	-	「古文書相談日 1」	県立博物館	1
5月23日(土)	-	「古文書相談日 2」	県立博物館	4
6月27日(土)	-	「古文書相談日 3」	県立博物館	6
7月25日(土)	-	「古文書相談日 4」	県立博物館	2
8月22日(土)	-	「古文書相談日 5」	県立博物館	3
10月31日(土)	-	「古文書相談日 6」	県立博物館	5
11月28日(土)	-	「古文書相談日 7」	県立博物館	6
平成28年 1月23日(土)	-	「古文書相談日 8」	県立博物館	6
2月27日(土)	-	「古文書相談日 9」	県立博物館	5

■シンポジウム

日 時	内 容	開催場所	参加者(人)
平成28年2月20日(土)	主催:山梨県富士山世界文化遺産保存活用推進協議会・山梨県富士山総合学術調査研究委員会・山梨県立博物館 共催:山梨日日新聞社・山梨放送 『富士山を語る ～富士山調査の成果とこれから～』 第1部 「富士山総合学術調査研究成果報告」 報告1 堀内 眞氏(山梨県立博物館) 「巡礼路をさぐる」 報告2 堀内 亨氏(山梨県立ひばりが丘高校教諭) 「御中道と信仰」 報告3 松田香代子氏(愛知大学非常勤講師) 「山小屋の民俗」 第2部 パネルディスカッション「富士山のこれからを語る」 藤井敏嗣氏(山梨県富士山科学研究所長) 新津 健氏(元山梨県埋蔵文化財センター所長) 平川 南氏(山梨県立博物館長) コーディネーター 依田智子(山梨放送アナウンサー)	山梨県総合教育センター大研修室	200

■山梨学講座 (山梨県生涯学習推進センターと共催)・かいじあむ講座

◎山梨学講座

開催年月日	講演者	タイトル	開催場所	参加者(人)
平成27年9月28日(月)	松田美沙子(当館学芸員)	「風景画の歴史をたどる ～日本風景の変遷～」	生涯学習推進センター	53
11月 6日(金)	近藤暁子(当館学芸員)	「富士信仰にまつわる彫像について」	生涯学習推進センター	35
講演会・講座・シンポジウム等参加者数合計				1,309

◎かいじあむ講座

開催なし。

②体験プログラム

日 時	内 容	開催場所	参加者(人)
平成27年 4月18日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	7
5月16日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	7
6月20日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	8
7月18日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	12
8月15日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	5
9月19日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	6
10月17日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	7
11月21日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	13
12月19日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	12
平成28年 1月16日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	12
2月20日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	13
3月19日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	17
平成27年 4月11日(土)	かいじあむ子ども工房「木喰さんを描いてみよう」	県立博物館	28
5月 9日(土)	かいじあむ子ども工房「木工工作に挑戦しよう」	県立博物館	20
6月13日(土)	かいじあむ子ども工房「鳥のペーパークラフトを作ろう」	県立博物館	21
7月11日(土)	かいじあむ子ども工房「折り紙で鳥を作ろう」	県立博物館	38
8月 8日(土)	かいじあむ子ども工房「化石レプリカを作ろう」	県立博物館	300
9月12日(土)	かいじあむ子ども工房「恐竜のペーパークラフトを作ろう」	県立博物館	23
9月23日(水・祝)	特設かいじあむ子ども工房「立体浮世絵を作ろう」	県立博物館	40
10月10日(土)	かいじあむ子ども工房「浮世絵を摺って見よう」	県立博物館	30
11月14日(土)	かいじあむ子ども工房「ころ柿を作ろう」	県立博物館	90
平成28年 1月9日(土)	かいじあむ子ども工房「甲州弁かるた大会」	県立博物館	35
2月13日(土)	かいじあむ子ども工房「まゆ玉クラフト体験」	県立博物館	80
3月12日(土)	かいじあむ子ども工房「けん玉名人に挑戦!」	県立博物館	20
3月26日(土)	特設かいじあむ子ども工房「鎧を着て、戦国武将になろう」	県立博物館	38

平成27年 5月4日(月・祝)	かいじあむ子ども祭り(鎧・十二単衣・弓矢・缶バッジ)	県立博物館	195
5月5日(火・祝)	かいじあむ子ども祭り(鎧・十二単衣・弓矢・缶バッジ・草餅)	県立博物館	311
6月28日(日)	鶴飼見学	県立博物館	200
6月28日(日)	茶道体験(明水会)	県立博物館	180
7月25日(日)	大化石展「ワークショップA:やってみよう化石体験発掘」	県立博物館	80
8月1日(土)	大化石展「ナイトミュージアム」	県立博物館	40
8月1日(土)	大化石展「ワークショップB:ティラノサウルス頭部を復元しよう」	県立博物館	40
8月1日(土)	大化石展「ワークショップC:シールで恐竜の骨格を復元しよう」	県立博物館	40
8月12日(木)	大化石展「ワークショップA:やってみよう化石体験発掘」	県立博物館	80
8月14日(金)	「かいじあむの夏祭り」	県立博物館	730
8月15日(土)	「かいじあむの夏祭り」	県立博物館	625
8月16日(日)	大化石展「ナイトミュージアム」	県立博物館	31
8月22日(土)	大化石展「ナイトミュージアムⅡ」	県立博物館	200
8月23日(日)	大化石展「ワークショップB:ティラノサウルス頭部を復元しよう」	県立博物館	40
8月23日(日)	大化石展「ワークショップC:シールで恐竜の骨格を復元しよう」	県立博物館	40
9月22日(火・祝)	茶道体験(明水会)	県立博物館	160
9月23日(水・祝)	特設かいじあむ子ども工房「立体浮世絵を作ろう」	県立博物館	40
10月31日(土)	クオカードイベント協力「立体浮世絵を作ろう」	山交百貨店	50
11月3日(火・祝)	民俗芸能公演「河口の稚児の舞」	県立博物館	150
11月20日(金)	かいじあむの秋祭り(鎧・十二単・収穫祭・紙芝居・ウォークラリー)	県立博物館	638
平成28年 1月2日(土)	かいじあむのお正月(おみくじ・福引き・書き初め・凧作り)	県立博物館	248
1月3日(金)	かいじあむのお正月(おみくじ・福引き・書き初め・凧作り・餅つき)	県立博物館	673
体験プログラム参加者数合計			5,673

③その他

展示交流員が毎週土曜日に常設展示の見どころを案内する「常設展スルーガイド」や、企画展・シンボル展の開催期間中には「ガイドツアー」、毎週日曜日に体験型展示を案内する「あそぼう！まなぼう！寺子屋広場」を定期的を実施した。

(2) 博学連携

①かいじあむティーチャーズクラブ

i 会員の状況

学校の先生方にティーチャーズクラブを知ってもらうために、各種研究会・研修会に赴き加入依頼を行った。前年度実績3,023名からさらに増加した。また、平成27年度教職員による視察件数は1,244件である。(平成28年3月末日現在)

ii 会員数

校種	会員数(人)
小学校	1,231
中学校	577
高等学校	1,104
教育庁	111
総合教育センター	74
市町村他	25
総計	3,122

iii 活動実績

- ・平成27年6月18日(木) 第1回研究会 実践研究の進め方の提案等
- ・ 8月19日(水) 夏季研修会 博物館研修(見学など)
- ・平成28年3月10日(木) 第2回研究会 実践発表
- ・ 3月25日(金) 『博物館活用事例集⑫』発行

②授業の一環としての博物館利用

	来館日	学校名	人数(人)	
			児童・生徒	引率
1	4月10日(金)	公立大学法人山梨県立大学	100	30
2	4月15日(水)	星槎国際高等学校 山梨校	25	3
3	4月16日(木)	鯉沢中学校(班)	12	0
4	4月17日(金)	中富中学校(班)	4	0
5	4月17日(金)	六郷中学校	17	4
6	4月17日(金)	玉幡中学校	23	2
7	4月22日(水)	星槎国際高等学校 山梨校	25	2
8	4月23日(木)	甲斐清和高等学校	36	2
9	4月30日(木)	久那土中学校(班)	3	2
10	5月8日(金)	玉穂南小学校	28	3
11	5月8日(金)	竜王北中学校(班)	13	1
12	5月8日(金)	竜王中学校(班)	11	1
13	5月9日(土)	竜王中学校	144	10
14	5月13日(水)	小立小学校	57	4
15	5月13日(水)	須玉中学校	5	1
16	5月13日(水)	勝山小学校	30	2
17	5月13日(水)	富士豊茂小学校	9	2
18	5月13日(水)	田富中学校(班)	4	0
19	5月13日(水)	斐崎西中学校(班)	16	1
20	5月14日(木)	玉穂中学校(班)	3	0
21	5月14日(木)	斐崎東中学校	12	1
22	5月14日(木)	春日居中学校	76	6
23	5月15日(金)	河口湖北中学校	61	8
24	5月15日(金)	宝小学校	27	4
25	5月15日(金)	双葉中学校	35	2
26	5月15日(金)	押原中学校(班)	7	0
27	5月15日(金)	小淵沢中学校	47	6
28	5月16日(土)	双葉中学校(班)	15	0
29	5月21日(木)	秋山中学校	13	3
30	5月21日(木)	下山小学校	8	2
31	5月22日(金)	敷島中学校	24	1
32	5月22日(金)	甲府城西高等学校	105	9
33	5月23日(土)	都留第二中学校	146	10
34	5月23日(土)	山梨大学(大学コンソーシアム)	39	3
35	5月28日(木)	大月東中学校	96	8
36	6月4日(木)	芦安中学校(班)	2	0
37	6月5日(金)	白州中学校	27	5
38	6月5日(金)	田道小学校	42	8
39	6月10日(水)	笛吹高等学校	290	10
40	6月15日(月)	小平第十小学校	80	7
41	6月15日(月)	河口湖南中学校	36	2
42	6月17日(水)	目黒中央中学校	151	21
43	6月17日(水)	第十一中学校	81	10
44	6月17日(水)	西桂中学校	4	0
45	6月19日(金)	原小学校	7	2
46	6月19日(金)	山梨大学教育人間科学部附属中学校	15	1
47	6月21日(日)	大島中学校	128	18
48	6月26日(金)	わかば支援学校	8	4
49	7月3日(金)	尾久八幡中学校特別支援学校	30	10
50	7月4日(土)	健康科学大学(大学コンソーシアム)	48	2
51	7月10日(金)	やまびこ支援学校	22	17
52	7月16日(木)	丹波山中学校	2	4
53	7月22日(水)	宝仙学園中学校 理数インター	120	10
54	7月27日(月)	山梨学院小学校	40	2
55	7月28日(火)	山梨学院小学校	40	2
56	7月30日(木)	山梨学院小学校	40	2

	来館日	学校名	人数(人)	
			児童・生徒	引率
57	8月26日(水)	御坂西小学校	83	4
58	9月2日(水)	石田小学校	66	4
59	9月2日(水)	伊勢小学校	52	4
60	9月4日(金)	貢川小学校	72	5
61	9月14日(月)	北新小学校	22	2
62	9月17日(木)	かえで支援学校	25	9
63	9月18日(金)	山中小学校	38	3
64	9月25日(金)	西浜小学校	13	3
65	9月25日(金)	鳴沢小学校	25	3
66	9月26日(土)	花小金井南中学校	18	5
67	9月30日(水)	里垣小学校	41	3
68	10月2日(金)	玉諸小学校	100	5
69	10月5日(月)	星槎国際高等学校	25	3
70	10月7日(水)	大里小学校	123	7
71	10月7日(水)	吉田小学校	104	6
72	10月7日(水)	下吉田第一小学校	36	4
73	10月8日(木)	八田小学校	70	5
74	10月8日(木)	島田小学校	9	3
75	10月9日(金)	市川小学校	75	5
76	10月9日(金)	強瀬小学校	8	2
77	10月9日(金)	富士小学校	38	4
78	10月9日(金)	新紺屋小学校	29	4
79	10月9日(金)	明見小学校	68	5
80	10月14日(水)	湯田小学校	33	3
81	10月15日(木)	相川小学校	75	6
82	10月15日(木)	池田小学校	89	5
83	10月15日(木)	斐崎北東小学校	85	5
84	10月16日(金)	敷島北小学校	40	4
85	10月16日(金)	朝日小学校	38	3
86	10月16日(金)	増穂小学校	102	5
87	10月16日(金)	山城小学校	162	8
88	10月21日(水)	山城小学校	201	8
89	10月21日(水)	朝日小学校	2	2
90	10月22日(木)	田富北小学校	49	3
91	10月22日(木)	双葉東小学校	116	6
92	10月22日(木)	明野中学校	37	3
93	10月23日(金)	下山小学校	7	2
94	10月26日(月)	駿台甲府小学校	75	5
95	10月30日(金)	竜王西小学校	63	3
96	11月2日(月)	日川小学校	31	2
97	11月5日(木)	西条小学校	78	5
98	11月11日(水)	南湖小学校	40	3
99	11月11日(水)	山梨高等学校	190	12
100	11月12日(木)	大河内小学校	12	2
101	11月16日(月)	日川小学校	35	2
102	11月18日(水)	大月東小学校	46	4
103	11月19日(木)	竜王南小学校	61	6
104	11月26日(木)	高根西小学校	35	2
105	12月5日(土)	都留文科大学(コンソーシアム)	104	2
106	12月10日(木)	上野小学校	33	2
107	12月17日(木)	須玉小学校	41	4
108	2月22日(月)	境川小学校	40	2
109	2月26日(金)	鯉沢小学校	19	2
110	3月14日(月)	御坂西小学校	116	5
111	3月18日(金)	巨摩高等学校定時制	26	5
112	3月23日(水)	一宮西小学校	46	4
小計			5756	503
総計			6259	

③出前授業

■出前授業実施一覧

	実施日	主催	会場	内容	担当職員	人数
1	平成27年4月26日(日)	甲州市立大和小学校	甲州市立大和小学校	武田家について	海老沼真治	52
2	平成27年4月30日(木)	都留市立禾生第一小学校	都留市立禾生第一小学校	修学旅行事前学習(鎌倉)	天野研	46
3	平成27年5月11日(月)	富士吉田市立吉田小学校	富士吉田市立吉田小学校	修学旅行事前学習(鎌倉)	天野研・岡田直也	91
4	平成27年5月13日(水)	ことぶき勸学院中北	山梨県立博物館	描かれた富士山～絵画でたどる富士の姿～	松田美沙子	44
5	平成27年6月3日(水)	山梨県立笛吹高等学校	山梨県立笛吹高等学校	山梨県立博物館概要	天野研・岡田直也	290
6	平成27年6月24日(水)	山梨県立富士見支援学校	山梨県立富士見支援学校	富士山世界遺産について	天野研	6
7	平成27年6月29日(月)	南アルプス市立南湖小学校	南アルプス市立南湖小学校	信玄堤	天野研	38
8	平成27年7月2日(木)	玉穂南小学校	玉穂南小学校	甲府空襲・大月空襲	天野研・岡田直也	56
9	平成27年7月3日(金)	増穂小学校	増穂小学校	富士川舟運	天野研	100
10	平成27年7月24日(金)	ことぶき勸学院・峡南教室	山梨県立博物館	化石について	植月学	22
11	平成27年8月1日(土)	教職員組合東山梨支部(甲州班)	甲州市勝沼市民会館	甲府空襲・大月空襲(平和について)	天野研・岡田直也	120
12	平成27年9月3日(水)	玉穂南小学校	玉穂南小学校	修学旅行(鎌倉)	天野研	56
13	平成27年9月7日(月)	竜王西小学校	竜王西小学校	信玄堤	天野研・岡田直也	63
14	平成27年9月18日(金)	ことぶき勸学院・峡東教室	山梨県立博物館	シンボル展「風景に想う」について	松田美沙子	26
15	平成27年10月14日(水)	山梨県立山梨高等学校	山梨高等学校	博物館見学事前学習	天野研	190
16	平成27年10月19日(月)	山梨県立日川高等学校	日川高等学校	甲府空襲・大月空襲	天野研	69
17	平成27年10月23日(金)	中央市立田富小学校	田富小学校	信玄堤	天野研	240
18	平成27年10月27日(火)	山梨県教育委員会	山梨県総合教育センター	教職員の博物館活用法	天野研・岡田直也	300
19	平成27年10月28日(水)	山梨県立韭崎高等学校	韭崎高等学校	保存科学・学芸員の仕事について	西願麻以・天野研	27
20	平成27年11月6日(金)	ことぶき勸学院(南北都留)	山梨県立博物館	特別展「富士山」について	中野賢治	41
21	平成27年11月13日(金)	ことぶき勸学院(甲府)	山梨県立博物館	特別展「富士山」について	近藤暁子	59
22	平成27年11月16日(月)	高等支援学校桃花台学園	高等支援学校桃花台学園	甲府空襲・大月空襲	天野研	21
23	平成27年11月25日(水)	石和北小学校	石和北小学校	信玄堤	天野研・岡田直也	32
24	平成27年11月27日(金)	鯉沢小学校	鯉沢小学校	信玄堤	天野研	19
25	平成27年12月18日(金)	笛吹市御坂図書館	笛吹市御坂図書館	笛吹市御坂図書館	丸尾依子・天野研	
26	平成28年1月5日(火)	山梨県教育委員会	山梨県情報教育センター	山梨県立博物館の活用法	天野研・岡田直也	153
27	平成28年1月27日(水)	昭和町立押原小学校	昭和町立押原小学校	昔の道具とくらし	天野研・岡田直也	53
28	平成28年1月28日(木)	甲斐市立敷島南小学校	甲斐市立敷島南小学校	昔の道具とくらし	天野研・岡田直也	57
29	平成28年1月29日(金)	都留市立谷村第二小学校	都留市立谷村第二小学校	昔の道具とくらし	天野研・岡田直也	24
30	平成28年2月1日(月)	山梨大学附属小学校	山梨大学附属小学校	昔の道具を体験しよう	天野研・岡田直也・丸尾依子	93
31	平成28年2月5日(金)	甲州市立菱山小学校	甲州市立菱山小学校	昔の道具を体験しよう	天野研・岡田直也・丸尾依子	11
32	平成28年2月8日(月)	山梨市立日下部小学校	山梨市立日下部小学校	昔の道具を体験しよう	天野研・岡田直也・丸尾依子	68
33	平成28年2月10(水)	笛吹市立石和北小学校	笛吹市立石和北小学校	昔の道具を体験しよう	天野研・岡田直也・丸尾依子	21
34	平成28年2月15日(月)	甲州市立井尻小学校	甲州市立井尻小学校	信玄堤	天野研・岡田直也	20
35	平成28年2月17日(水)	甲府市立大里小学校	甲府市立大里小学校	昔の道具を体験しよう	天野研・岡田直也・丸尾依子	122
36	平成28年2月18日(木)	タクシー協会	山梨県立博物館	山梨おもてなしタクシードライバー養成講座(山梨基礎情報)	高野玄明	17
37	平成28年2月18日(木)	甲州市立井尻小学校	甲州市立井尻小学校	昔の道具を体験しよう	天野研・岡田直也・丸尾依子	22
38	平成28年2月19日(金)	韭崎市立韭崎小学校	韭崎市立韭崎小学校	昔の道具を体験しよう	天野研・岡田直也・丸尾依子	54
39	平成28年2月25日(木)	タクシー協会	山梨県立博物館	山梨おもてなしタクシードライバー養成講座(峡中・峡東の基礎情報)	岡田直也	9
40	平成28年2月26日(金)	タクシー協会	山梨県立博物館	山梨おもてなしタクシードライバー養成講座(富士・東部・峡南・峡北)	高野玄明	8
41	平成28年2月29日(月)	鳴沢村立鳴沢小学校	鳴沢村立鳴沢小学校	昔の道具を体験しよう	天野研・岡田直也・丸尾依子	26
42	平成28年3月2日(水)	甲府市立羽黒小学校	甲府市立羽黒小学校	昔の道具を体験しよう	天野研・岡田直也・丸尾依子	60
43	平成28年3月3日(木)	甲府市立池田小学校	甲府市立池田小学校	古都鎌倉(修学旅行事前学習)	天野研・岡田直也	87
44	平成28年3月4日(金)	甲府市立舞鶴小学校	甲府市立舞鶴小学校	古都鎌倉(修学旅行事前学習)	天野研・岡田直也	65
45	平成28年3月7日(月)	笛吹市立石和東小学校	笛吹市立石和東小学校	古都鎌倉(修学旅行事前学習)	天野研・岡田直也	27

④ 職場体験

■ 職場体験実施一覧

実施日	学校名	学年	人数(人)
平成27年7月8日(水)～7月10日(金)	甲斐市立双葉中学校	2	4
平成27年7月26日(日)～7月27日(月)	山梨県立山梨高等学校	2・3	5
平成27年7月29日(水)	昭和町立押原中学校	2	1
平成27年7月30日(木)～7月31日(金)	山梨県立塩山高等学校	2	2
平成27年8月3日(月)	山梨県立甲府西高等学校	2	3
平成27年8月4日(火)～8月5日(水)	笛吹市立一宮中学校	2	3
平成27年8月6日(木)	山梨市立笛川中学校	2	2
平成27年10月8日(木)～10月9日(金)	山梨英和中学校	2	1
平成27年11月18日(水)～19日(木)	山梨県立笛吹高等学校	1	3
小計(中学校)			11
小計(高等学校)			13
小計(大学)			0
総計			24

⑤ 「大好きな山梨を描こう」募集

	学校数	実施日
小学校	37	185
中学校	5	39
合計	42	224

⑥ 子ども学芸員事業

「子ども学芸員事業」は、平成21年12月より試行が行われ、平成22年度より本格的に実施している。学校団体見学等での来館、または出前授業を受講の後、学習成果としてのレポートを提出すると、「子ども学芸員」に認定するという制度である。「子ども学芸員」には家族招待状を渡し、博物館の利用促進を図り、山梨の歴史や文化に対する興味や関心を高めてもらう。平成27年度は757名を認定し、現在までのところ、6,953人が初級に認定されている。

番号	年月日	学校名	学年	人数	常設展	企画展	備考
1	平成27年7月16日	中央市立玉穂南小学校	6	56	○	○	
2	平成28年1月7日	甲府市立里垣小学校	3	40	○		シンボル展
3	1月7日	甲府市立湯田小学校	3	36	○		
4	1月7日	甲府市立朝日小学校	3	37	○		
5	1月7日	甲府市立池田小学校	3	89	○		
6	1月7日	中央市立田富北小学校	5	49	○		
7	1月7日	山梨県立高等支援学校桃花台学園	2	21			出前授業
8	3月25日	斐崎市立斐崎小学校	3	54			出前授業
9	3月25日	富士川町立増穂小学校	4	102	○		
10	3月25日	甲府市立相川小学校	3	75	○		
11	3月25日	昭和町立押原小学校	3	53			出前授業
12	3月25日	甲斐市立敷島南小学校	3	57			出前授業
13	3月25日	山梨市立日下部小学校	3	68			出前授業
14	3月25日	甲州市立菱山小学校	3	8			出前授業
15	3月30日	ふるさと山梨郷土学習コンクール		12			
認定数				757			

※ふるさと山梨郷土学習コンクールの優秀作品を平成28年1月20日(水)から2月29日(月)まで、当館企画展示室に展示した。

⑦貸出教材（ミュージアム・キット）

	借用期間	学校名	学年	備考
1	平成27年4月23日～4月28日	山梨県立考古博物館	戦国時代	考古博物館イベント
2	6月4日～6月14日	山梨学院大学附属小学校	戦国時代	6年生:社会科
3	6月23日～7月3日	岐阜県輪之内町立福東小学校	戦国時代	6年生:社会科
4	6月23日～7月15日	身延町立下部中学校	木簡	1年生:社会科
5	8月17日～8月29日	上野原市立秋山中学校	昔の暮らしDVD	教員:研究会
6	9月7日～9月14日	市川三郷町立六郷中学校	戦国時代	3年生:学園祭演劇
7	11月5日～11月19日	大月市立大月西小学校	歴史紙芝居	1・3年生:国語
8	11月8日～11月15日	甲州市立塩山中学校	戦国時代	1年生:総合学習
9	11月20日～11月22日	都留市立旭小学校	戦国・江戸時代	6年生:社会科
10	平成28年1月25日～2月5日	甲斐市立敷島南小学校	戦国時代	4年生:総合学習
11	2月6日～2月19日	韭崎市立韭崎小学校	歴史紙芝居	3年生:社会科
12	2月23日～3月14日	富士吉田市立吉田小学校	戦国・江戸時代 旅姿	3年生:劇
		小計(中学校)		7
		小計(高等学校)		4
		小計(大学)		1
		総計		12

⑧大学教育との連携

i 学芸員実習

【期 間】 平成27年8月10日（月）から8月17日（月）まで（計8日間）

【受入人数】 8人（男3人、女5人）

【実習生所属大学】

- ・山梨県内 都留文科大学 3人
- ・山梨県外 桜美林大学、大正大学、東京農業大学、新潟大学、和光大学 各1人

【主な実習内容】

- ・県立博物館の概要と役割などについての概説と施設見学
- ・学芸員が行う調査・研究、展示、資料保存など各業務についての分野別講義及び実習
- ・企画交流事業について講義及び実習
- ・県立博物館との意見交換

ii 大学非常勤講師の受託

担当職員	大学名(科目名)	期 間
植月 学	中央大学(歴史学概論)	平成27年4月1日(水)から平成27年9月20日(日)まで
植月 学	都留文科大学(博物館資料論)	平成27年10月1日(木)から平成28年3月31日(木)まで
丸尾依子	成城大学(博物館学実習(民俗))	平成27年4月1日(水)から平成28年3月31日(木)まで
海老沼真治	山梨県立大学(日本の歴史I)	平成27年4月1日(水)から平成27年9月24日(木)まで
海老沼真治	身延山大学(博物館情報・メディア論、博物館経営論)	平成27年10月1日(木)から平成28年3月31日(木)まで

⑨発行物

名 称	発刊日	体裁
『博物館活用事例集⑩ 山梨県立博物館の活用～使い方いろいろ～』	平成28年3月25日	簡易印刷

※県内の小中高特別支援学校全校及び山梨県教育委員会、各教育事務所、市町村教育委員会、総合教育センターなどに配布。

(3) 博物館同士のネットワーク

①ミュージアム甲斐・ネットワーク

i ミュージアム甲斐・ネットワーク会議

■博物館を活用した夏休み自由研究プロジェクト

【合同プレゼンテーション】

日時：平成27年7月20日（月・祝）

場所：アイメッセ山梨

参加者数：868名

参加館数：16館

【ミニブック配布】

参加館数：22館

■平成27年度第1回会議

日時：平成27年10月1日（木）

場所：生涯学習室・体験学習室

内容：平成27年度夏休み自由研究プロジェクト活動報告

ミュージアム甲斐・ネットワーク名簿の更新について

研修会：事例報告「東日本大震災被災資料の応急処置・修復事例～自然史標本・民具・繊維資料～」

「災害から古文書を“守る”～紙資料の被災・水損とレスキュー～」

水損資料応急レスキューワークショップ

■平成27年度第2回会議

日時：平成28年3月17日（木）

場所：生涯学習室

内容：平成28年度夏休み自由研究プロジェクト活動計画・日程案

ミュージアム甲斐・ネットワーク名簿の更新について

各館からの連絡事項

研修会：『『水銀に関する水俣条約』に伴う照明器具生産の動向について』

「博物館の展示を考える－フロアディスカッションに向けて－」

「展示にまつわるフロアディスカッション」

②縄文王国山梨

今年度の事業「世界に誇る縄文文化再発見事業」として、各種行事を開催した。

- 「縄文カワイイ探しデッサン・コンテスト」では、縄文王国山梨実行委員会構成館7館それぞれで縄文土器を観察しデッサンをするコンテストを行い、これに関連し、縄文土器の見所を解説するワークショップや、竪穴住居内での朗読を行うなどのワークショップを行った。募集作品は472点となり、1月20日（水）から2月29日（月）まで、県立博物館企画展示室において全作品を展示した。

- 講演会やシンポジウムの開催。

- ・「世界に誇る『縄文の美』を語る」参加者：97名
- ・「写真家を囲む縄文文化の美を解き明かす」参加者：66名
- ・「甲州弁で語る縄文土器発掘むかし話」参加者：43名

(4) 広報

年4回の「かいじあむ通信 Kai(交い)」の発行や、常設展チラシ・ポスター・パンフレット、企画展・シンボル展のチラシ・ポスター、博物館通信「e-かいじあむ」、県政たより「ふれあい」、県教育委員会広報誌「e教育やまなし」、県政テレビ放送、県政ラジオ放送等の各種媒体を用いて広報に努めてきた。

今後も広報活動の充実に努め、県立博物館のPRを積極的に実施する。

■各種だより、リーフレット類一覧

上述のとおり、広報には各種媒体を用いてきたが、多岐にわたるため、紙媒体で県立博物館が主体となって作成したものを中心に掲載する。

誌名	発行年月日
かいじあむ通信 Kai(交い)第38号	平成27年6月1日
かいじあむ通信 Kai(交い)夏休み特別号	平成27年7月7日
かいじあむ通信 Kai(交い)第39号	平成27年9月1日
かいじあむ通信 Kai(交い)第40号	平成27年12月1日
かいじあむ通信 Kai(交い)第41号	平成28年3月1日

第6章 施設の整備・管理

(1) 安全快適な施設づくり

県立博物館では、山梨の歴史や文化について、人々が快適に学ぶ環境を整えるために、安全かつ快適な施設・整備の管理に努めている。

■防災訓練等非常時における対応訓練の実施

県立博物館では、来館者の安全を守るための避難誘導や初期消火等を円滑に進めることを目的に、職員を対象に訓練を実施している。

・防災訓練

回数	開催日	内容
第1回	平成27年9月11日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・火災を想定した常設展示室からの総合防災訓練 ・避難経路・消防設備等の確認 ・消火器による消火訓練 ・燻煙装置による避難体験

(2) 施設開放

県立博物館は開かれた博物館を目指し、施設の一部を一般に開放している。その利用状況は次のとおりである。

年月	生涯学習室		交流室	
	利用人数人	利用金額円	利用人数人	利用金額円
平成27年4月	6	5,980	0	220
5月	201	15,420	11	0
6月	271	31,020	0	0
7月	306	13,320	0	990
8月	69	13,680	0	0
9月	129	7,940	20	550
10月	106	9,960	0	0
11月	360	16,880	7	440
12月	30	8,300	0	0
平成28年1月	36	15,420	0	0
2月	242	28,680	0	1,650
3月	88	3,680	10	0
計	1,844	170,280	48	3,850

※利用人数は「利用月」、利用金額は「収入を行った月」で集計している。

第7章 情報の発信と公開

(1) 資料閲覧室の利用状況

資料閲覧室は、博物館展示をとおして利用者が持った歴史等に対する探求心や日常の学習意欲に応えるための資料・情報を提供するとともに、研究者、学芸員等の調査研究に必要な文献を的確に収集、整備し、その研究活動を支援する役割を担う。

■利用時間

午前9時00分から午後5時まで

(書庫内資料の請求、複写申込は午後4時30分まで)

(即日閲覧資料の請求は、午後3時まで)

入室は無料

■資料検索

資料閲覧室内の利用者端末(2台)により収蔵資料、図書・雑誌等の書誌情報の検索が可能となっている。フリーワード検索では、資料名、作者名、発行者名などの一部からも検索ができる。

ホームページの収蔵資料案内からも同様に検索が行える。

■資料閲覧

- ・ 図書、雑誌は来館者が自由に閲覧できる。室内には各分野の辞典類や歴史に関する書籍、郷土研究についての資料、『山梨県史』や県内の市町村史誌類、逐次刊行物など約2,500冊が配架されている。書庫内の図書資料も職員に請求することにより、閲覧が可能である。
- ・ 歴史資料等のうち「甲州文庫」の画像データは資料閲覧室内の端末で閲覧できる。
- ・ 収蔵資料のうち、即日閲覧対象資料(古文書・古記録・版木等)、「甲州文庫」及び古文書のデジタル・マイクロフィルムは即日閲覧可能である。
- ・ 即日閲覧対象外の原資料については、「歴史資料等閲覧申請書」により事前に申し込み、博物館職員の立会いのもと所定の日時・場所で閲覧する。

■資料撮影

原資料についての撮影は、「歴史資料等撮影申請書」により事前に申し込み、許可された場合は、「歴史資料等撮影決定通知書」に従い、博物館職員の立会いのもと所定の日時・場所で行う。

■レファレンスサービス

質問や調査事項に応じて、参考資料や文献を紹介し、利用者の調査・研究活動の援助を行っている。専門的な質問については、必要に応じて学芸員が調査・研究の成果に基づき回答している。

■コピーサービス(有料)

著作権法に基づき、博物館所蔵の図書・雑誌等の活字資料、「甲州文庫」等のマイクロ・デジタル化資料の複写サービスを行っている。

■展示関連資料紹介

当館で開催する企画展・シンボル展への関心や理解を更に深めてもらうために、期間中資料閲覧室内に関連資料の紹介コーナーを設けている。

■キッズライブラリー

山梨発見エリア内のキッズライブラリーには、小・中学生向けの歴史の調べ方や自然観察の本、幼児のための絵本などを揃えている。

■ビデオライブラリー

山梨発見エリア内のビデオブース(3台)では、歴史・文化財に関するビデオ・DVDなどを視聴することができる。

■平成 27 年度資料閲覧室利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
入室者	404人	434人	155人	569人	1287人	139人	173人	307人	65人	156人	168人	283人	4140人
ビデオ利用	57件	83件	39件	156件	339件	21件	53件	96件	24件	28件	36件	57件	989件
レファレンス	レファレンス	35件	23件	7件	15件	38件	12件	28件	21件	6件	16件	13件	228件
	利用相談	28件	32件	13件	24件	44件	18件	14件	35件	13件	21件	16件	279件
	小計	63件	55件	20件	39件	82件	30件	42件	56件	19件	37件	29件	507件
複写	件数	40件	33件	21件	40件	43件	16件	30件	24件	14件	25件	20件	333件
	電子式	476枚	430枚	445枚	785枚	653枚	328枚	559枚	430枚	325枚	226枚	362枚	5479枚
	マイクロ、デジタル	492枚	619枚	293枚	448枚	396枚	240枚	813枚	349枚	502枚	297枚	275枚	4893枚
	小計	968枚	1049枚	738枚	1233枚	1049枚	568枚	1372枚	779枚	827枚	523枚	637枚	10372枚
キッズライブラリー利用	300人	412人	190人	1582人	3334人	181人	171人	315人	63人	233人	272人	334人	7387人



展示関連資料紹介「大化石展 ～山梨に恐竜はいたか!?～」
期間：平成 27 年 7 月 18 日（土）から 8 月 31 日（月）まで

（2）博物館総合情報システム

山梨県立博物館は、山梨の歴史や文化・産業など広範な分野にわたる膨大な資料情報を一元的に管理し、効率的な博物館運営を行うため、博物館総合情報システムを導入している。このシステムの活用によって広く館内外に情報発信を行い、県民の山梨の歴史に関する興味を喚起し、多くの人に親しまれる「開かれた博物館」が実現することを目的としている。平成 23 年度にシステムの更新を行い、平成 24 年 3 月 1 日に本稼働させた。

このシステムは、以下の 3 つのシステムから構成される。

■データベースシステム

博物館資料の管理システムとして、収蔵資料・図書資料等に関する各種情報を一元的に管理するためのシステムである。資料の受入情報から収蔵情報、付随する資料のメディアファイル類も、一元的に管理が可能となる。そして、データベースから常設展示情報端末への資料情報連携を行う展示システムも含まれる。

■利用者公開システム

データベースシステムで管理されている情報を、利用者の必要に応じて加工し、館内外で情報発信を行うシステムである。館内では、資料閲覧室における収蔵資料・図書情報検索や地域インデックスにおける各種県内情報等の発信がある。館外では、博物館ホームページにおける情報発信や、その中での収蔵資料・図書情報・レファレンスデータ検索がある。

■ネットワークシステム

情報処理室には各種サーバが設置され、そこを拠点に館内にはLANが張り巡らされている。そして、インターネットへは情報処理室から隣接する総合教育センターを経由して接続されている。館内におけるセキュリティは、山梨県情報セキュリティに準じている。

(3) 博物館ホームページ

平成17年10月1日より現ホームページの公開を開始し、展示案内・イベント案内等を公開しているほか、随時ページの増設、更新を行っている。

【ホームページの主な更新履歴】

平成27年7月15日 アクセス数80万件を突破。

「収蔵資料案内」ページの更新：収蔵資料・図書・レファレンスの検索を行うことができるページを、随時更新している。

検索可能件数（平成28年3月現在） ・収蔵資料 84,507件
 ・図書類 43,941件
 ・レファレンス 472件

PC向けURL：<http://www.museum.pref.yamanashi.jp/>

携帯電話向けURL：<http://www.museum.pref.yamanashi.jp/mb>

公式フェイスブック：[kaiseum.ypm](https://www.facebook.com/kaiseum.ypm)

公式ツイッター：[kaiseum_ypm](https://twitter.com/kaiseum_ypm)



アクセス件数（アクセスカウンタによる数値）

年 月	件数/月	1日平均	昨年度件数
平成27年 4月	6,932	231	7,129
5月	7,615	246	8,632
6月	5,729	191	6,194
7月	11,882	383	9,586
8月	19,138	617	14,363
9月	5,476	183	5,949
10月	6,258	202	5,877
11月	6,338	211	6,128
12月	2,679	86	3,243
平成28年1月	4,938	159	5,909
2月	5,708	197	5,362
3月	8,790	284	6,816
合 計	91,483	250	85,188
ソーシャルメディアフォロワー数		平成28年3月末日現在	
フェイスブック	464		
ツイッター	624		

第8章 県民参画

(1) NPOとの連携

平成27年度、県立博物館では前年度に引き続き、NPO法人との協働による県民参画事業として、「かいじあむ検定」及び「通信簿ツアー」を実施した。

「かいじあむ検定」は、企画展・シンボル展の開催に合わせて実施し、クイズに答えながら展示の見どころを楽しんでいただくクイズラリー形式の事業が定着している。平成27年度は、「大化石展」及び「天の虫のおきみやげ」展に際し、展示をめぐるクイズラリーと組み合わせて、展示にゆかりのある地域を訪ねるツアーを実施し、県立博物館と県内各地の史跡や文化財とを結びつけることをめざした。

また、上記の企画展を広く紹介するため、山梨県立図書館及び甲府市立図書館の会場を使用して、展示内容をパネルで紹介するミニ展示を実施し、県立博物館への誘導を図った。

なお、「通信簿ツアー」の詳細は第Ⅰ編第2章を参照されたい。

①かいじあむ検定

実施日	事業名	開催場所	参加者数(人)
平成27年8月8日(土)から8月19日(水)まで	「大化石展」ミニ展示	山梨県立図書館	170人
平成27年8月2日(日)	「大化石展」ギャラリートーク	企画展示室	190人
平成28年1月13日(水)から1月28日(木)まで	「天の虫のおきみやげ」ミニ展示	甲府市立図書館	213人
平成28年1月24日(日)	「天の虫のおきみやげ」ゆかりの地ツアー	県立博物館 豊富郷土資料館 中央市内	85人
		参加者数合計	658人

②通信簿ツアー

実施日	事業名	開催場所	参加者数(人)
平成27年8月16日(日)	通信簿ツアー	県立博物館	153人
平成27年11月20日(金)	通信簿ツアー	県立博物館	150人
		参加者数合計	364人

※委託先のNPOについては、平成27年6月19日(金)に県民参画(NPO委託)事業審査会を開催し、その結果、両事業ともNPO法人「つなぐ」に委託することとなった。



平成27年8月8日(土)～19日(水)実施の「大化石展」ミニ展示の様子。展示内容をクイズ形式で説明するパネルを設置し、ミニクイズブックを配布した。



平成28年1月24日(日)に実施した「天の虫のおきみやげ」ゆかりの地ツアーの様子。「シルクの里」で知られる中央市旧豊富村の文化財や豊富郷土資料館を訪ねるツアーを行った。

(2) 博物館協力会（ボランティア）との連携

当館におけるボランティア活動は、原則として山梨県立博物館会の協力員によるものである。会員数は若干の変動はあるが60名ほどであり、館の主催する様々な活動を支援してきた。

県立博物館協力会の主たる活動は次の通りである。

- ・ミュージアムショップの運営。
- ・館が行うイベントなどの補助や畠など野外施設の管理。
- ・広報物発送の補助
- ・来館者への展示ガイド、及び体験型展示の利用の補助。
- ・館蔵の資料、図書、写真などの整理。

これまで会員数が70～80名で推移していたことを考えると、人数が減少傾向にあり、今後、会員増が大きな課題である。

■平成27年度の協力会の主な活動

平成27年5月30日（土） 第1回 運営委員会

6月14日（日） 協力会総会（平成26年度事業・決算の報告、27年度事業・予算の決定）

7月18日（土） 第2回 運営委員会

9月29日（火） 研修旅行（静岡県方面：富士山本宮浅間大社・静岡県立美術館）

11月16日（月） 第3回 運営委員会

平成28年3月25日（金） 協力会だより第7号発行

その他、常時実施したのは次の活動である。

- ・ショップ運営…ミュージアムショップ当番
- ・資料整理補助…歴史資料の資料専用封筒詰め、ナンバリング等の作業
- ・イベント補助…年4回のお祭りイベント、月1回の子ども工房、その他不定期イベントの補助
- ・お庭ガイド講師…毎月第3土曜日開催「ボランティアによるお庭の見どころガイド」の講師



平成27年5月5日（火・祝）「かいじあむ子どもまつり」へのイベント補助として、鑑体験の補助をしているところ。



平成27年9月29日（火）に実施された研修旅行で訪れた静岡県：静岡県立美術館にての集合写真。

(3) かいじあむ みんなの研究

平成24年12月25日に策定した開館6周年年度目から10周年年度目までの評価制度において、新たに「県民参画による調査・研究が行われているか？」を評価項目に加えた。この実現のため、平成25年度から新規に実施した事業が「かいじあむ みんなの研究」（以下「みんなの研究」という）である。

みんなの研究では、県内で郷土に関する研究に取り組む個人・団体が、学芸員の支援を受けながら、山梨の歴史や文化に関する調査や研究に自ら取り組み、その成果を県立博物館で発表することをめざした。

研究テーマは、①「山梨の自然と人」という当館の基本テーマに合っていること、②実現性が高いこと、などの条件に合った応募テーマの中から、みんなで作る博物館協議会における審査を経て決定し、平成26年度は応募のあった14件の研究テーマから選考し、以下の3件の研究テーマを採用した。

【研究テーマ】

- | | |
|-----------------|----|
| ①西郡三十三所観音霊場 | 個人 |
| ②「甲斐国志」とその典拠の研究 | 個人 |
| ③小沢一仙と武藤外記について | 団体 |

それぞれに支援を担当する学芸員を決め研究実施者と協議を行い、平成27年度まで2年間にわたって、調査・研究を実施していただき、下記日程で展覧会として公表した。

【「かいじあむ みんなの研究」成果発表展示】

- 日 時 平成28年1月20日（水）～2月29日（月）
 会 場 企画展示室
 入場料 無料



「かいじあむ みんなの研究」の展示状況

第9章 組織・人員

(1) 職員の資質向上

①職員参加研修一覧

氏名	研修名	主催	場所	期間	研修内容
海老沼真治	第9回 指定文化財(美術工芸品) 企画・展示セミナー	文化庁文化財部美術学芸課	東京国立博物館	平成27年7月6日(月)～10日(金)	文化財保護・収集・活用と取扱・修理等に関する専門的知識と技能の研修
西願麻以	文化財防災ネットワーク研修	奈良文化財研究所	奈良文化財研究所	平成27年11月17日(火)～20日(金)	文化財防災についての講義や、水損した書籍・民俗資料の応急処置の実習
森原明廣	平成27年度ミュージアム・マネジメント研修	文化庁	東京国立博物館 付属黒田記念館	平成27年12月2日(水)～4日(金)	博物館の運営に関わる様々な知識や技術を習得するための研修
西願麻以	被災資料の安定化処理技術に関するワークショップ	津波により被災した文化財の保存修復技術の構築と専門機関の連携に関するプロジェクト実行委員会	東京藝術大学	平成28年2月2日(火)	被災文化財の安定化処理における現状と課題の講義や、文書・自然史・漆工芸資料の安定化処理の実習

②展示交流員研修一覧

実施日	事業名
4月中	新任交流員に対し博物館業務の研修を随時実施
平成27年9月11日(金)	①自衛防災訓練を行い、安全・安心の確保に努めるなど 幅広い研修を実施 ②常設展スルーガイドの仕方研修を実施

(2) 第三者委員会

①山梨県立博物館運営委員会

i 運営委員会委員名簿(五十音順、敬称略)

氏名	職名	専門分野	特記事項
小澤 龍一	(財)やまなし文化学習協会山梨県生涯学習推進センター前所長 みんなでつくる博物館協議会委員長	生涯学習	・みんなでつくる博物館協議会委員長 ・元山梨県生涯学習推進センター所長
清雲 俊元	山梨郷土研究会理事長	歴史学・宗教史	・前県立博物館資料収集委員会委員長 ・山梨県史編さん委員会専門委員 ・元山梨県教育委員長
五味 文彦	放送大学教授 東京大学名誉教授	歴史学・中世史	・山梨県史編纂専門委員 ・元東京大学教授
谷口 一夫	甲斐黄金村・湯之奥金山博物館館長	考古学	・県立博物館資料・資料情報委員会委員長
早川 源	公益財団法人 山梨総合研究所副理事長	博物館運営	・前みんなでつくる博物館協議会委員
守屋 正彦	筑波大学教授 (人間総合科学研究科 芸術学専攻)	美術史学	・元県立美術館学芸課長 ・展示監修員

ii 運営委員会の検討状況

■第31回運営委員会

日 時：平成27年5月29日(金)
検討内容：平成28年度の企画展について
平成27年度の調査研究事業について

■第32回運営委員会

日 時：平成27年11月27日(金)
検討内容：平成28年度の企画展について
平成28年度の調査研究事業について

■第33回運営委員会

日 時：平成28年2月24日(水)

検討内容：平成 28 年度・29 年度の企画展について
博物館の将来像について

②山梨県立博物館資料・情報委員会

第Ⅱ編第3章（1）で詳述

③みんなで作る博物館協議会

i みんなつく委員名簿（五十音順、敬称略）

氏名	勤務先・役職等
浅川 初美	元山梨放送アナウンサー(平成27年9月1日から)
植松 光宏	なまよみ文庫館長(平成27年8月31日まで)
漆原 正二	山梨県農業協同中央会専務理事
小澤 龍一	(財)山梨文化学習協会生涯学習推進センター前所長
数野 妙子	甲府市立相川小学校教諭(平成27年8月31日まで)
新海 一男	山梨県中小企業団体中央会専務理事(平成27年8月31日まで)
末木 健	中央市豊富郷土資料館館長
丹沢 良二	(株)タンザワ会長
辻 茂	甲府市立甲府南中学校元校長
出澤 忠利	(株)印傳屋上原勇七総務部長
戸田 達昭	シナプテック(株)代表
長沢 宏昌	石和温泉活性化研究会副理事長
畑 大介	山梨郷土研究会事務局長
初鹿 紀子	身延町立下山小学校元教頭(平成27年9月1日から)
八田 知子	ホテル八田代表
古屋 久昭	山梨県詩人の会会長、やまなし県民文化祭文学部門専門委員(平成27年9月1日から)
山本 育夫	特定非営利活動法人つなく理事長
渡辺 昭夫	前富士河口湖旅館組合組合長・現相談役

ii みんなつく検討状況

■平成 27 年度第 1 回みんなつく協議会

日 時：平成 27 年 6 月 26 日（金）
検討内容：平成 28 年度の企画展について
開館 10 周年事業の展開・広報について
館内レストランについて

■平成 27 年度第 2 回みんなつく協議会

日 時：平成 27 年 11 月 27 日（金）
検討内容：平成 28 年度の企画展について
博物館評価制度について
館内レストランについて

■平成 27 年度第 3 回みんなつく協議会

日 時：平成 28 年 2 月 24 日（水）
検討内容：調査・研究について
広報戦略について

第10章 外部支援と連携

(1) 外部支援

■外部資金を得た調査・研究

第Ⅱ編第2章(1)で詳述

■委員等の受託

担当職員	役職	主管	委嘱期間
森原明廣	公益財団法人やまなみ文化基金助成事業選考委員会委員	公益財団法人やまなみ文化基金	平成26年4月1日～平成28年3月31日
丸尾依子	「河口の稚児の舞」調査委員会委員	富士河口湖町教育委員会	平成26年3月29日～事業終了
丸尾依子	大善寺の藤切り祭調査委員会委員	甲州市教育委員会	平成27年4月29日～平成29年3月31日
堀内 眞	「河口の稚児の舞」調査委員会委員	富士河口湖町教育委員会	平成26年3月29日～事業終了
堀内 眞	大善寺の藤切り祭調査委員会委員	甲州市教育委員会	平成27年4月29日～平成29年3月31日

(2) 外部との連携

平成24年度に有形無形の文化財資源の保存と活用に努めるという共通の目的を持ち、博物館の相互の交流と連携を図ることを実践の貫徹を目指すため、「全国歴史民俗系博物館協議会」が設立された。

今年度は、平成27年7月23日(木)～24日(金)に第4回年次集会在名古屋市博物館で「博物館の危機管理」をテーマに開催された。当館は、中部ブロックの副幹事館を務め、ブロック会議では「災害からの文化財資源の保護に係る地域ネットワーク形成」等について協議が行われた。

■全国歴史民俗系博物館協議会への参加

開催年月日	参加職員	場所	内容
平成27年 7月23日(木)～24日(金)	平川 南(館長) 森原明廣(学芸課長)	名古屋市博物館	全国歴史民俗系博物館協議会 設立集会(第4回年次集会) ○総会 ○研究集会 ・基調講演 ・報告 ○検討会 ・各ブロックにおける協議

(3) 山梨近代人物館・世界遺産センターの開館準備・展示協力

山梨県指定文化財である山梨県庁舎別館の耐震工事実施とあわせて整備された山梨近代人物館は、平成27年4月2日(木)に開館した。展示工事および開館後の展示の計画・設営にあたっては、当館学芸員の検討会議への参加をはじめ、全面的に協力した。また、平成28年度中に整備が予定されていた(平成28年6月22日(月)開館)世界遺産センターの開館準備についても、展示計画・設計に当館職員が全面的に協力した。

■山梨近代人物館での展示事業

- ・第1回展示「甲州財閥と近代日本を築いた甲州人」
平成27年4月2日(木)～9月27日(日)
- ・第2回展示「世界を見つめた山梨の人々」
平成27年10月1日(木)～平成28年3月27日(日)

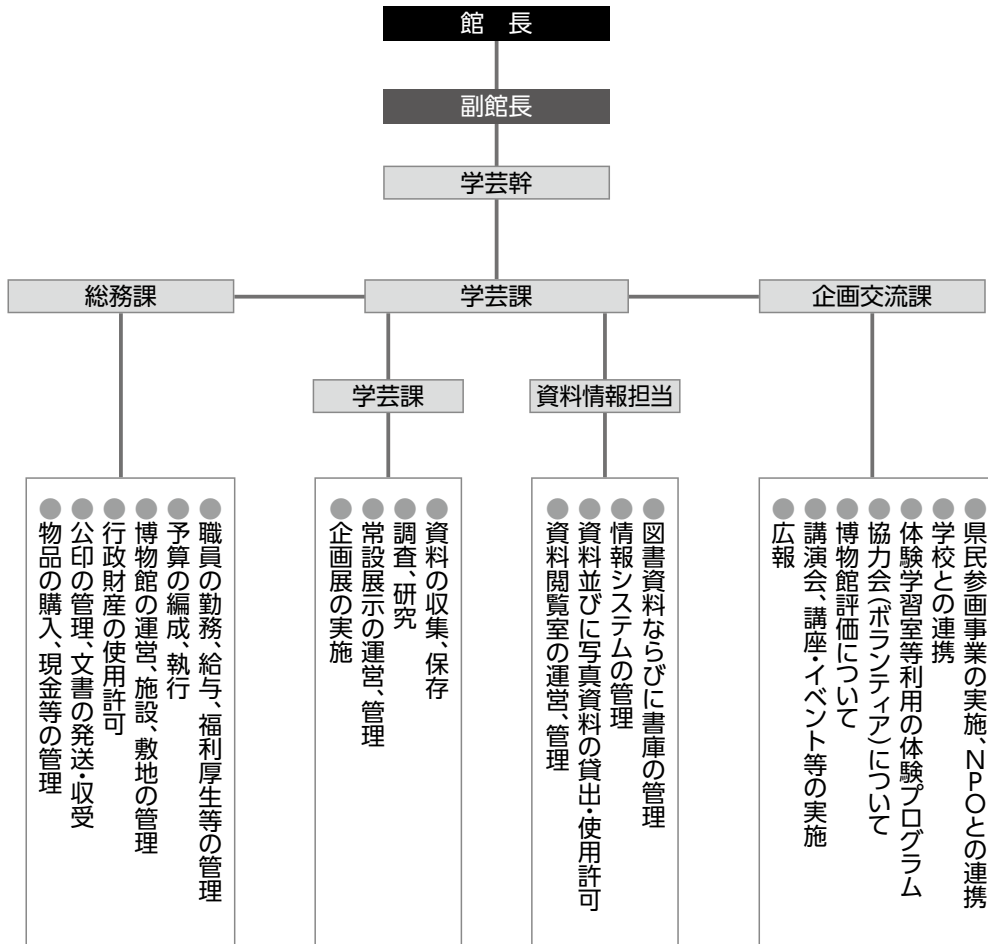


山梨近代人物館の展示状況

第Ⅲ編 各種資料

1 組織・職員等名簿

■組織図



関係委員会

運営委員会

- 博物館運営全般の専門的指導
- 企画展テーマ等に関する協議
- 共同調査、研究テーマ等に関する協議

資料・情報委員会

- 資料収集の適否の審議
- 資料・情報の収集方針の検討
- 資料・情報の活用計画検討

みんなでつくる博物館協議会

- 利用者の立場からの博物館運営の検討
- 博物館評価制度の検討

■関係委員及び職員名簿

●山梨県立博物館運営委員会委員

第Ⅱ編第9章(2)参照

●山梨県立博物館資料・情報委員会委員

第Ⅱ編第3章(1)参照

●みんなでつくる博物館協議会

第Ⅱ編第9章(2)参照

●博物館職員 (H28.3.31 現在)

館長	平川南		
副館長	小澤賢蔵		
総務課		学芸課	
課長	河野彰	課長	森原明廣 考古学
副主査	渡邊素子	学芸担当	
専門員	白倉政富	学芸員	植月学 古環境
非常勤嘱託	村松亜紀子	学芸員	近藤暁子 美術
非常勤嘱託	小幡理美	学芸員	丸尾依子 民俗
非常勤嘱託	古屋恵里佳	学芸員	海老沼真治 歴史
非常勤嘱託	天野幸代	学芸員	西願麻以 保存科学
非常勤嘱託	松野美波	非常勤嘱託	堀内真
非常勤嘱託	今福一仁	資料情報担当	
非常勤嘱託	今宮美香	副主幹	齊藤初美
非常勤嘱託	岩間しのぶ	学芸員	松田美沙子 美術
非常勤嘱託	小林可奈	非常勤嘱託	宮澤富美恵
非常勤嘱託	長坂悠	非常勤嘱託	石原宝
非常勤嘱託	佐藤栄治	非常勤嘱託	郷田敦子
非常勤嘱託	田口美加	非常勤嘱託	早川美保
非常勤嘱託	廣瀬晃	企画交流課	
非常勤嘱託	一之宮英文	課長	高野玄明
非常勤嘱託	長田光香	副主査・教育主事	岡田直也
非常勤嘱託	加賀爪杏子	副主査・教育主事	天野研
非常勤嘱託	元谷留美	学芸員	小畑茂雄 歴史
臨時職員	川崎奈緒	学芸員	中野賢治 歴史
非常勤嘱託	村松良子		

2 平成 27 年度予算額

事業名	予算額(千円)	事業内容
博物館事業費	74,608	企画展運営、調査・研究事業、運営委員会・みんつく運営経費
歴史資料等収集費	21,552	歴史資料等の収集・保存・管理・修復、図書資料の整備
博物館運営費	224,720	施設管理、常設展示機器管理、非常勤職員人件費
合 計	320,880	

※職員給与費を除く

3 年間日誌

■主な出来事及び新聞記事から抄

- 平成27年 4月 2日(木) 山梨近代人物館きょう開館(平成27年4月2日付「山梨日日新聞」)
- 平成27年 5月 4日(日) 「お姫様になったみたい」笛吹博物館で試着イベント(平成27年5月5日付「読売新聞」)
- 平成27年 5月30日(土) 鵜飼いめぐる伝説紹介(平成27年5月27日付「山梨日日新聞」)
- 平成27年 6月 9日(火) 全国初土器に鵜の絵画確認(平成27年6月10日付「毎日新聞」)
- 平成27年 7月18日(土) 恐竜骨格一堂に～迫力の大化石展～(平成27年7月18日付「山梨日日新聞」)
- 平成27年 8月14日(金) 「大化石展」が3万人を突破～県立博物館最多を更新～(平成27年8月15日付「山梨日日新聞」)
- 平成27年 8月26日(水) 入館1万人を突破～県庁別館の「山梨近代人物館」(平成27年8月27日付「山梨日日新聞」)
- 平成27年 8月31日(日) 入館6万人超え最多(平成27年9月1日付「山梨日日新聞」)
- 平成27年 9月16日(水) 県立博物館でシンボル展～きょうから名品70点～(平成27年9月16日付「山梨日日新聞」)
- 平成27年10月24日(土) 富士照らす信仰と芸術(平成27年10月23日付「山梨日日新聞」)
県立博物館で10周年式典(平成27年10月24日付「山梨日日新聞」)
- 平成27年11月 4日(水) 県立博物館10年～収蔵庫は満杯「目玉」眠る(平成27年11月4日付「山梨日日新聞」)
- 平成27年12月16日(水) 養蚕信仰資料でたどる(平成27年12月11日付「山梨日日新聞」)
- 平成28年 1月 9日(土) 甲州弁かるた大会(平成28年1月10日付「毎日新聞」)
- 平成28年 2月20日(土) 富士山研究・成果を報告(平成28年2月21日付「山梨日日新聞」)
- 平成28年 3月19日(土) 武田二十四将・実像に迫る(平成28年3月18日付「山梨日日新聞」)



平成 27 年 8 月 31 日、当館の展覧会最多となる 6 万人目の観覧者となったお客様へ、小澤賢蔵副館長から記念品を贈呈。

平成27年度 山梨県立博物館年報

発行日 2017（平成29）年3月27日

編集・発行 山梨県立博物館

〒406-0801

山梨県笛吹市御坂町成田1501-1

TEL 055（261）2631

印刷 株式会社 内田印刷所
